

吉川市
子ども・子育て支援事業計画作成のために実施する
利用意向等把握調査
(ニーズ調査)
【調査結果報告書】

平成 26 年 3 月
吉川市

【目次】

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 実施概要	3
3. 本報告書の見方	3
第2章 調査結果（就学前児童）	5
1. 地域と家庭の状況	7
2. 子どもの育ちをめぐる環境	8
① 子育て	8
② 子の見守り	11
③ 子育ての相談先	12
3. 就労状況	15
① 就労状況	15
② 就労の転換意向	20
4. 定期的なサービスの利用	23
① サービスの利用状況	23
② 今後のサービス利用意向	31
③ 地域子育て支援拠点事業の利用	33
④ 平日以外の定期的利用意向	37
5. 不定期のサービス利用	40
① 幼稚園利用者の長期休暇中のサービスの利用意向	40
② 緊急時の預かり	42
③ 不定期の事業の利用	47
④ 不定期での事業の利用意向	49
⑤ 宿泊が必要なサービスの利用意向	51
6. 小学校進学後の放課後の過ごし方	53
① 平日放課後の過ごし方の希望	53
② 平日以外の「放課後児童クラブ」の利用意向	58
7. 育児休業	61
8. 子育て施策	64
① 子育ての各分野への満足度	64
② 情報提供のあり方	65

第3章 調査結果（小学生児童）	67
1. 地域と家庭の状況	69
2. 子どもの育ちをめぐる環境	70
① 子育て	70
② 子の見守り	73
③ 子育ての相談先	74
3. 就労状況	77
① 就労状況	77
② 就労の転換意向	81
4. 放課後の過ごし方	84
① 放課後の過ごし方	84
② 放課後児童クラブの利用	86
5. 育児休業	89
6. 子育て施策	92
① 子育ての各分野への満足度	92
② 情報提供のあり方	93

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

子ども・子育て支援法に基づき定める「(仮称)吉川市子ども・子育て支援事業計画」においては、確保を図るべき教育・保育及び子ども・子育て支援事業の「量の見込み」を位置づけることとなります。

「量の見込み」は、現在の利用状況、今後の利用希望等を踏まえて設定することが、国の「基本指針」(案)に位置づけられていることから、本調査は、現在の利用状況及び今後の利用希望を把握するため実施しました。

2. 実施概要

区分	就学前児童調査 (就学前児童)	小学生児童調査 (小学生児童)
調査対象	0歳から就学前までの市民	市内に通う 小学1年生から小学4年生
標本数(票)	1,500	1,500
回収数(票)	820	783
回収率(%)	54.7	52.2
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出法	
調査方法	郵送配布、郵送回収	
調査期間	平成25年11月1日～11月22日	

3. 本報告書の見方

- ①調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- ②複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超えます。
- ③図表中の「n=」とは、回答者数を表します。
- ④選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いることがあります。

第2章 調査結果（就学前児童）

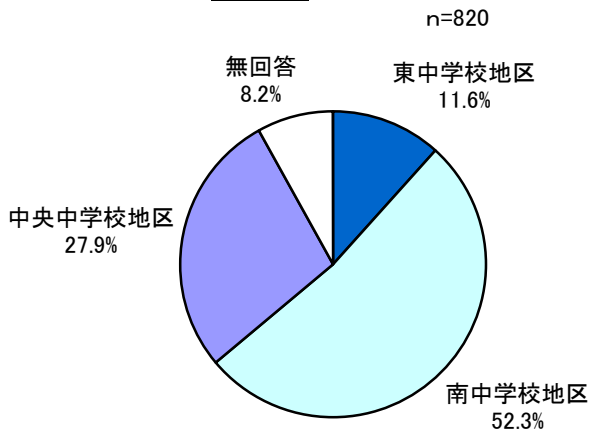
第2章 調査結果（就学前児童）

1. 地域と家庭の状況

回答者の地域や家庭の状況は次のとおりです。

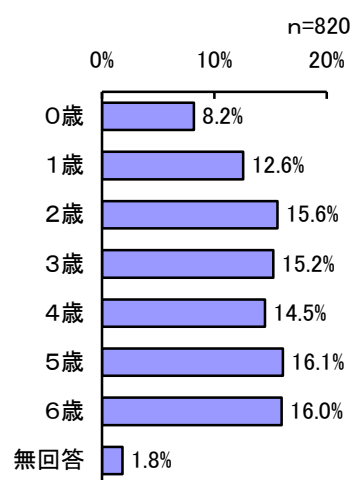
【地区】

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。



【年齢】

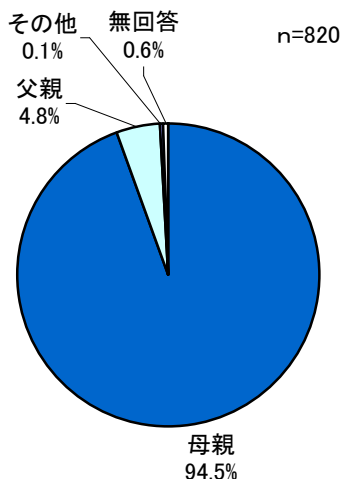
問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。



※本調査では記入された生年月月について、各年度（該当年4月～翌年3月）をひとつの年齢としています。（例：平成24年4月～平成25年3月は1歳）

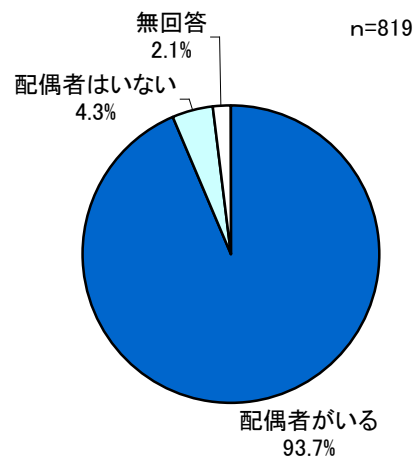
【記入者】

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



【配偶関係】

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。（問3で「3. その他」と回答した方は回答不要です）

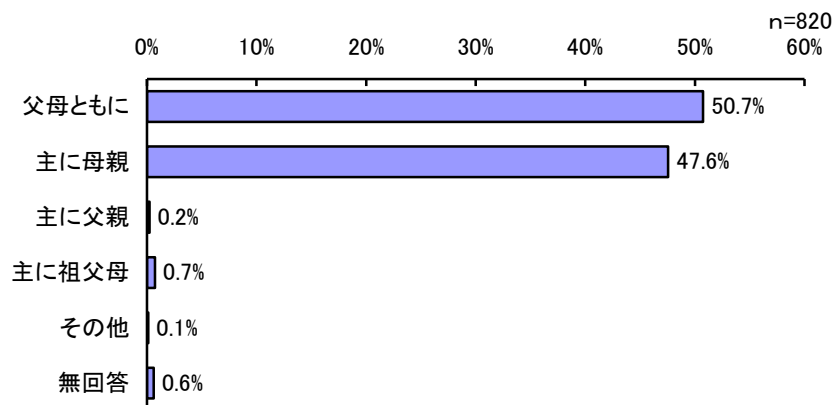


※設問中、「3. その他」が回答不要となっているのは、国の「基本指針」（案）に位置づけられている「量の見込み」を求める手順に基づくためです。

2. 子どもの育ちをめぐる環境

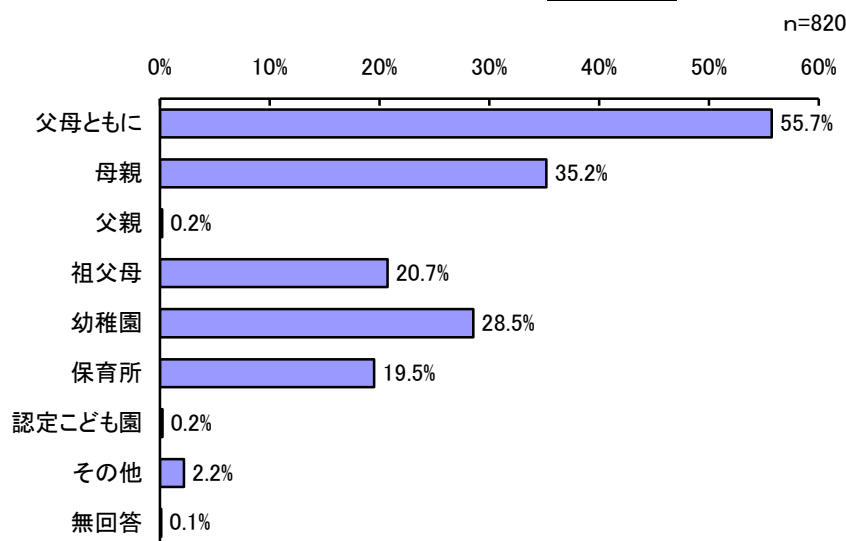
① 子育て

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。



子育てを主に行っているのは「父母ともに」が50.7%でもっとも高いものの、次いで「主に母親」が47.6%となっており、「主に母親」または「父母ともに」で、母親が関与しているケースがほぼ全数に近い回答となっているのに対し、「主に父親」または「父母ともに」で、父親が関与しているケースは5割程度にとどまっています。

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子育てに日常的に関わってる人については、「父母ともに」が55.7%でもっとも高く、次いで「母親」(35.2%)、「幼稚園」(28.5%)となっています。

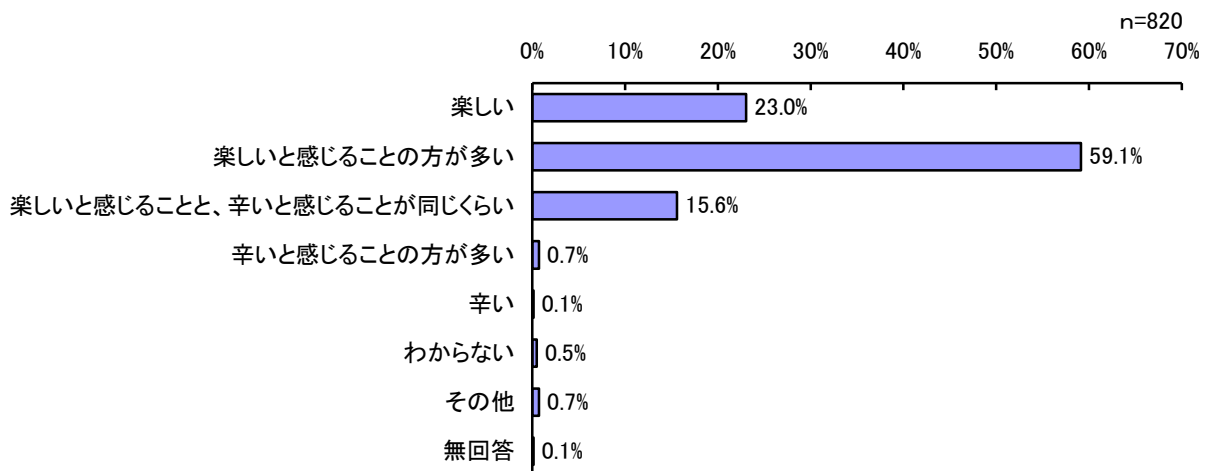
◇地域別・年齢別に見た子育てに関わっている人

		父母ともに	母親	父親	祖父母	幼稚園	保育所	認定こども園	その他	無回答
(単位: %)										
合計 (n=820)		55.7	35.2	0.2	20.7	28.5	19.5	0.2	2.2	0.1
地域別	東中学校地区 (n=95)	53.7	36.8	1.1	29.5	37.9	18.9	0.0	2.1	1.1
	南中学校地区 (n=429)	56.4	34.3	0.2	20.0	28.4	19.1	0.2	2.1	0.0
	中央中学校地区 (n=229)	56.8	37.1	0.0	21.0	27.1	19.2	0.0	2.2	0.0
年齢別	0~2歳 (n=298)	55.4	40.6	0.0	19.8	0.7	13.8	0.0	2.0	0.0
	3歳以上 (n=507)	56.2	32.0	0.2	21.1	44.8	23.1	0.4	2.4	0.2

地区で見た子育てに関わっている人の傾向としては、東中学校地区では「祖父母」(29.5%)、「幼稚園」(37.9%)の2項目で他より高くなっています。

年齢を、0~2歳と3歳以上で見た(以下「年齢で見た」という)子育てに関わっている人の傾向としては、3歳を超えると幼稚園や保育園を利用する人が増えるため、この2項目の回答が高くなっており、母親、との回答が下がっています。

問7 宛名のお子さんの子育てに関して、もっとも近いと感じている番号1つに○をつけてください。



子育てをどう感じるかについては、「楽しいと感じるほうが多い」との回答が59.1%と6割に近くもっとも高くなっています。また、「楽しい」(23.0%)、「楽しいと感じることの方が多い」を合わせた『楽しいと感じている』層は、82.1%で8割を超えています。

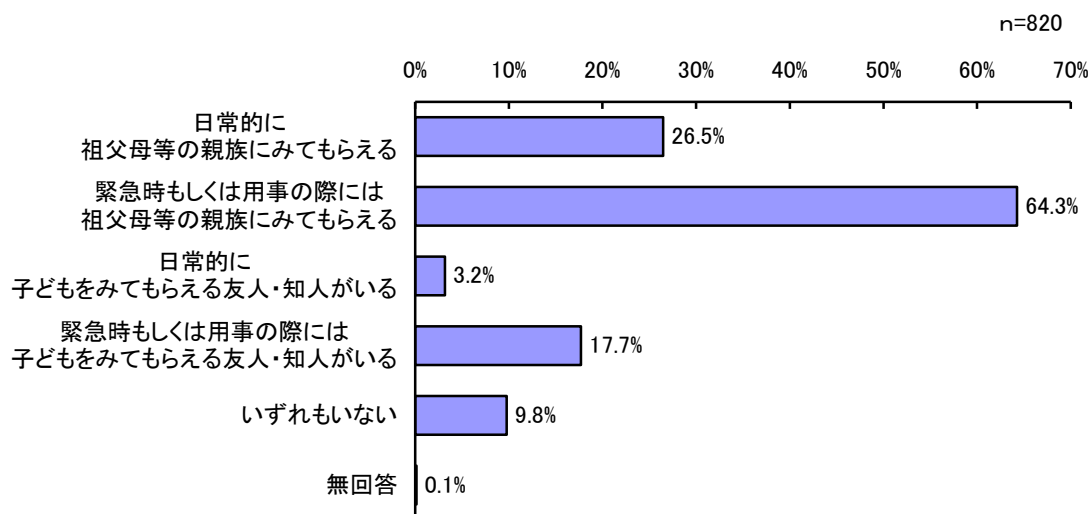
◇年齢別に見た子育てをどう感じるか

		楽しい	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい	辛いと感じることの方が多い	辛い	わからない	その他	無回答
(単位：%)									
合計 (n=820)		23.0	59.1	15.6	0.7	0.1	0.5	0.7	0.1
年齢別	0～2歳 (n=298)	28.9	56.4	12.8	0.3	0.3	0.3	1.0	0.0
	3歳以上 (n=507)	19.5	61.3	17.2	1.0	0.0	0.2	0.6	0.2

年齢で見た子育てをどう感じるかの傾向としては、0～2歳では「楽しい」が28.9%で3歳以上を9.4ポイント上回っていますが、3歳以上では「楽しいと感じることの方が多い」、「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい」との回答が0～2歳を上回っています。

② 子の見守り

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



日頃子どもを見てもらえるか、については「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみもらえる」が64.3%でもっとも高くなっています。一方、「いずれもない」との回答は9.8%となっています。

◇地域別・年齢別に見た日頃子どもを見てもらえるか

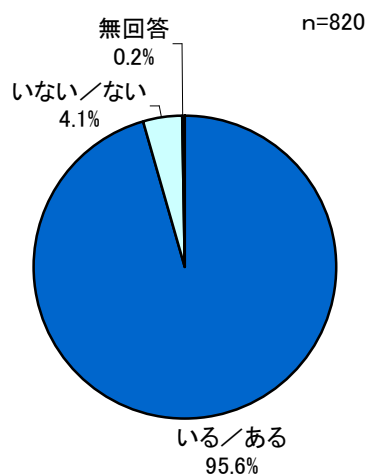
(単位：%)		日常的に祖父母等の親族にみもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみもらえる	日常的に子どもをみもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
合計 (n=820)		26.5	64.3	3.2	17.7	9.8	0.1
地域別	東中学校地区 (n= 95)	37.9	61.1	4.2	18.9	4.2	0.0
	南中学校地区 (n=429)	23.5	66.0	2.1	17.0	10.5	0.0
	中央中学校地区 (n=229)	27.5	64.2	4.8	19.2	8.3	0.4
年齢別	0～2歳 (n=298)	28.2	64.4	2.7	11.7	9.7	0.0
	3歳以上 (n=507)	25.6	64.3	3.4	21.3	9.5	0.2

地区で見た子育てに関わっている人の傾向としては、東中学校地区では「日常的に親族に見てもらえる」が37.9%と高くなっています。

年齢で見た子育てに関わっている人の傾向としては、0～2歳で「緊急時に見てもらえる友人等がいる」が11.7%と低くなっています。

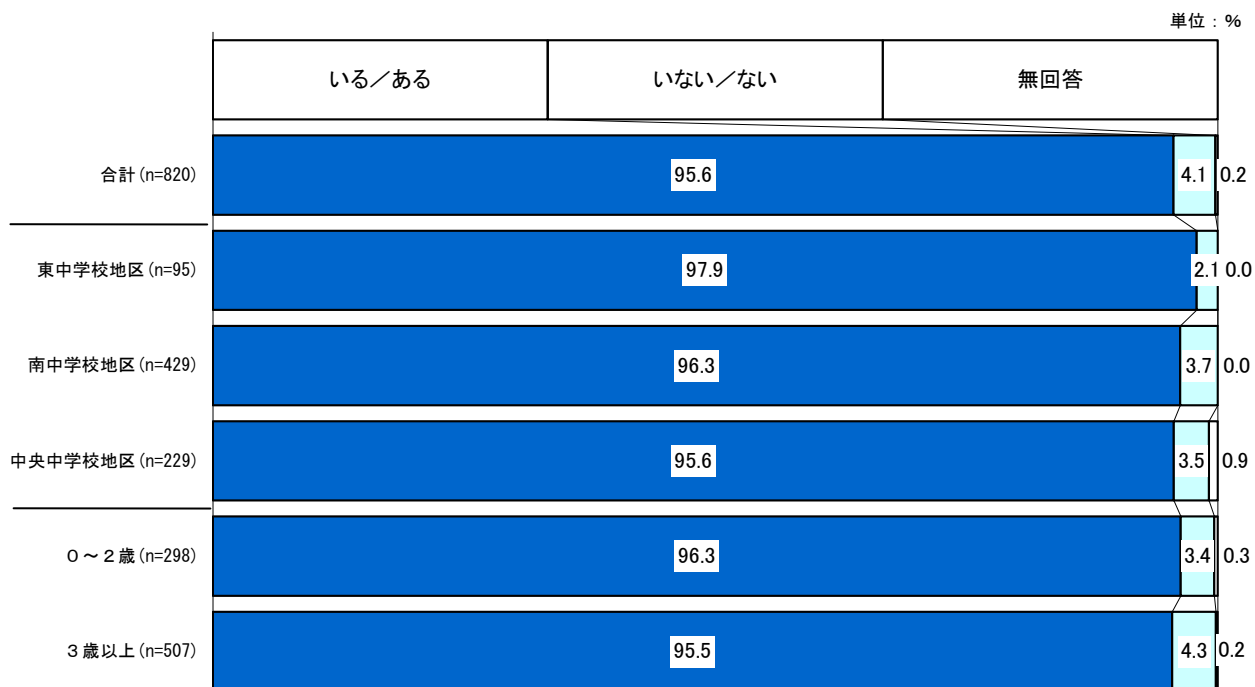
③ 子育ての相談先

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



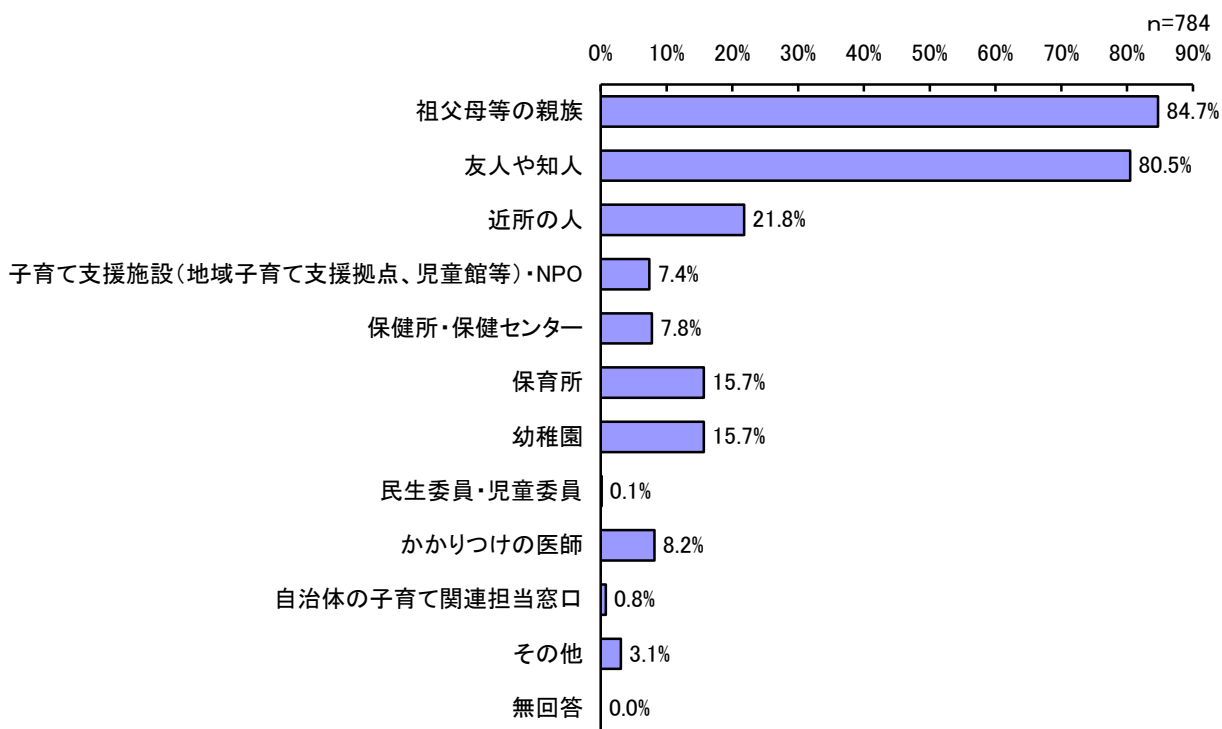
気軽に相談できる人、については「いる/ある」が95.6%となっています。

◇地域別・年齢別に見た気軽に相談できる人の有無



地区別、年齢別ともに「いる/ある」との回答は95%を超えており、大きな差は見られません。

問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



気軽に相談できる人・場所が「いる／ある」と回答した人に、その相談先についてたずねたところ、「祖父母等の親族」が84.7%でもっとも高く、次いで「友人や知人」が80.5%と、この2項目が8割を超えて特に高くなっています。次いで、「近所の人」(21.8%) などとなっています。

◇地域別・年齢別に見た相談先

		祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO	保健所・保健センター	保育所	幼稚園	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当窓口	その他	無回答
(単位：%)													
合計 (n=784)		84.7	80.5	21.8	7.4	7.8	15.7	15.7	0.1	8.2	0.8	3.1	0.0
地域別	東中学校 地区 (n= 93)	81.7	82.8	20.4	6.5	9.7	16.1	26.9	1.1	5.4	1.1	1.1	0.0
	南中学校 地区 (n=413)	84.3	78.2	23.0	6.8	7.7	14.5	14.5	0.0	7.0	1.0	3.1	0.0
	中央中学校 地区 (n=219)	87.2	84.0	20.5	8.2	7.8	16.9	14.6	0.0	10.0	0.5	3.2	0.0
年齢別	0～2歳 (n=287)	89.2	80.5	17.4	9.8	10.1	12.5	1.7	0.0	10.8	0.7	3.5	0.0
	3歳以上 (n=484)	82.2	81.0	24.8	6.0	6.4	17.6	24.2	0.2	6.6	0.8	2.9	0.0

地区で見た相談先としては、東中学校地区では「幼稚園」が26.9%と高くなっており、「子育てに関わっている人」の間でも幼稚園は高い回答が見られたことから、地域で大きな役割を担っていることが分かります。

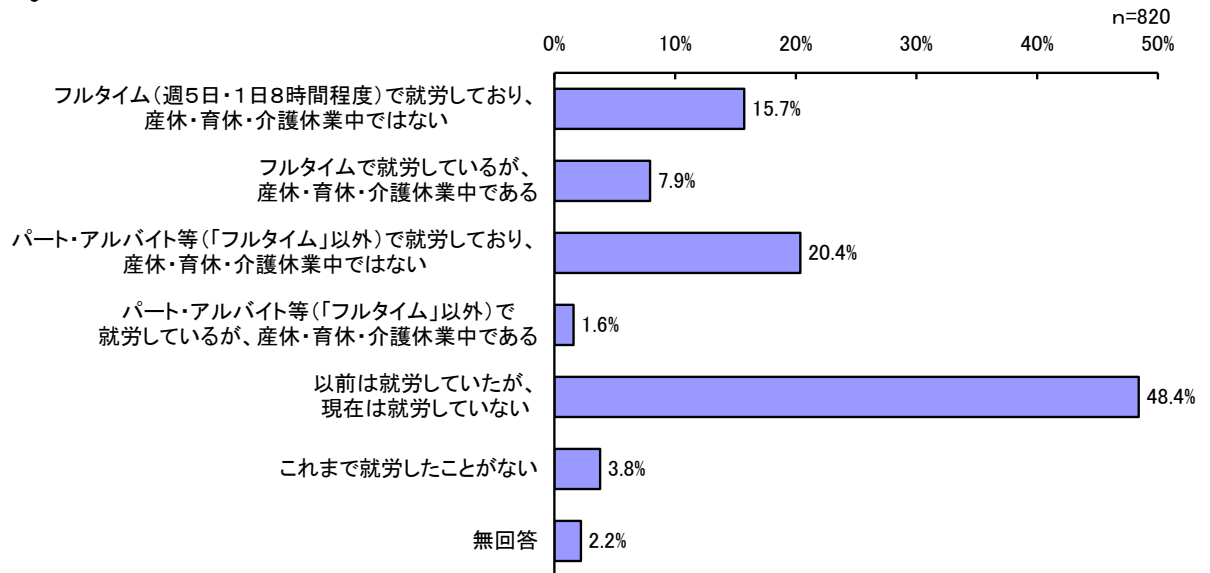
年齢で見た相談先としては、0～2歳で「祖父母の親族」(89.2%)が7.0ポイント高いのに対し、3歳以上では「幼稚園」が22.5ポイント、「近所の人」が7.4ポイント、「保育所」が5.1ポイントそれぞれ高くなっており、年齢が上がると地域でふれあう範囲が広がることにより傾向の違いが見られます。

3. 就労状況

① 就労状況

問 10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



母親の就労状況としては、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が48.4%と半数近くでもっとも高くなっています。「フルタイム」(15.7%)、または「パート等」(20.4%)で就労しており、産休等ではない『働いている』層は全体の36.1%となっています。

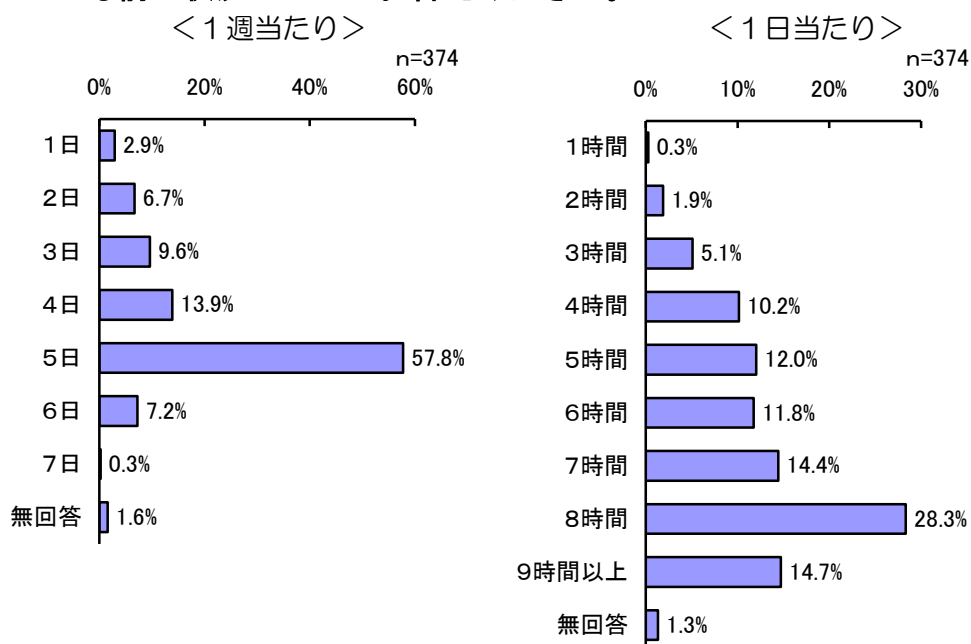
◇地域別・年齢別に見た母親の就労

(単位：%)		業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
合計 (n=820)		15.7	7.9	20.4	1.6	48.4	3.8	2.2	
地域別	東中学校地区 (n=95)	10.5	6.3	21.1	1.1	55.8	2.1	3.2	
	南中学校地区 (n=429)	17.2	9.3	18.9	0.9	48.3	3.0	2.3	
	中央中学校地区 (n=229)	14.8	6.1	23.6	2.2	46.3	5.7	1.3	
年齢別	0～2歳 (n=298)	12.1	15.4	9.4	2.0	56.0	3.4	1.7	
	3歳以上 (n=507)	18.1	3.2	27.2	1.4	44.0	3.9	2.2	

地区で見た母親の就労状況としては、東中学校地区では「以前は就労していたが、現在は就労していない」(55.8%)との回答が高くなっています。

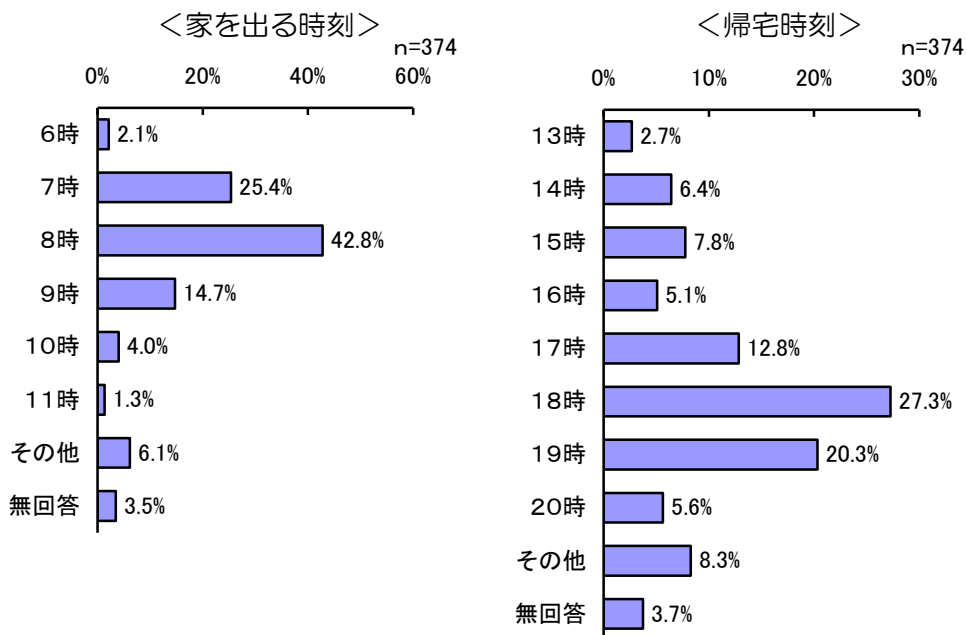
年齢で見た母親の就労状況としては、0～2歳では「フルタイム就労だが、産休等である」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が3歳以上より高いのに対し、3歳以上では「パート等」、「フルタイム」問わず「就労しており、産休等ではない」が0～2歳よりも高くなっています。

(1) -1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



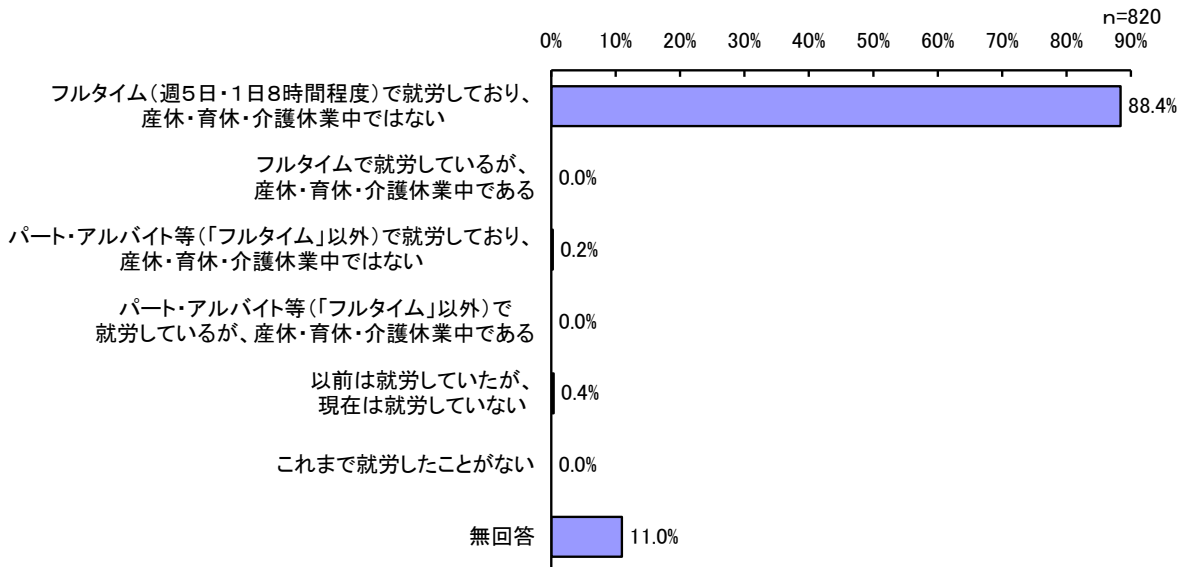
就労している母親の様子については、1週あたりでは「5日」との回答が57.8%でもっとも高く、1日あたりでは「8時間」が28.3%でもっとも高くなっています。

(1) -2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。



就労している母親の家を出る時刻については、「8時」が42.8%、帰宅時刻は「18時」が27.3%でもっとも高くなっています。

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1つに○をつけてください。



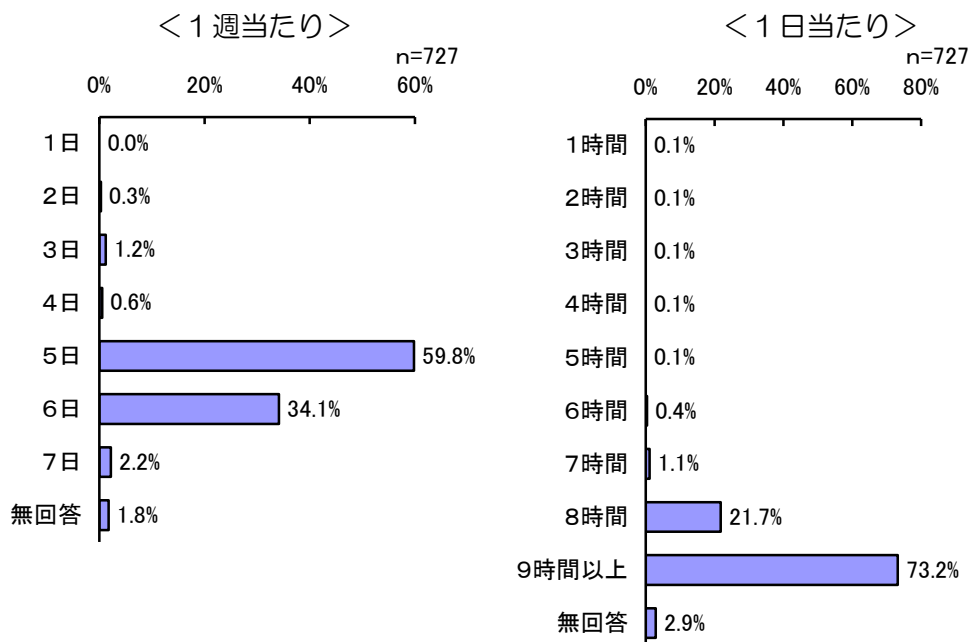
父親の就労状況としては、「フルタイムで就労しており、産休等ではない」が88.4%です。

◇地域別・年齢別に見た父親の就労

(単位：%)		フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
合計	(n=820)	88.4	0.0	0.2	0.0	0.4	0.0	11.0
地域別	東中学校地区 (n=95)	89.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5
	南中学校地区 (n=429)	89.3	0.0	0.2	0.0	0.5	0.0	10.0
	中央中学校地区 (n=229)	86.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.1
年齢別	0～2歳 (n=298)	91.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	8.4
	3歳以上 (n=507)	87.2	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	12.0

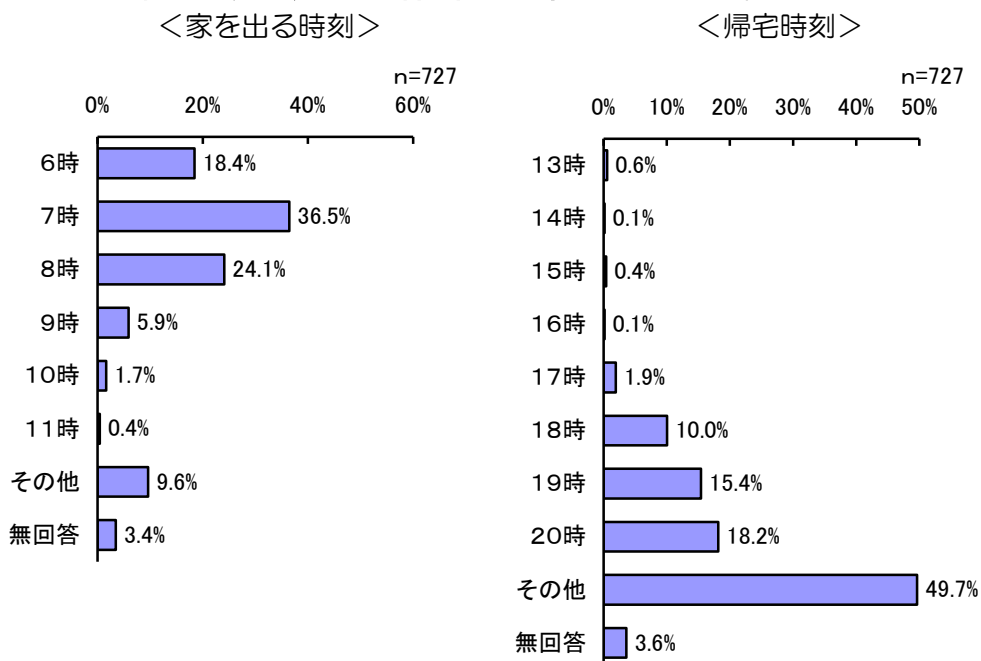
地区別、年齢別、ともに目立った傾向は見られません。

(2) -1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している父親の様子については、1週あたりでは「5日」との回答が59.8%でもっとも高く、1日あたりでは「9時間以上」が73.2%でもっとも高くなっています。

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

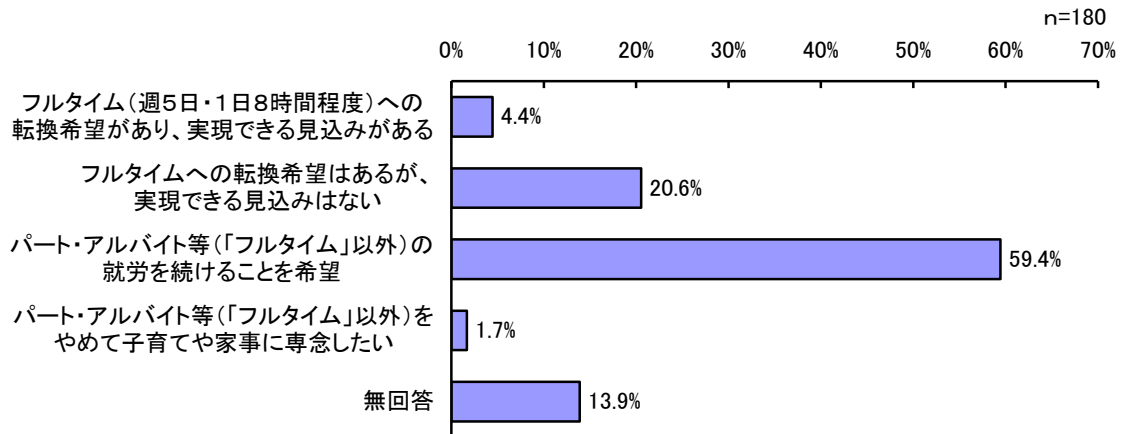


就労している父親の家を出る時刻については、「7時」が36.5%でもっとも高いものの、帰宅時刻は「その他」が49.7%でもっとも高くなっています。その他としては、21時から24時が多くなっています。

② 就労の転換意向

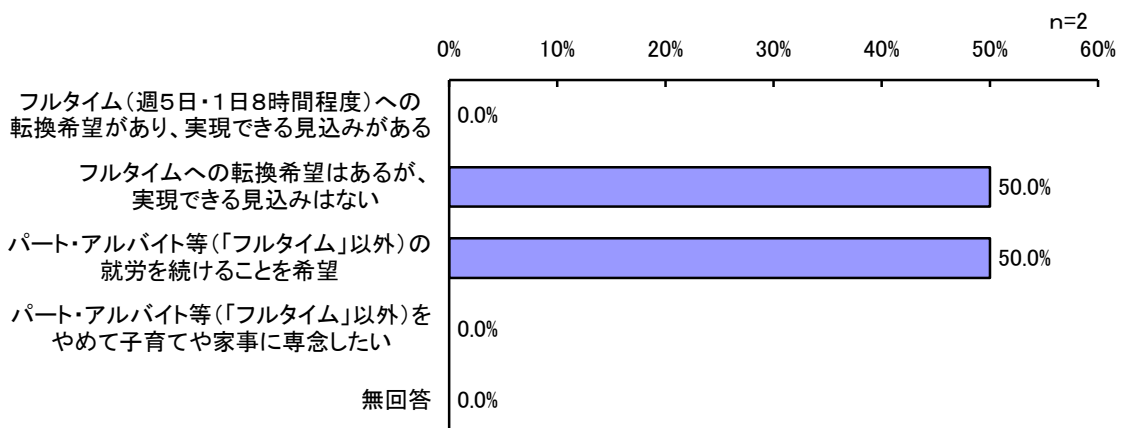
問11 問10の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親



パート、アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望としては、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」との回答が59.4%でもっとも高くなっています。

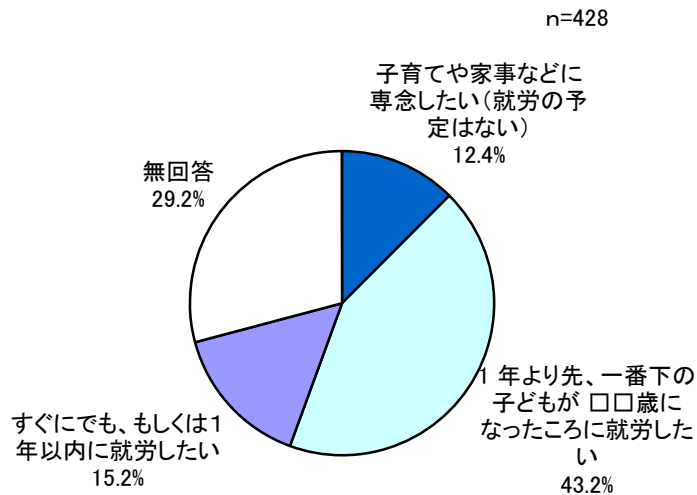
(2) 父親



パート、アルバイト等で就労していると回答した父親は全体の2名で、そのフルタイムへの転換希望は、上記のような結果となっています。

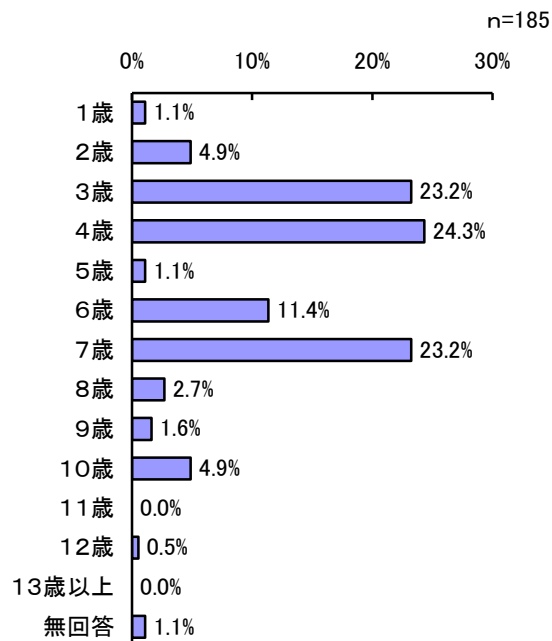
問 12 問 10 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親



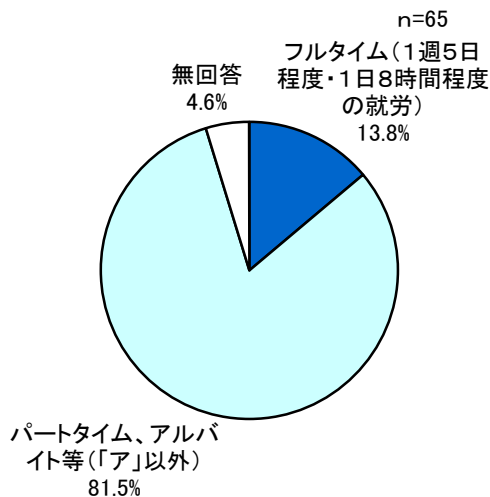
現在、休業等以外で就労していない母親の就労意向については、「1年より先、一番下子どもが□□歳になったときに就労したい」との回答が43.2%でもっとも高くなっています。

■ 『1年より先、一番下の子どもが □□歳になったときに就労したい』の年齢



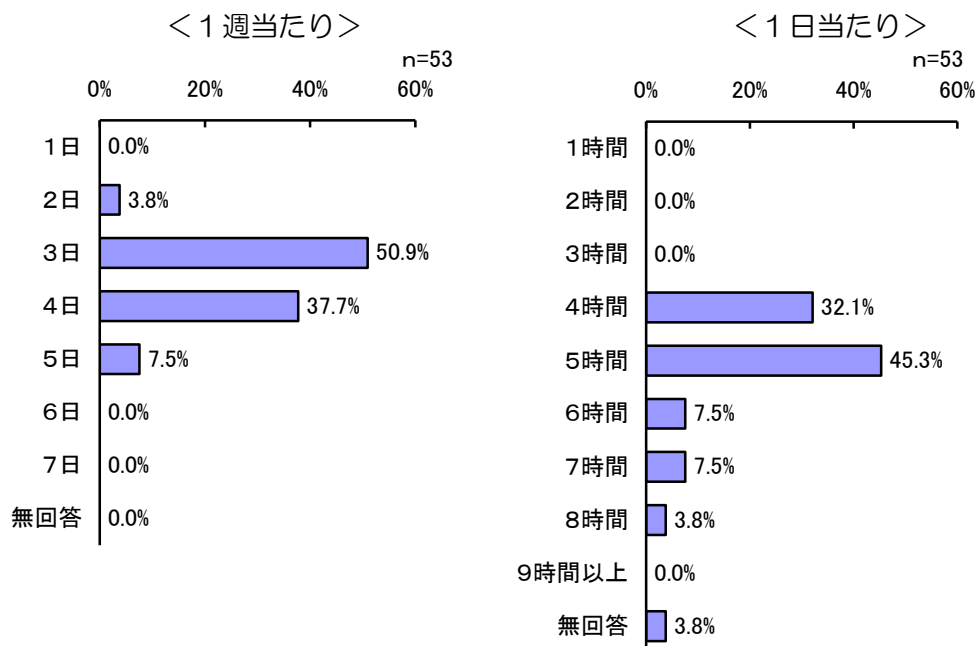
『1年より先、一番下子どもが□□歳になったときに就労したい』と回答した人にその年齢を記入してもらったところ、「4歳」の24.3%がもっとも高く、次いで、「3歳」と「7歳」の23.2%となっています。

■ 希望する就労形態



『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』と回答した人に就労形態をたずねたところ、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」が81.5%でもっとも高くなっています。

■ フルタイム以外の働き方



希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」を選んだ人に働き方をたずねたところ、1週あたりでは「3日」が50.9%、1日あたりでは「5時間」が45.3%でもっとも高くなっています。

(2) 父親

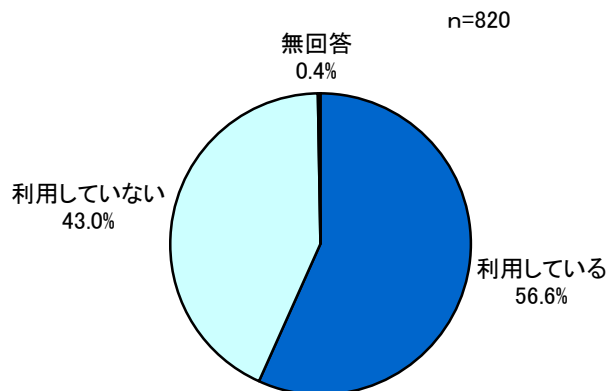
	割合 (%)
n=3	
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0.0
1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	0.0
無回答	100.0
全体	100.0

現在、休業等以外で就労していない父親の就労意向については、回答者数3名のいずれも無回答でした。(※以下、回答者無しのため省略)

4. 定期的なサービスの利用

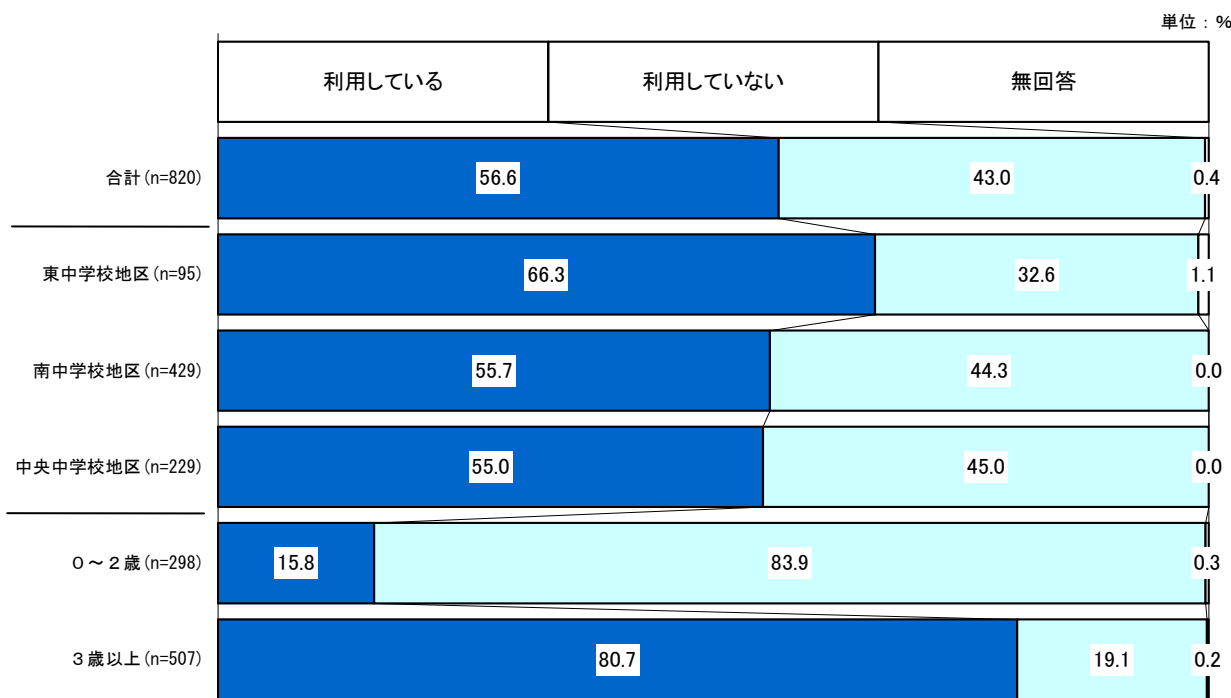
① サービスの利用状況

問13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



「定期的な教育・保育の事業」については、利用していると回答した人は56.6%となっています。

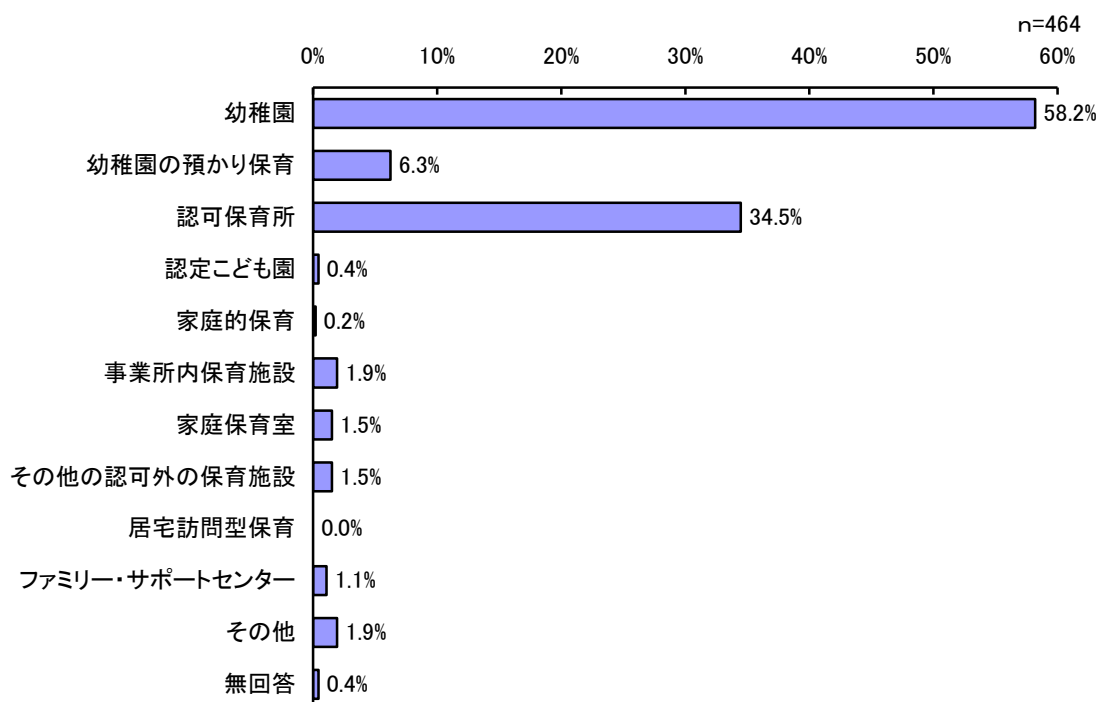
◇地域別・年齢別に見た「定期的な教育・保育の事業」の利用



「定期的な教育・保育の事業」の利用について、地区別に見たところ、「東中学校地区」(66.3%)では、他地区よりも10ポイント以上「利用している」との回答が高くなっています。

年齢別では、幼稚園や保育園の利用が広がる3歳以上では「利用している」が80.7%と高くなっています。

問13-1 問13-1～問13-4は、問13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



「定期的な教育・保育の事業」を利用していると回答した人に、その利用している事業についてたずねたところ、「幼稚園」との回答が58.2%と6割に近くもっとも多くなっています。次いで、「認可保育所」(34.5%)、「幼稚園の預かり保育」(6.3%)となっています。

◇地域別・年齢別に見た利用している事業

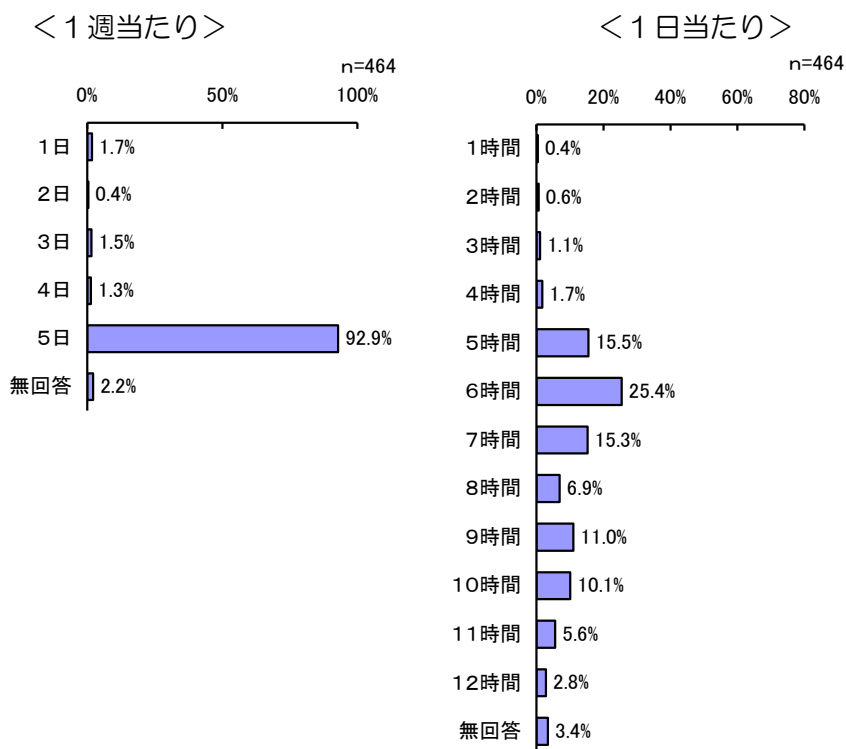
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	家庭保育室	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポートセンター	その他	無回答
(単位：%)													
合計 (n=464)		58.2	6.3	34.5	0.4	0.2	1.9	1.5	1.5	0.0	1.1	1.9	0.4
地域別	東中学校 地区 (n= 64)	66.7	4.8	28.6	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	3.2	0.0
	南中学校 地区 (n=239)	57.3	7.1	33.9	0.4	0.4	2.9	2.1	2.1	0.0	0.8	1.7	0.8
	中央中学校 地区 (n=126)	60.3	6.3	35.7	0.0	0.0	0.8	0.8	1.6	0.0	0.8	0.0	0.0
年齢別	0～2歳 (n=47)	0.0	0.0	74.5	0.0	2.1	8.5	8.5	2.1	0.0	2.1	4.3	0.0
	3歳以上 (n=409)	64.8	7.1	29.8	0.5	0.0	1.2	0.7	1.5	0.0	1.0	1.7	0.5

利用している「定期的な教育・保育の事業」について地域別に見たところ、東中学校地区では「幼稚園」(66.7%)との回答が3分の2を占めて、全体よりも高い一方で、「認可保育所」(28.6%)との回答は3割を下回り、全体よりも低くなっています。

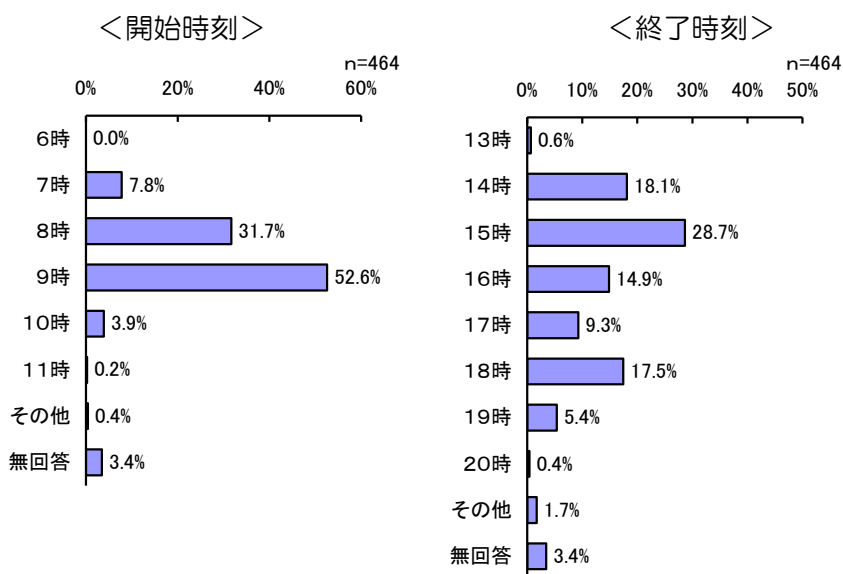
年齢別では、「幼稚園」の利用が可能となる3歳以上で64.8%となっており、「認可保育所」(29.8%)が0～2歳児に比べると比率が下がっています。

問 13-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

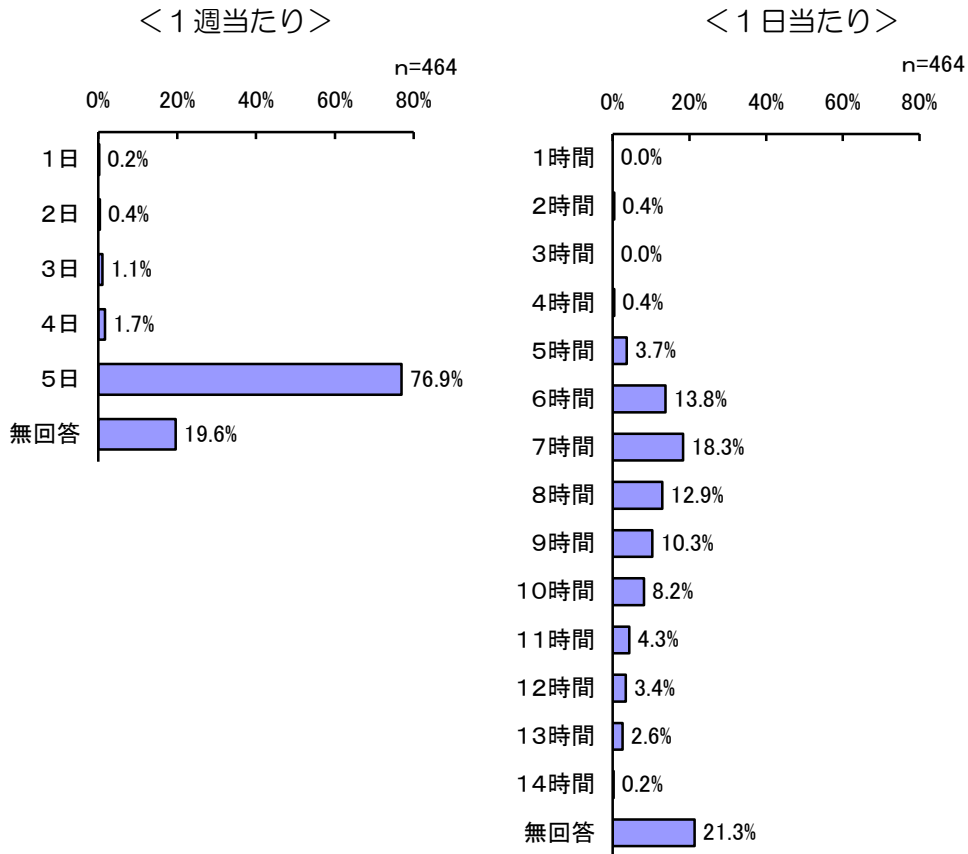


「定期的な教育・保育の事業」の利用の様子についてたずねたところ、1週当たりの日数としては「5日」との回答が92.9%でもっとも高く、1日当たりの時間では「6時間」との回答が25.4%で高くなっています。

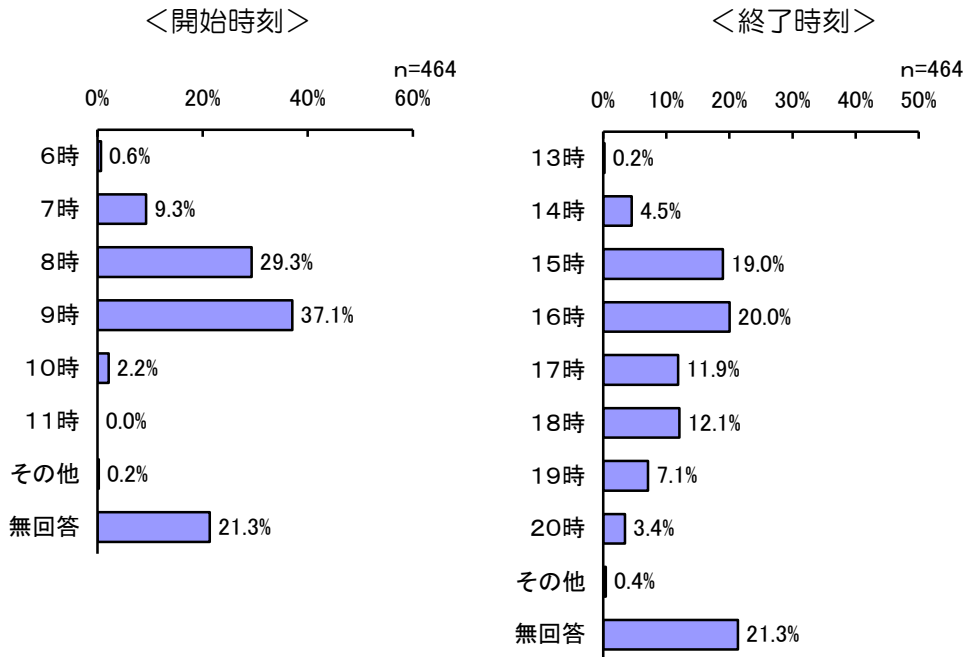


「定期的な教育・保育の事業」の利用の開始時間は「9時」が52.6%でもっとも高く、終了時刻は「15時」が28.7%でもっとも高くなっています。

(2) 希望

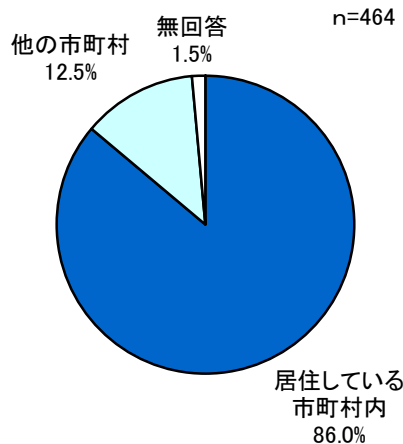


「定期的な教育・保育の事業」の利用の希望についてたずねたところ、1週当たりの日数としては「5日」との回答が76.9%でもっとも高く、1日当たりの時間では「7時間」との回答が18.3%で高くなっています。



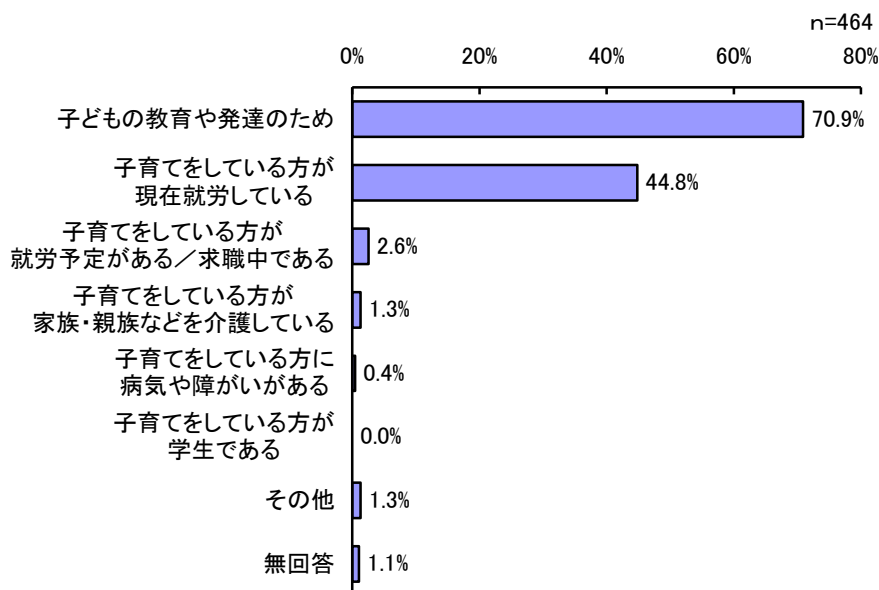
「定期的な教育・保育の事業」の利用の希望の開始時間は「9時」が37.1%でもっとも高く、終了時刻は「16時」が20.0%でもっとも高くなっています。

問13-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
 「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。



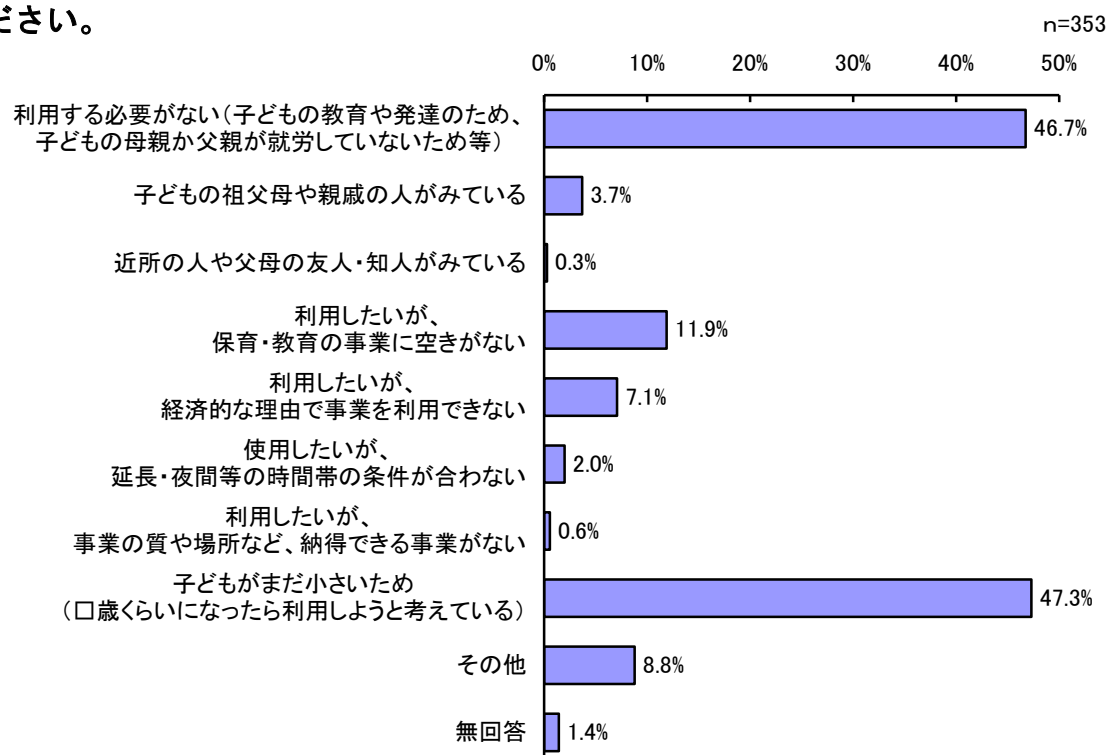
「定期的な教育・保育の事業」の利用している地域については、「居住している市町村内」つまり吉川市内での利用が86.0%となっています。他の市町村の利用は12.5%で、記入された内容としては、越谷市や松伏町が多く挙げられています。

問 13-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。
 主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。



「定期的な教育・保育の事業」を利用している理由については、「子どもの教育や発達のため」との回答が70.9%ともっとも高くなっています。

問 13-5 問 13 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。



「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」(47.3%) がもっとも高くなっています。また、「利用する必要がない」との回答も 46.7% と多くなっています。

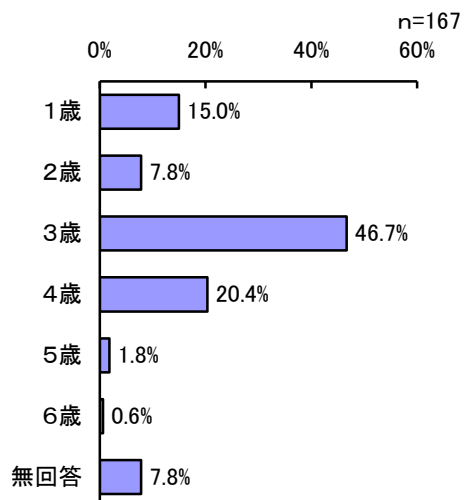
利用したいと思っているが、利用していない理由としては「保育・教育の事業に空きがない」との回答が 11.9% となっています。

◇地域別に見た利用しない理由

		利用する必要がない	子どもの祖母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため	その他	無回答
合計 (n=353)		46.7	3.7	0.3	11.9	7.1	2.0	0.6	47.3	8.8	1.4
地域別	東中学校地区 (n= 31)	51.6	6.5	0.0	3.2	9.7	3.2	0.0	41.9	9.7	3.2
	南中学校地区 (n=190)	46.3	2.6	0.5	13.7	5.3	2.1	1.1	50.5	8.9	0.5
	中央中学校地区 (n=103)	45.6	3.9	0.0	11.7	9.7	1.9	0.0	45.6	8.7	2.9

地区で見た利用しない理由としては、東中学校地区は回答者が少ないものの、「保育・教育の事業に空きがない」との回答が 3.2% と他地域よりも低くなっています。

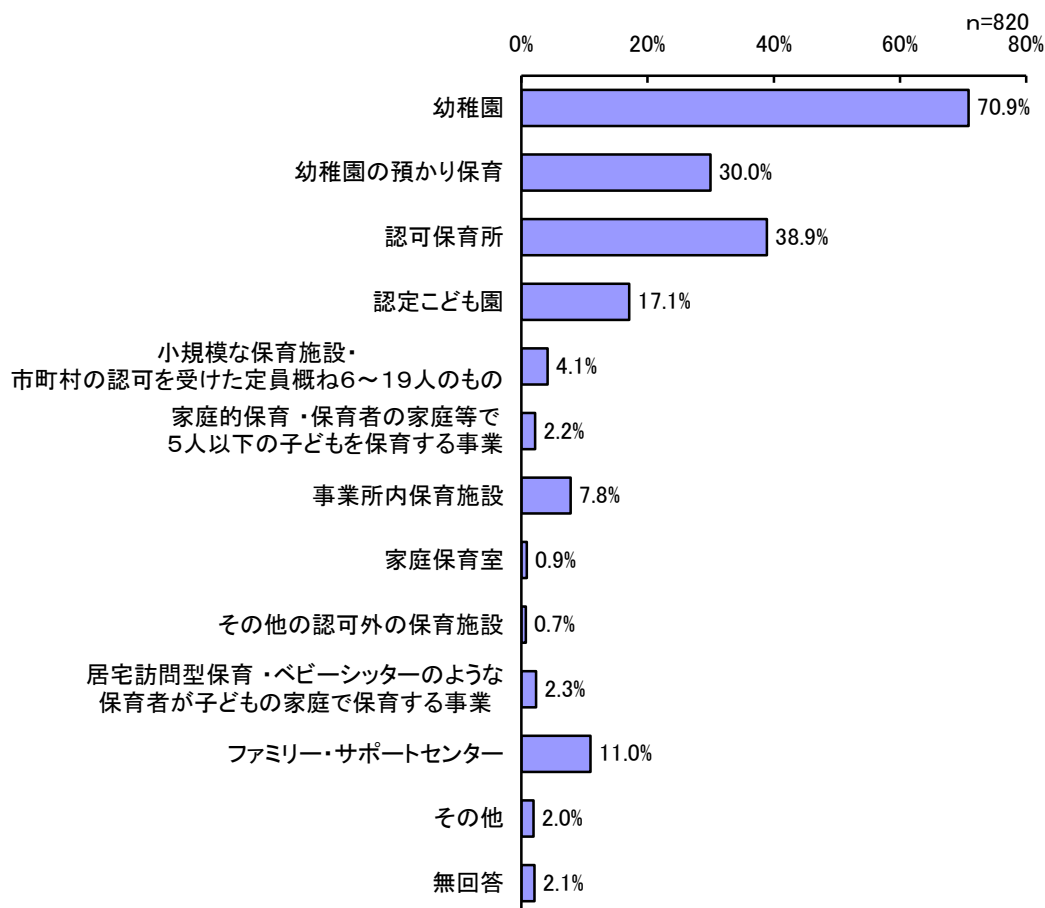
■ □歳ぐらいになったら利用しようと考えている



「子どもが小さいため」と回答した人に、利用したい時期を年齢でたずねたところ「3歳」との回答が46.7%でもっとも高くなっています。

② 今後のサービス利用意向

問 14 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。



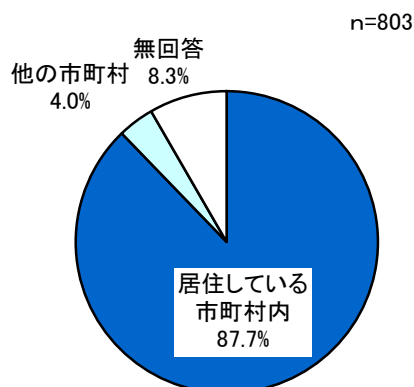
平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したい事業についてたずねたところ、「幼稚園」との回答が70.9%と7割を超えてもっとも高くなっています。次いで「認可保育所」(38.9%)、「幼稚園の預かり保育」(30.0%)となっています。

◇地域別・年齢別に見た利用したい事業

		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	家庭保育室	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポートセンター	その他	無回答
(単位：%)														
合計 (n=820)		70.9	30.0	38.9	17.1	4.1	2.2	7.8	0.9	0.7	2.3	11.0	2.0	2.1
地域別	東中学校地区 (n=95)	73.7	26.3	30.5	11.6	3.2	3.2	3.2	0.0	0.0	2.1	13.7	2.1	4.2
	南中学校地区 (n=429)	71.1	32.2	42.4	18.6	4.7	2.1	8.6	1.6	0.9	1.9	10.0	1.9	1.4
	中央中学校地区 (n=229)	71.2	29.7	36.7	16.2	3.5	1.3	6.6	0.0	0.9	2.2	9.2	1.3	1.3
年齢別	0～2歳 (n=298)	67.1	27.2	49.7	21.5	7.0	2.0	8.7	1.3	1.0	2.7	10.1	2.0	1.7
	3歳以上 (n=507)	73.4	31.6	32.3	14.8	2.6	2.2	6.9	0.6	0.6	1.6	11.2	2.0	2.2

利用したい「定期的な教育・保育の事業」について地域別に見たところ、南中学校地区では「保育園」(42.4%)との回答が4割を超え、他地区よりも高くなっています。南中学校地区は他にも「幼稚園の預かり保育」(32.2%)、「認定こども園」(18.6%)など6項目で3中学校区内でもっとも高くなっています。「ファミリー・サポートセンター」については東中学校地区(13.7%)がもっとも高くなっています。

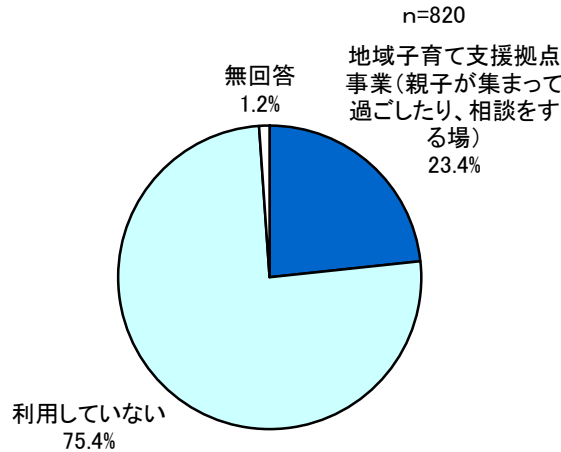
問14-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。



「定期的な教育・保育の事業」の利用たい地域については、「居住している市町村内」つまり吉川市内での利用が87.7%となっています。他の市町村の利用は4.0%で、記入された内容としては、越谷市や松伏町が多く挙げられています。

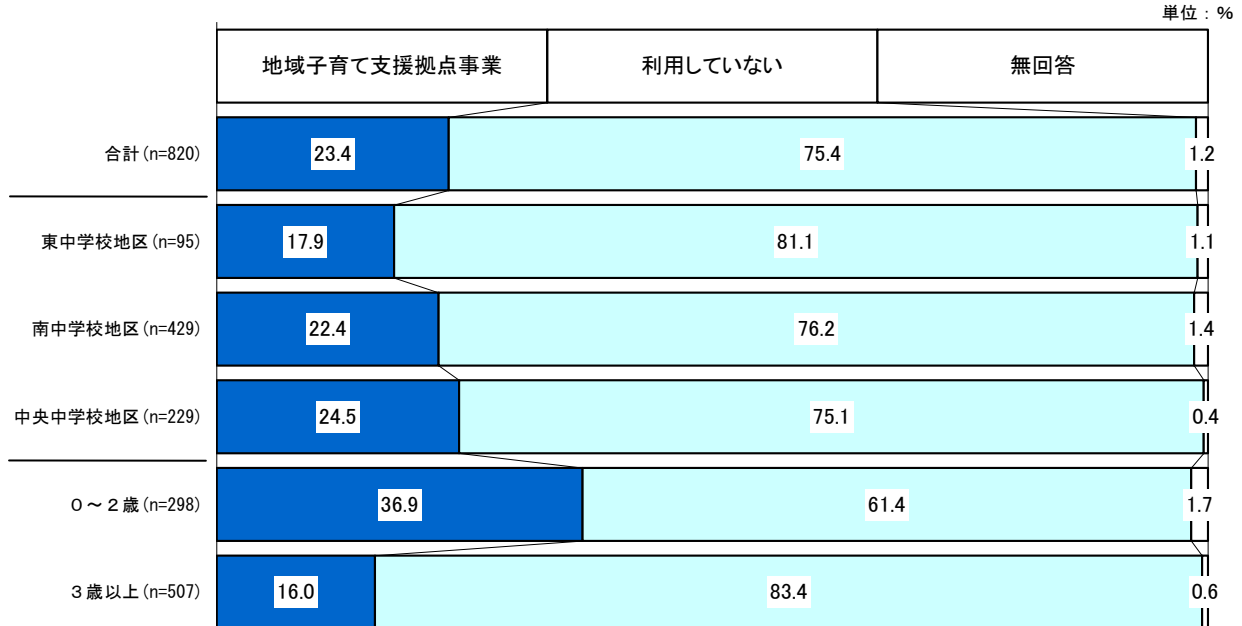
③ 地域子育て支援拠点事業の利用

問 15 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、市には子育て支援センター（おあしす内）、栄町子育て支援センター（ショッピングセンター内）、美南子育て支援センター（美南小学校併設）の3か所があります。）を利用してありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、利用されている場合は、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



市内3か所にある地域子育て支援拠点の利用については、利用があるとの回答は全体の23.4%となっています。

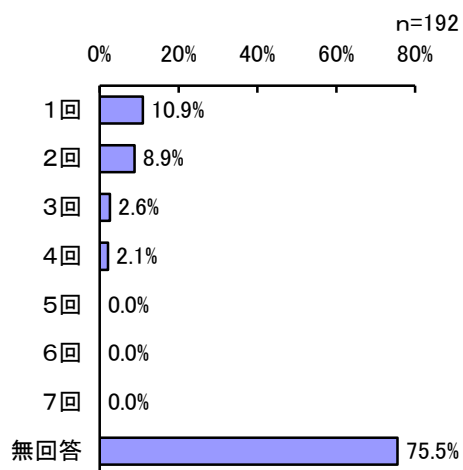
◇地域別・年齢別に見た「地域子育て支援拠点事業」の利用



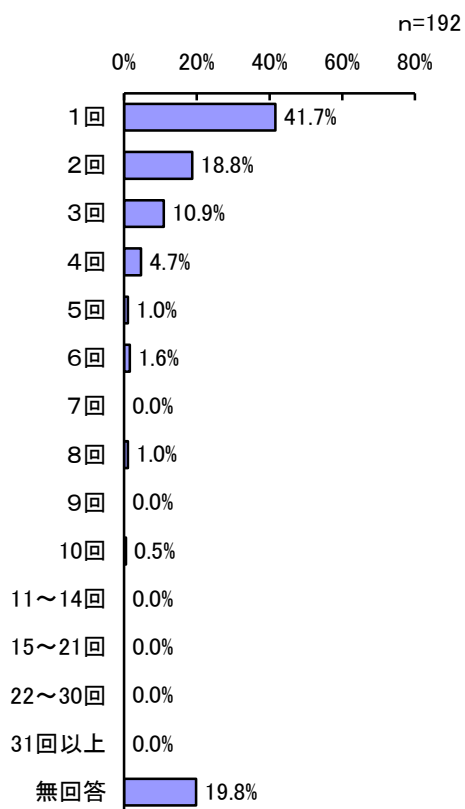
「地域子育て支援拠点事業」の利用について、地区別に見たところ、中央中学校地区での利用が24.5%と、もっとも高くなっています。

年齢別では、0～2歳では36.9%の利用があるのに対し、3歳以上では16.0%と減少しています。

< 1 週当たり >

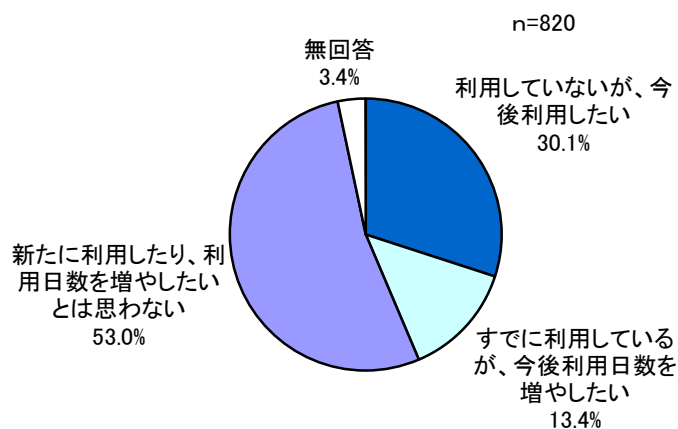


< 1 ヶ月当たり >



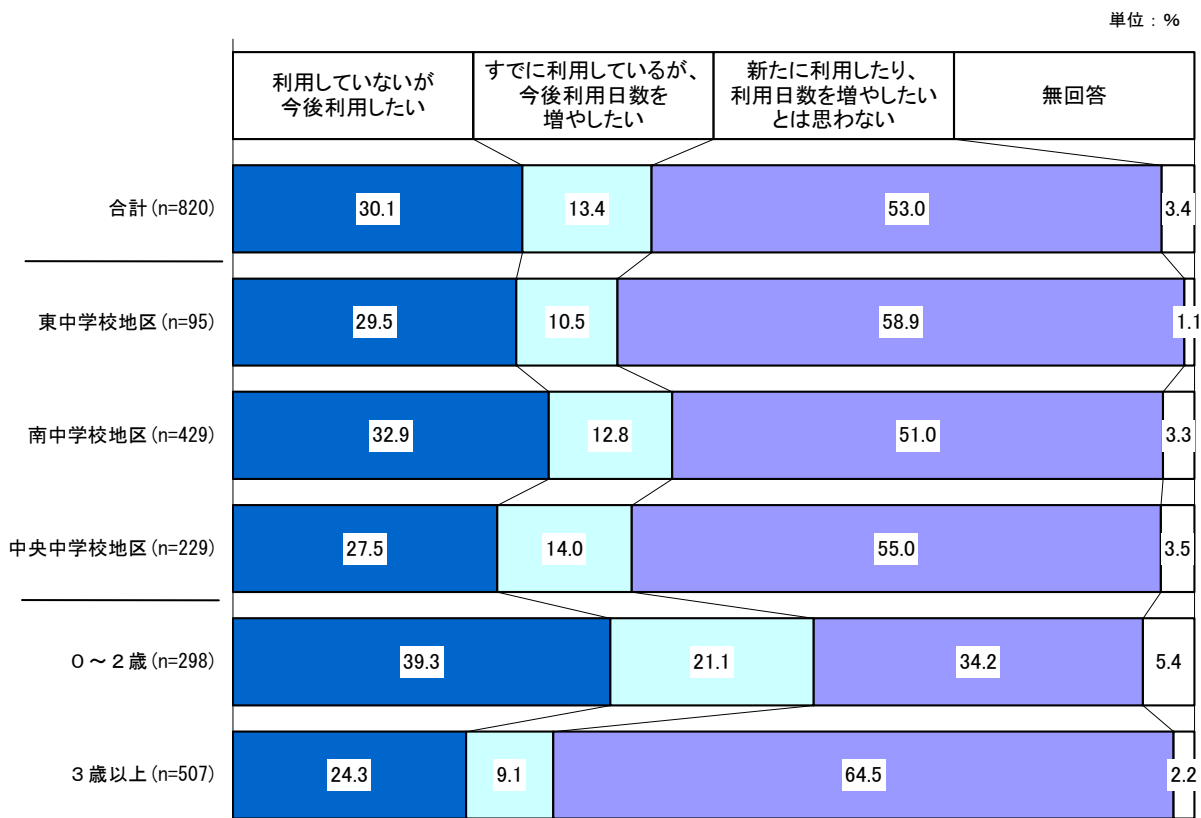
「地域子育て支援拠点事業」の利用の様子については、1 週当たりでは1 回との回答が 10.9%でもっとも高く、1 ヶ月当たりでは1 回との回答が 41.7%でもっとも高くなっています。

問 16 問 15 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



「地域子育て支援拠点事業」の利用希望については、「新たに利用したり、利用したい日数を増やしたいとは思わない」との回答が53.0%でもっとも高くなっています。

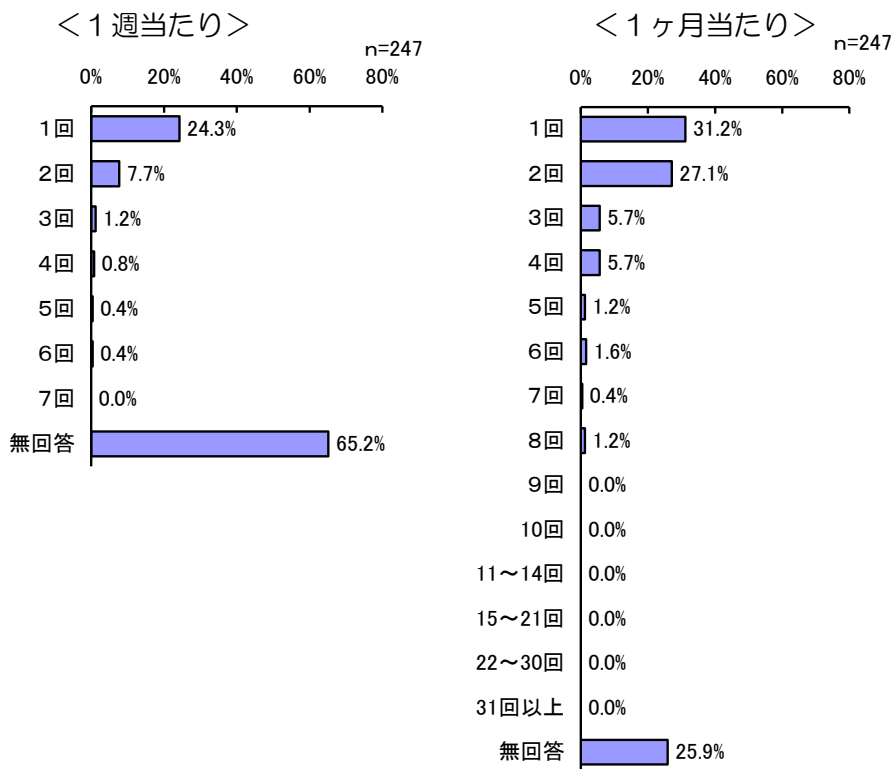
◇地域別・年齢別に見た今後の地域子育て支援拠点事業の利用意向



地域別に見た今後の地域子育て支援事業の利用意向については、「今後利用したい」、「今後増やしたい」を合わせた「今後の利用を延ばしたい」層は南中学校地区で45.7%となっておりもっとも多くなっています。

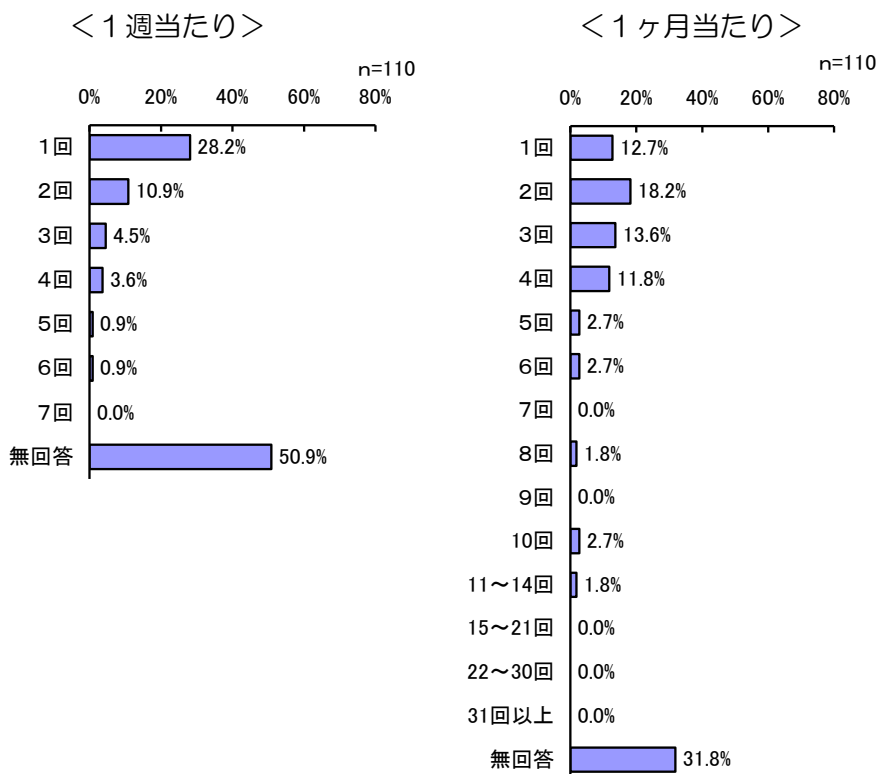
年齢別では、0～2歳で「今後利用したい」との回答が39.3%、「今後増やしたい」との回答が21.1%と高くなっており、利用を希望する意向がこの年代に集中していることが分かります。

■ 「利用していないが、今後利用したい」人の利用希望



「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の希望の回数をたずねたところ、1週あたりでは1回との回答が24.3%でもっとも高く、1ヶ月あたりでは1回との回答が31.2%でもっとも高くなっています。

■ 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の利用希望



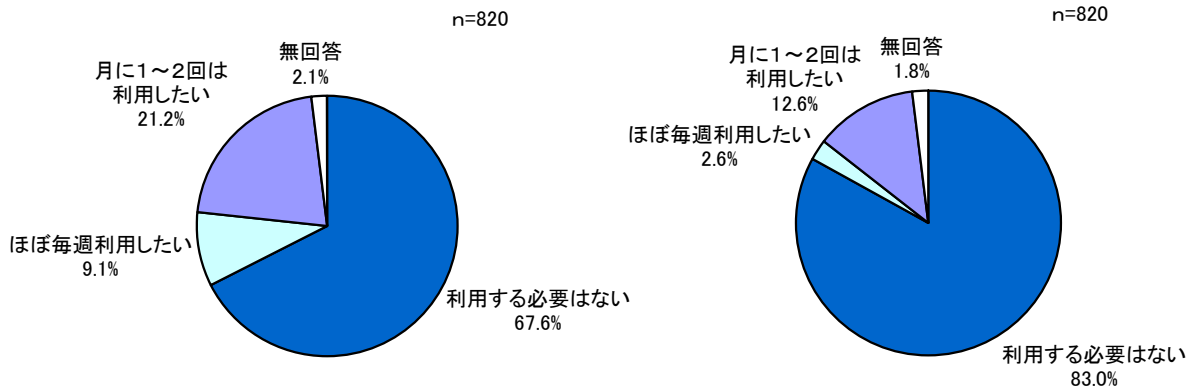
「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の希望の回数をたずねたところ、1週あたりでは1回との回答が28.2%でもっとも高く、1ヶ月あたりでは2回との回答が18.2%でもっとも高くなっています。

④ 平日以外の定期的利用意向

問 17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、この事業の利用には、一定の利用料がかかります。※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

(2) 日曜・祝日



土曜日、または日曜日・祝日に定期的な教育・保育の利用希望があるかたずねたところ、土曜日（67.6%）、日曜日・祝日（83.0%）どちらも「利用する必要はない」との回答がもっとも高くなっています。

◇地域別・年齢別に見た土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望

【土曜日】

単位：%

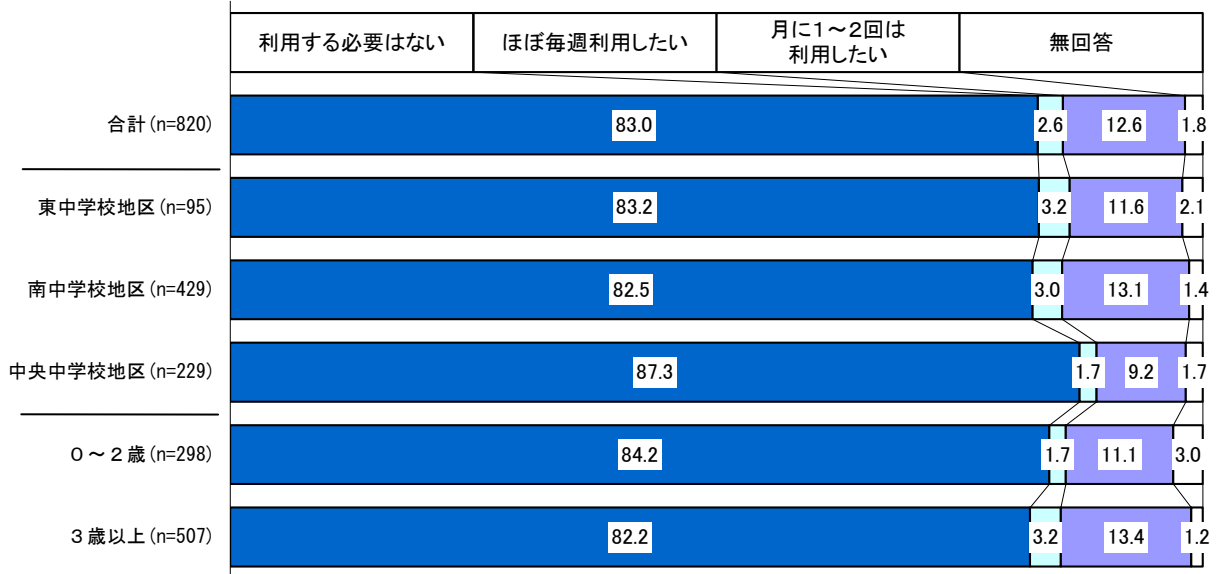
	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答
合計 (n=820)	67.6	9.1	21.2	2.1
東中学校地区 (n=95)	71.6	6.3	20.0	2.1
南中学校地区 (n=429)	68.3	9.6	20.0	2.1
中央中学校地区 (n=229)	66.8	10.0	21.4	1.7
0～2歳 (n=298)	73.8	6.4	16.4	3.4
3歳以上 (n=507)	63.7	11.0	23.9	1.4

土曜日の定期的な教育・保育の利用希望について、地域別にみたところ、どの中学校区でも7割前後で「利用する必要はない」がもっとも高い結果となっています。

年齢別では、3歳以上で「利用する必要はない」（63.7%）との回答が0～2歳に比べ、10.1ポイント減少し、利用意向が高くなっています。

【日曜日・祝日】

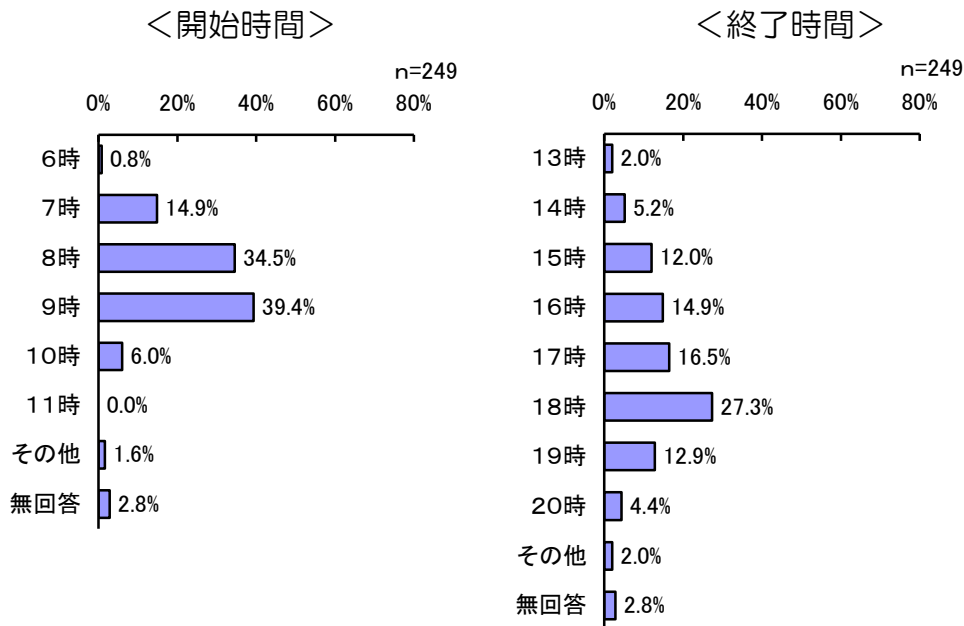
単位：%



日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望について、地域別にみたところ、どの中学校区でも8割台で「利用する必要がない」がもっとも高い結果となっています。

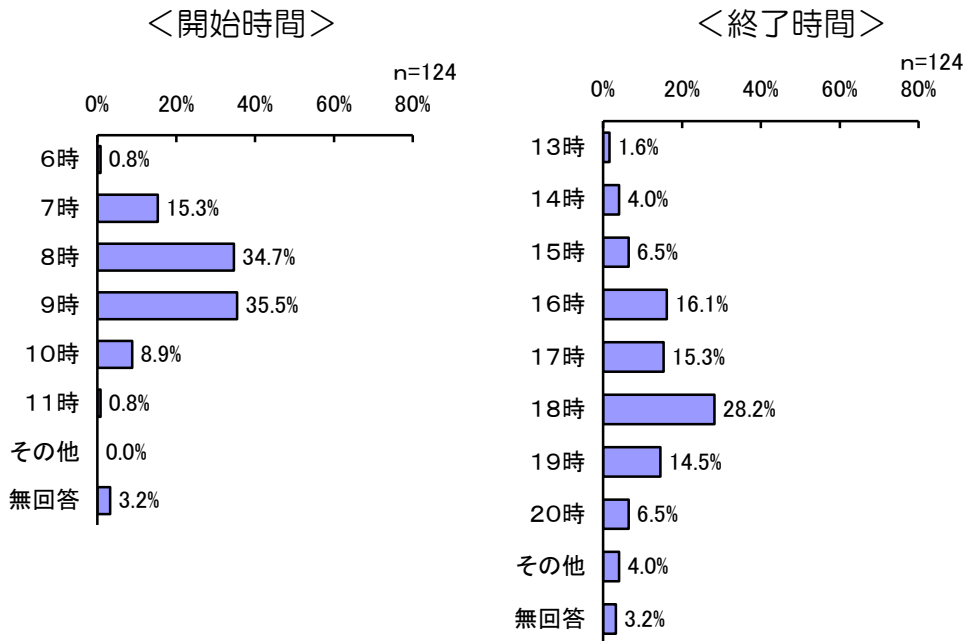
年齢別でも、大きな違いは見られません。

■ 土曜日の利用希望



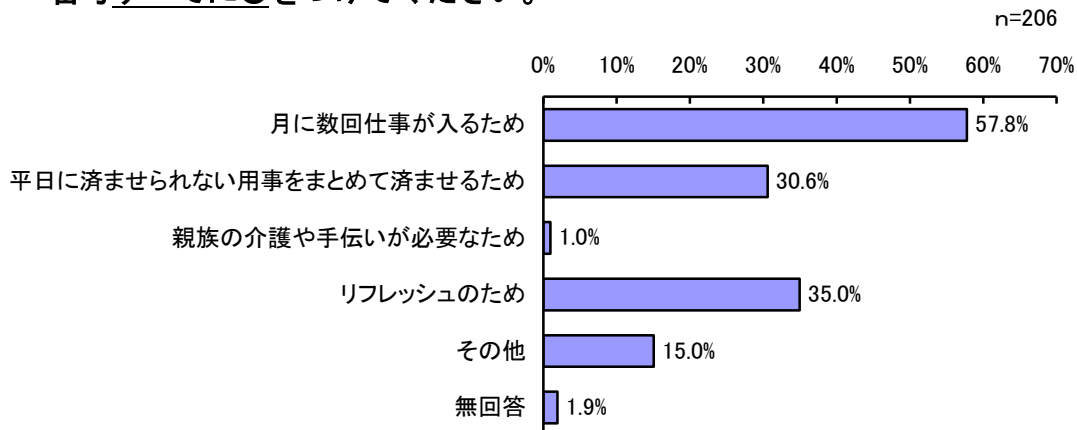
土曜日の利用について「ほぼ毎週利用したい」、「月に1~2回は利用したい」と回答した人に希望の状況をたずねたところ、開始時間としては「9時」が39.4%でもっとも高く、終了時間としては「18時」が27.3%となっています。

■ 日曜日・祝日の利用希望



日曜日・祝日の利用について「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」と回答した人に希望の状況をたずねたところ、開始時間としては「9時」が35.5%でもっとも高く、終了時間としては「18時」が28.2%となっています。

問17-1 問17の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

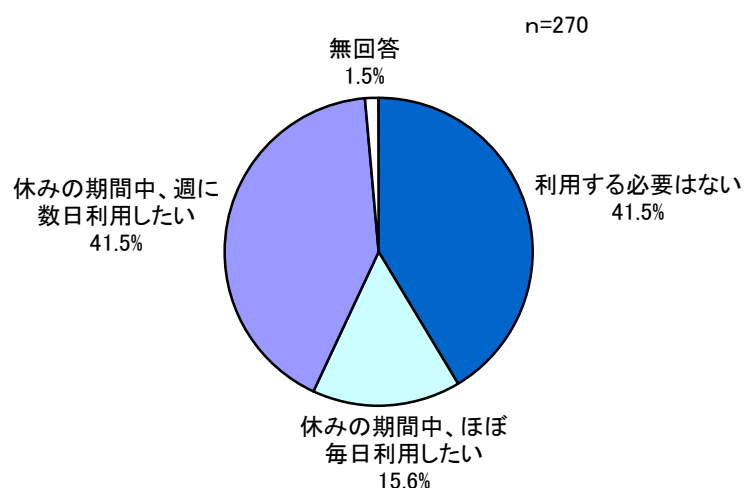


土曜日もしくは日曜日・祝日に、月に1～2回は利用したい人にその理由をたずねたところ、「月に数回仕事が入るため」が57.8%でもっとも高くなっています。

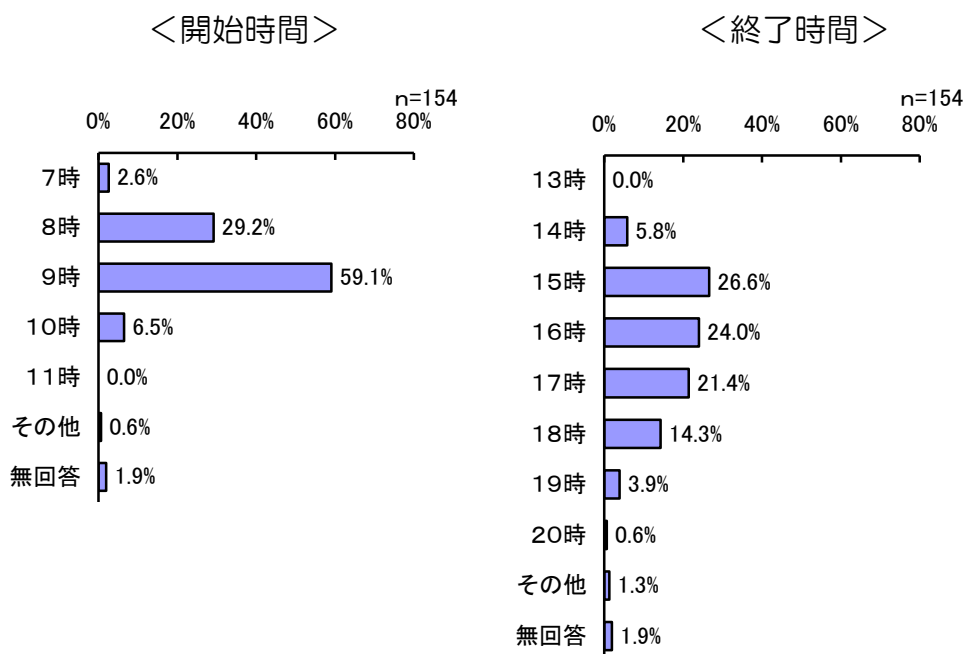
5. 不定期のサービス利用

① 幼稚園利用者の長期休暇中のサービスの利用意向

問 18 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、この事業の利用には、一定の利用料がかかります。

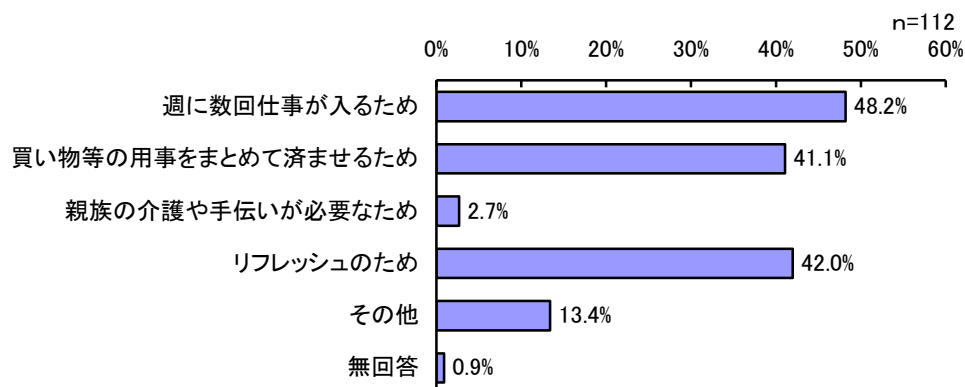


「定期的な教育・保育の事業」の利用している事業（問13-1）で「幼稚園」を選択した人に、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望を聞いたところ、「休みの期間中、週に数日利用したい」と、「利用する必要はない」との回答がそれぞれ全体の41.5%となっています。



「ほぼ毎日利用したい」、「週に数日利用したい」と回答した人にその利用希望をたずねたところ、開始時間は「9時」が59.1%、終了時間は「15時」が26.6%でもっとも高くなっています。

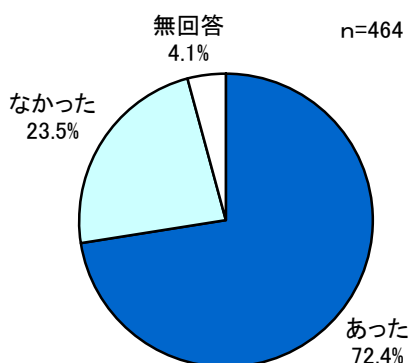
問 18-1 問 18 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



幼稚園の長期休暇中に教育・保育の事業利用を希望する人にその理由をたずねたところ、「週に数回仕事が入るため」が48.2%でもっとも高くなっていますが、「リフレッシュのため」(42.0%)、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(41.1%)も4割台で続いています。

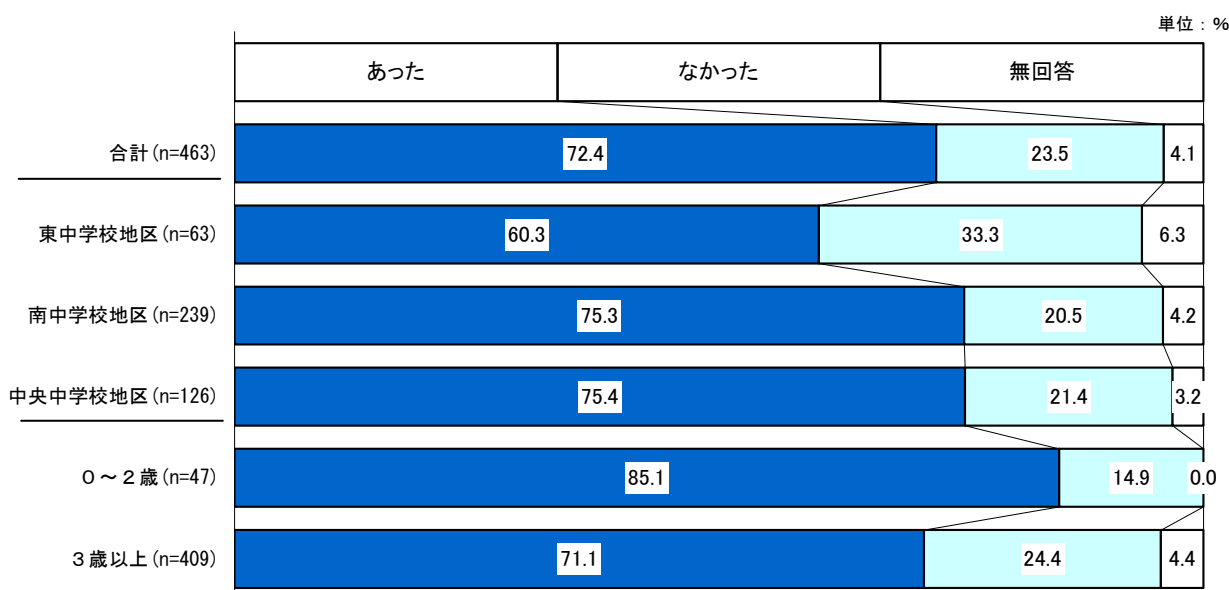
② 緊急時の預かり

問 19 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 13 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかったことはありますか。



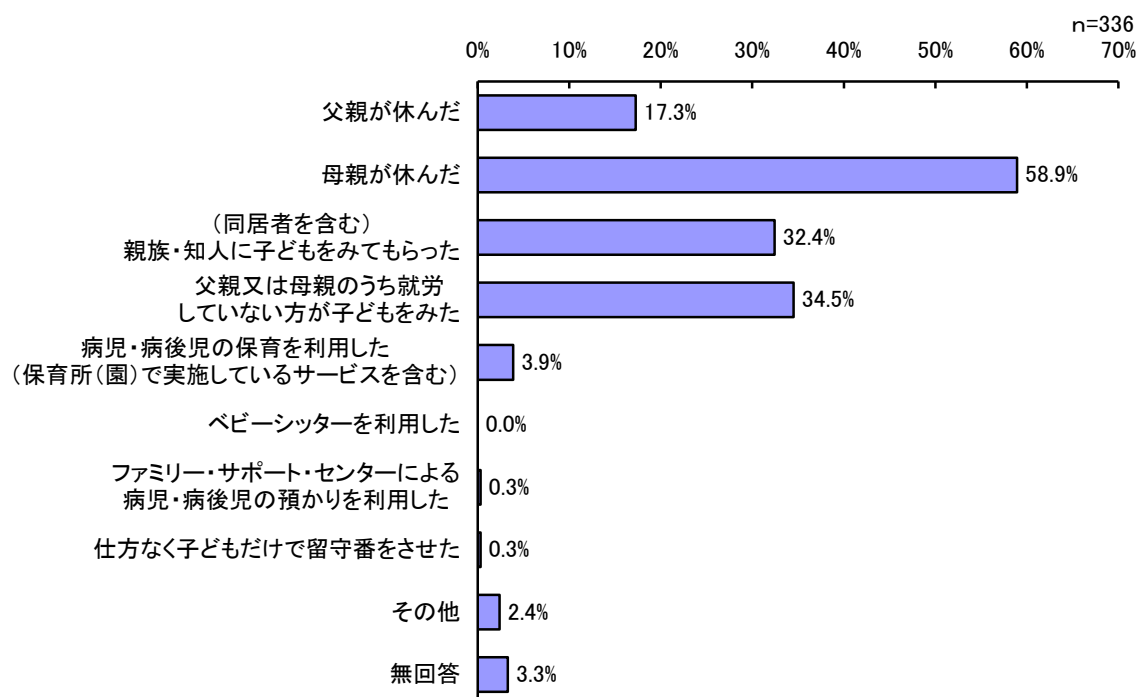
「定期的な教育・保育の事業」を利用している人に、子の病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかったことの有無をたずねたところ、「あった」と回答した人は72.4%に上っています。

◇地域別・年齢別に見た子の病気等で定期的な教育・保育の事業が利用できなかったこと



子の病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかったことについて、地区別に見ると、東中学校地区では「あった」(60.3%)との回答が他地区よりも15ポイント程度低くなっています。年齢で見ると、0～2歳児の方が「あった」との回答が14ポイント高くなっています。

問19-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）。



子の病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかった場合の対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ」との回答が58.9%でもっとも高く、次いで、「父親又は母親のうち、就労していないほうが子どもをみた」(34.5%)、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(32.4%)となっています。

■ 対処方法の日数

	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターによる病児・病後児の預かりを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他
(n=336) (単位：%)									
1日	4.8	6.0	3.3	1.8	0.3	-	0.3	-	0.3
2日	3.6	6.0	4.8	3.9	-	-	-	-	0.3
3日	1.2	8.9	4.8	5.7	0.6	-	-	-	0.9
4日	0.3	1.8	1.5	2.4	0.6	-	-	-	-
5日	3.6	8.6	4.8	4.8	0.9	-	-	0.3	-
6日	0.3	1.8	0.3	0.6	0.3	-	-	-	-
7日	0.9	3.6	0.6	2.4	0.3	-	-	-	-
8日	0.3	0.6	0.6	0.3	0.3	-	-	-	-
9日	-	-	-	0.3	-	-	-	-	-
10日	1.5	10.1	4.5	6.3	0.6	-	-	-	0.3
11～14日	-	1.5	0.3	0.6	-	-	-	-	-
15～21日	0.6	6.3	3.3	2.4	-	-	-	-	-
22～30日	-	1.2	2.1	1.2	-	-	-	-	-
31日以上	-	1.2	1.2	0.3	-	-	-	-	-

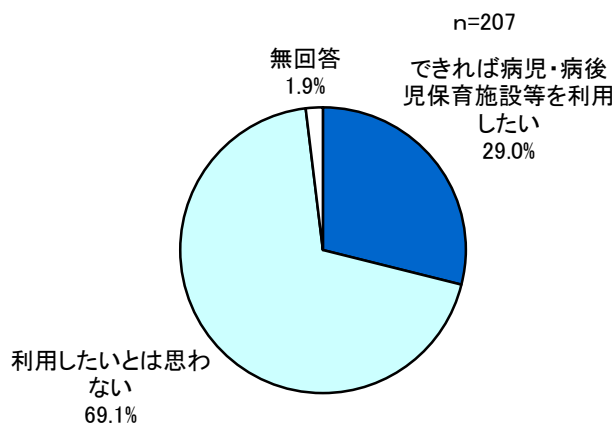
※回答者数が0人のところは「-」となっています。

子の病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかったことが「あった」人に、どのような対処を何日ずつそれぞれの対処方法を行ったかを記入してもらったところ上記のような結果となりました。

11日より長い期間の対処方法が取られたとの回答があったのは「母親が休んだ」、「親族等にみてもらった」、「父又は母の就労していないほうがみた」、「父親が休んだ」の4項目でいずれも身内による対応となっており、そのうち、5.0%以上の回答となったのは「母親が休んだ」の1日、2日、3日、5日、10日、15～21日、「父又は母の就労していないほうがみた」の3日、10日となっています。

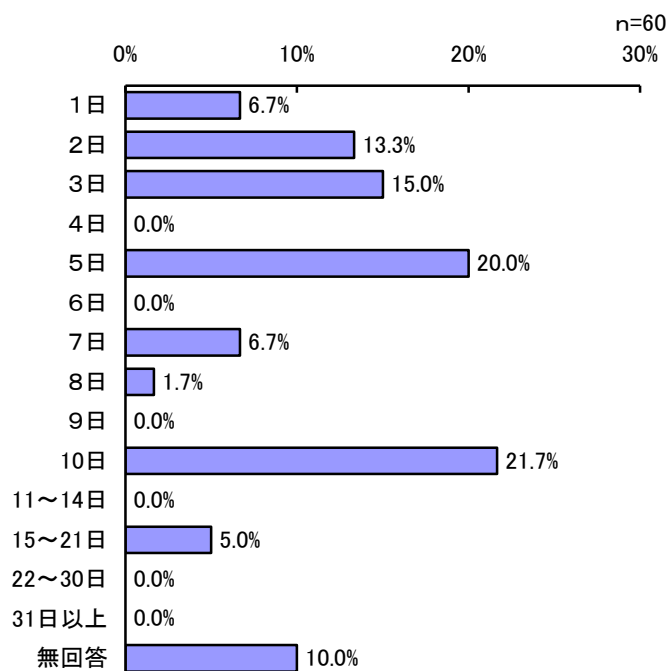
問19-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。〔保育料：0～2,000円程度〕



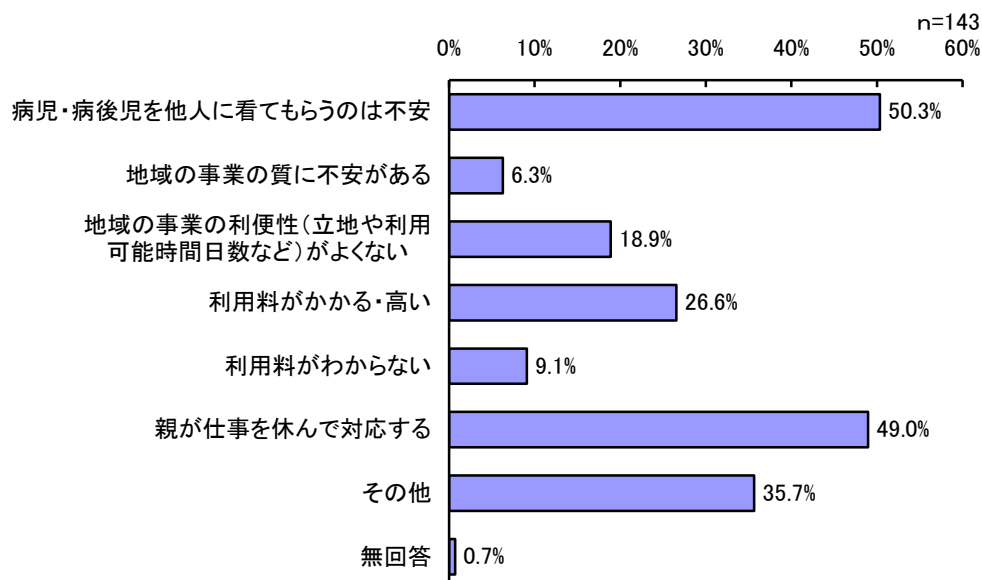
子どもを見るために「父親が休んだ」または「母親が休んだ」人に、病児・病後児保育の利用希望についてたずねたところ、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人は全体の29.0%となっています。

■利用したい日数



「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人に、その希望日数をたずねたところ、10日が21.7%でもっとも高く、次いで、5日（20.0%）、3日（15.0%）などとなっています。

問 19-3 問 19-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

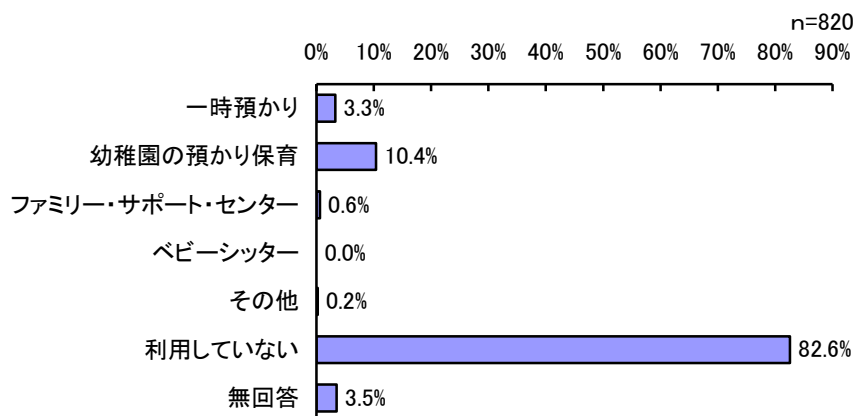


病児・病後児保育施設等を「利用したいと思わない」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が50.3%でもっとも高くなっています。次いで「親が休んで対応をする」が49.0%、「その他」が35.7%となっています。

「その他」の記述内容としては、「病気のときぐらいは子どものそばにいたい」、「祖父母等親族に面倒を見てもらえる」、「時間が合わない」、「登録や手続き、預ける準備が面倒」などが挙げられています。

③ 不特定の事業の利用

問 20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



不定期に利用している事業については「利用していない」との回答が全体の82.6%となっています。利用しているものの中では「幼稚園の預かり保育」が10.4%でもっとも高く、次いで「一時預かり」が3.3%などとなっています。

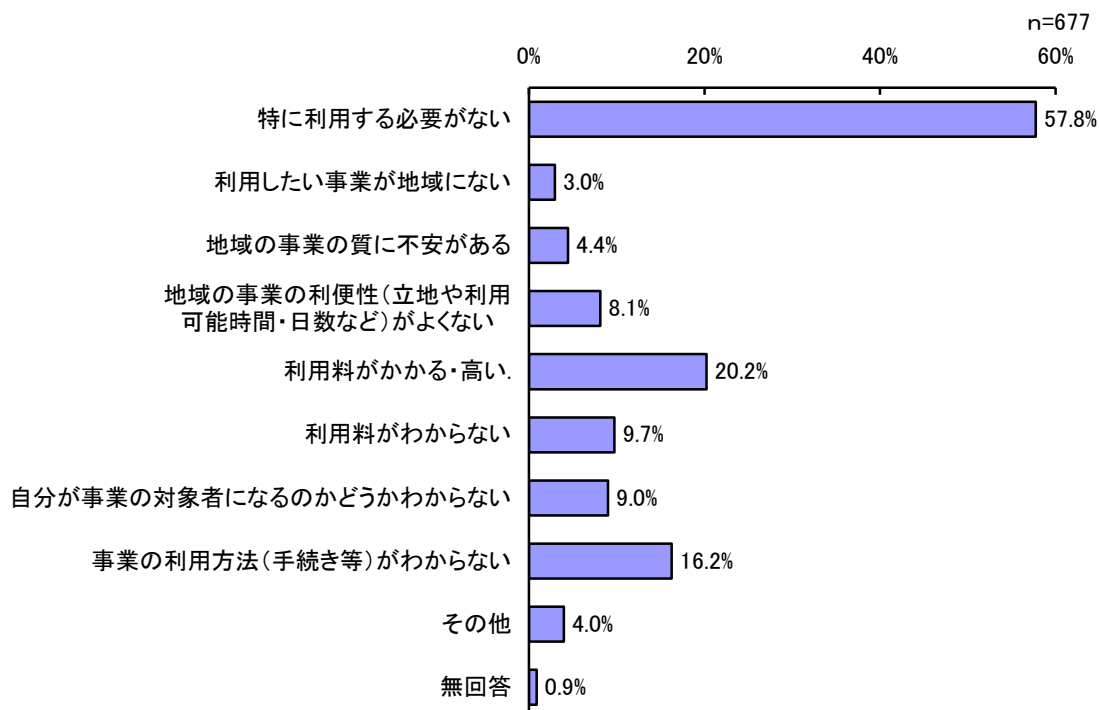
■それぞれの事業の利用状況

(単位：%)	一時預かり (n=27)	幼稚園の 預かり保育 (n=85)	ファミリー・ サポート・ センター (n=5)	ベビー シッター (n=0)	その他 (n=2)
1日	25.9	7.1	20.0	0.0	0.0
2日	18.5	15.3	20.0	0.0	0.0
3日	14.8	20.0	0.0	0.0	50.0
4日	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0
5日	0.0	16.5	0.0	0.0	0.0
6日	7.4	3.5	0.0	0.0	0.0
7日	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0
8日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10日	11.1	15.3	40.0	0.0	0.0
11～14日	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0
15～21日	11.1	2.4	20.0	0.0	50.0
22～30日	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0
31日以上	11.1	4.7	0.0	0.0	0.0
日数無回答	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0

不定期に利用しているそれぞれの事業ごとに利用している日数を記入してもらったところ、上記のような結果となりました。回答者数はそれぞれ少ないですが、1～3日と、10日、15～21日等の回答が主に見られます。

問20で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問20-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



不定期に利用している事業を「利用していない」と回答した人にその理由についてたずねたところ、「特に利用する必要がない」との回答が57.8%でもっとも高くなっています。次いで「利用料がかかる・高い」(20.2%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(16.2%)などとなっています。

◇地域別・年齢別に見た利用していない理由

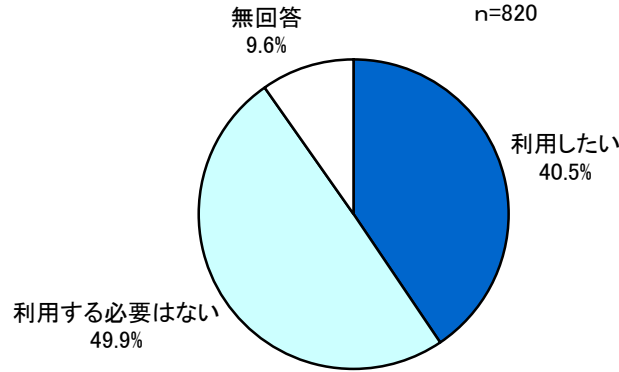
		特に利用する必要がない	地域にない	不安がある	地域の事業の質がよくない	地域の事業の利便性がよくない	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない	事業の利用方法がわからない	その他	無回答
(単位: %)												
合計 (n=677)		57.8	3.0	4.4	8.1	20.2	9.7	9.0	16.2	4.0	0.9	
地域別	東中学校地区 (n=76)	63.2	5.3	1.3	11.8	15.8	7.9	7.9	15.8	5.3	0.0	
	南中学校地区 (n=348)	57.2	3.4	6.6	9.2	19.0	10.9	10.6	19.0	2.6	0.9	
	中央中学校地区 (n=199)	56.3	2.0	2.5	5.0	24.6	8.5	5.0	11.6	6.0	1.5	
年齢別	0～2歳 (n=272)	58.8	1.8	5.9	7.0	16.5	11.8	11.4	22.1	3.7	1.8	
	3歳以上 (n=394)	57.9	3.6	3.0	8.4	22.1	7.9	7.4	11.9	4.3	0.3	

「必要がない」と「その他」以外の、利用していない理由について地域別に見たところ、東中学校地区では「地域の利便性」と「事業が地域にない」が3地区でもっとも高くなっています。中央中学校地区では「利用料がかかる」が3地区でもっとも高くなっています。南中学校では「事業の質の不安」、「利用料がわからない」、「対象者になるかかわからない」、「利用方法がわからない」の4項目がもっとも高くなっています。

年齢別では、0～2歳では「利用方法がわからない」が3歳以上より10.2ポイント高く、3歳以上では「利用料がかかる・高い」との回答が0～2歳より5.6ポイント高くなっています。

④ 不定期での事業の利用意向

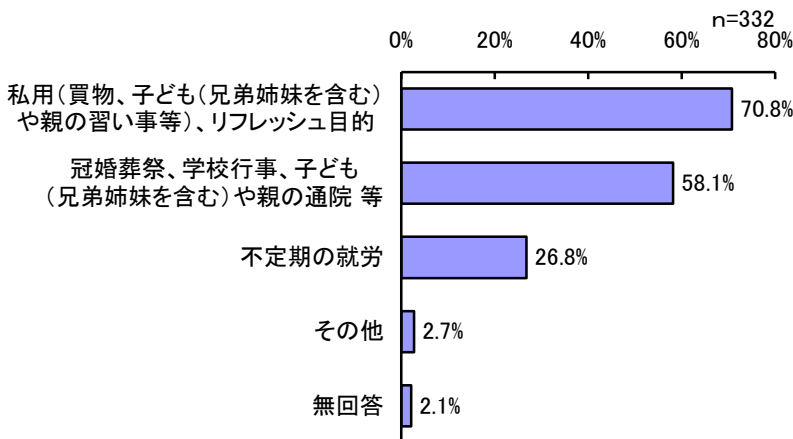
問 21 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。〔保育料等：幼稚園 500～2,000 円程度、保育所 0～1,700 円程度〕



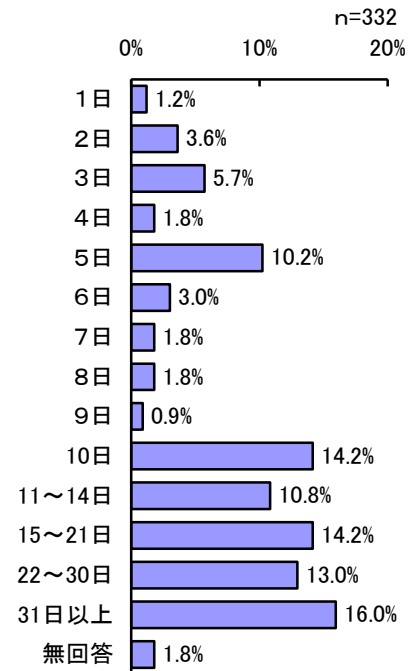
私用等の目的で事業を利用したいかたずねたところ、「利用したい」との回答は40.5%でした。

■ 利用したい理由と、利用したい全体の日数

<利用したい理由>



<利用したい全体の日数>



「利用したい」と回答した人にその理由をたずねたところ、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」との回答が70.8%でもっとも高くなっています。

また、利用したい全体の日数としては、31日以上への回答が16.0%を占め、「利用したい」人の7割近くは10日以上の利用を望んでいることが分かります。

■ 利用したい理由の日数

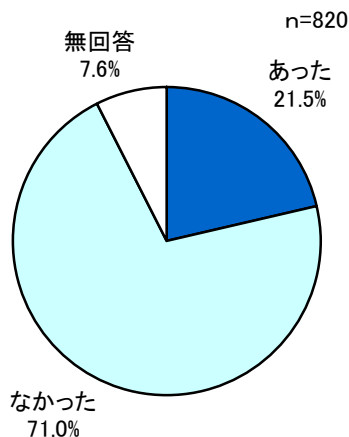
(n=332) (単位：%)	私用、 リフレッシュ目的	冠婚葬祭、 学校行事、 子どもや親の通院 等	不定期の就労	その他
1日	1.5	2.7	0.3	-
2日	5.1	3.3	0.9	-
3日	6.9	6.9	1.2	0.6
4日	2.1	0.6	-	-
5日	9.3	14.5	3.3	0.6
6日	2.4	2.7	0.6	-
7日	1.5	3.6	0.3	-
8日	0.9	0.6	0.6	-
9日	-	-	-	-
10日	11.1	12.7	4.8	0.9
11～14日	15.4	3.3	2.1	-
15～21日	5.7	5.1	2.1	0.3
22～30日	4.5	1.5	4.5	-
31日以上	4.2	0.6	6.0	0.3

※回答者数が0人のところは「-」となっています。

利用したい理由の日数を回答してもらったところ、「私用、リフレッシュ目的」では10日と11～14日で、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」では5日と、10日で1割以上の回答となっています。また、「不定期の就労」では31日以上の回答が目立ちます。

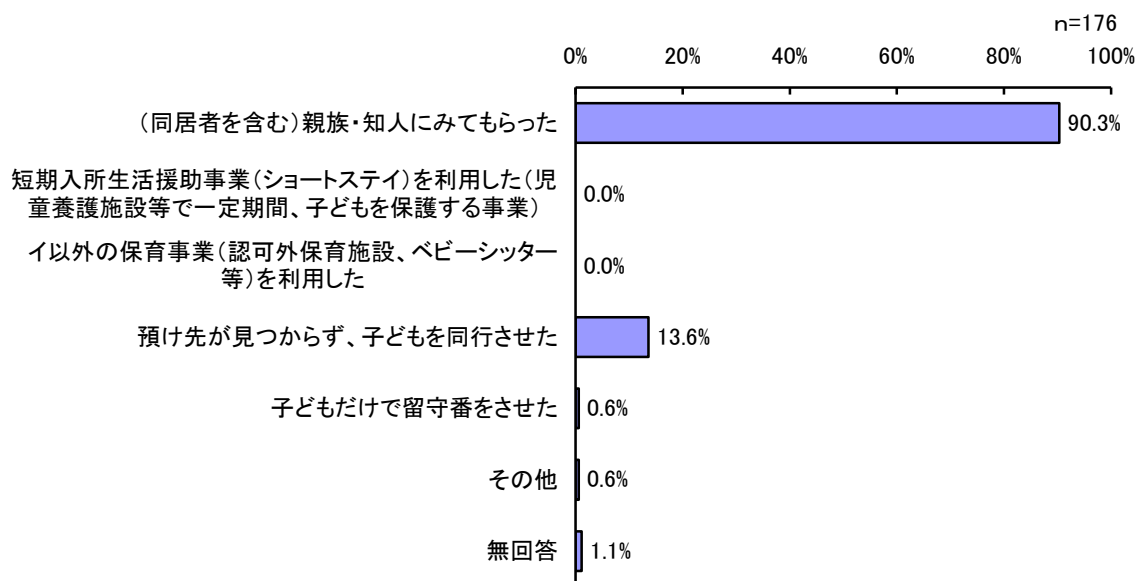
⑤ 宿泊が必要なサービスの利用意向

問 22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



保護者の用事で子を泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことについて、「あった」と回答した人は全体の21.5%です。

■見てもらった内容



保護者の用事で子を泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことが「あった」と回答した人に、その内容をたずねたところ「親族・知人にみてもらった」との回答が90.3%と、全体の9割を占めています。次いで「預け先が見つからず、子どもを同行させた」が13.6%となっており、ほぼこの二つの選択肢に回答が集中しています。

■ 見てもらった内容の日数

(n=176) (単位：%)	親族・知人に 見てもらった	短期入所生活援助 事業を利用した	イ以外の保育事業を 利用した	預け先が見つからず、 子どもを同行させた	子どもだけで 留守番をさせた	その他
1泊	18.8	-	-	5.1	-	-
2泊	17.6	-	-	2.8	0.6	-
3泊	12.5	-	-	4.5	-	0.6
4泊	4.0	-	-	0.6	-	-
5泊	11.4	-	-	-	-	-
6泊	2.3	-	-	-	-	-
7泊	7.4	-	-	-	-	-
8泊	0.6	-	-	-	-	-
9泊	0.6	-	-	-	-	-
10泊	6.3	-	-	0.6	-	-
11～14泊	2.3	-	-	-	-	-
15～21泊	1.1	-	-	-	-	-
22～30泊	4.0	-	-	-	-	-
31泊以上	1.1	-	-	-	-	-

※回答者数が0人のところは「-」となっています。

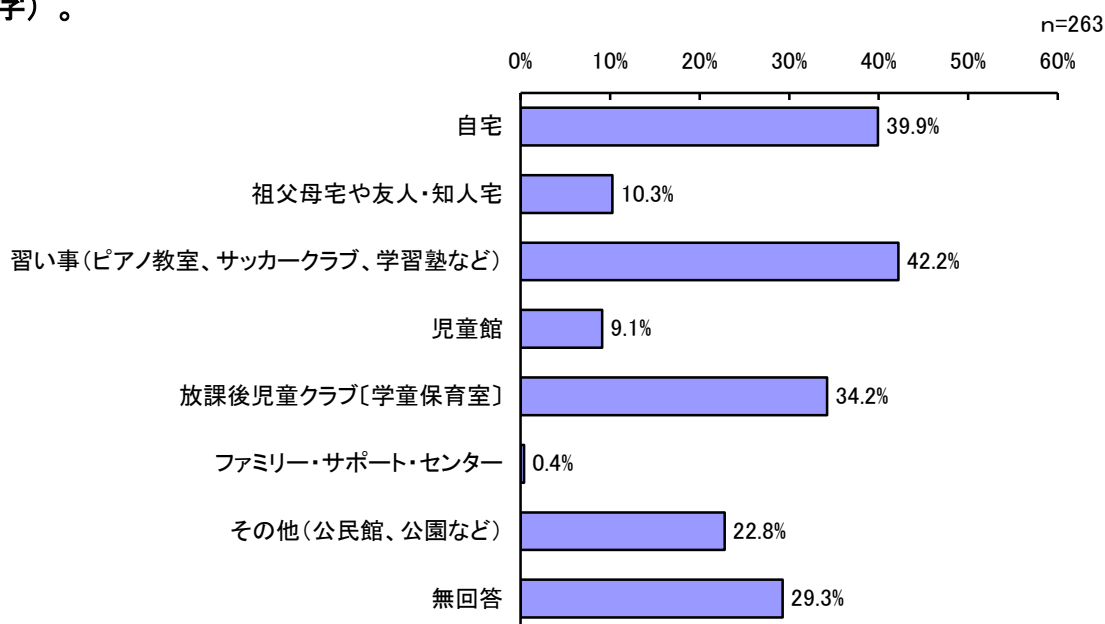
見てもらった内容の日数を回答してもらったところ、「親族・知人に見てもらった」との回答は1泊、2泊、3泊、5泊が1割を超えるなど、高い回答となっています。

6. 小学校進学後の放課後の過ごし方

①平日放課後の過ごし方の希望

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 23 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。



5歳以上の宛名のお子さんが小学校に進学した後、低学年の間、放課後をどのように過ごさせたいかについてたずねたところ、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」との回答が42.2%でもっとも高く、次いで「自宅」（39.9%）、「放課後児童クラブ」（34.2%）となっています。

◇地域別に見た低学年の放課後の過ごし方

		自宅	友人・知人宅 祖父母宅や	習い事	児童館	放課後児童クラブ	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
(単位：%)									
合計 (n=263)		39.9	10.3	42.2	9.1	34.2	0.4	22.8	29.3
地域別	東中学校地区 (n= 41)	39.0	12.2	39.0	7.3	22.0	2.4	17.1	39.0
	南中学校地区 (n=131)	43.5	9.9	45.8	13.7	35.1	0.0	26.7	26.0
	中央中学校地区 (n= 74)	36.5	8.1	40.5	2.7	43.2	0.0	18.9	27.0

低学年の間、放課後をどのように過ごさせたいかについて地域別に見たところ、「放課後児童クラブ」については、中央中学校地区が43.2%と高くなっています。南中学校地区では「習い事」が45.8%、「児童館」が13.7%で他地区より高くなっています。

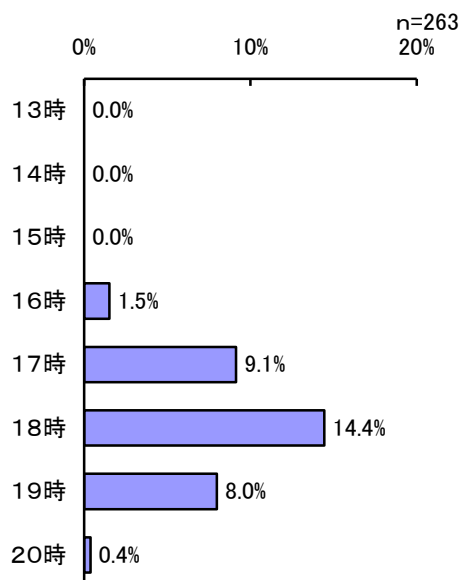
■ 放課後の過ごし方の日数

(n=263) (単位：%)	自宅	祖父 母宅や 友人・ 知人宅	習い 事	児童 館	放課後児童クラブ 〔学童 保育室〕	ファミ リー・ サポー ト・セ ンター	その他
1日	7.6	6.1	20.9	5.3	0.8	0.4	7.6
2日	9.5	1.9	15.2	2.3	2.7	-	7.2
3日	9.5	1.1	4.6	0.4	5.3	-	4.2
4日	4.2	0.4	0.8	0.4	4.6	-	2.3
5日	8.4	0.4	0.4	0.8	20.9	-	1.5

※回答者数が0人のところは「-」となっています。

5歳以上の宛名のお子さんが小学校に進学した際の低学年の間の放課後の過ごし方の日数を回答してもらったところ、「習い事」との回答は1日（20.9%）、2日（15.2%）が高く、一方で「放課後児童クラブ」は5日（20.9%）との回答が高くなっています。

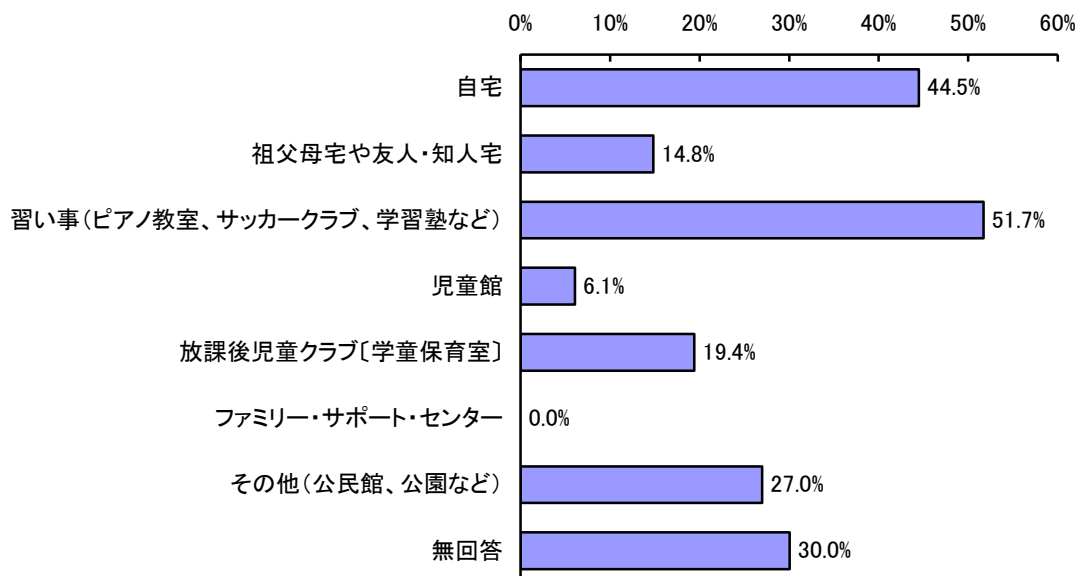
■ 放課後児童クラブの終了時刻



「放課後児童クラブ」と回答された方に終了時刻について尋ねたところは18時（14.4%）との回答が高くなっています。

問 24 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

n=263



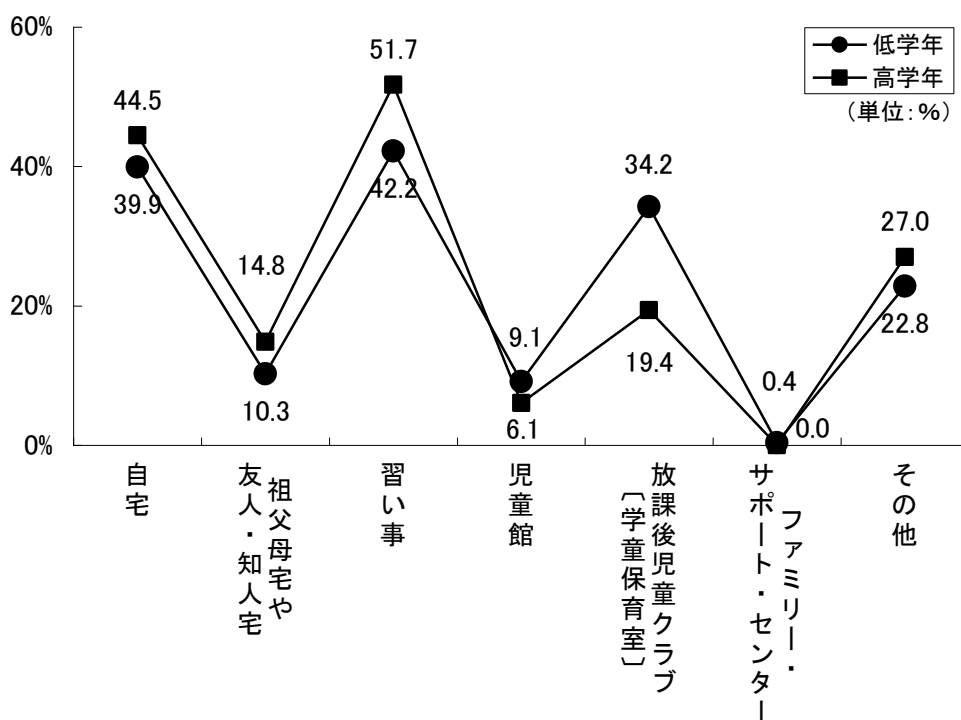
5歳以上の宛名のお子さんが小学校に進学した後、高学年の間、放課後をどのように過ごさせたいかについてたずねたところ、「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」との回答が51.7%でもっとも高く、次いで「自宅」(44.5%)、「その他 (公民館、公園など)」(27.0%)となっています。

◇地域別に見た高学年の放課後の過ごし方

		自宅	友人・知人宅 祖父母宅や	習い事	児童館	放課後児童クラブ	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
(単位：%)									
合計 (n=263)		44.5	14.8	51.7	6.1	19.4	0.0	27.0	30.0
地域別	東中学校地区 (n= 41)	41.5	19.5	48.8	7.3	4.9	0.0	29.3	41.5
	南中学校地区 (n=131)	45.8	12.2	55.0	7.6	22.9	0.0	29.0	27.5
	中央中学校地区 (n= 74)	45.9	16.2	52.7	4.1	21.6	0.0	23.0	25.7

高学年の間、放課後をどのように過ごさせたいかについて地域別に見たところ、「放課後児童クラブ」については、東中学校地区が4.9%と低くなっています。

■ 放課後の過ごし方の学年による変移



問23の低学年時の放課後の過ごし方と問24の高学年での放課後の過ごし方を比較したところ、一番格差が見られたのは「放課後児童クラブ」で高学年では低学年に対し、14.8ポイント減少しています。一方で、「自宅」、「祖父母宅等」、「習い事」、「その他」で高学年の方が上回っており、子どもの成長に伴い、安心して預けられる選択肢が増えるのではないかと推察されます。

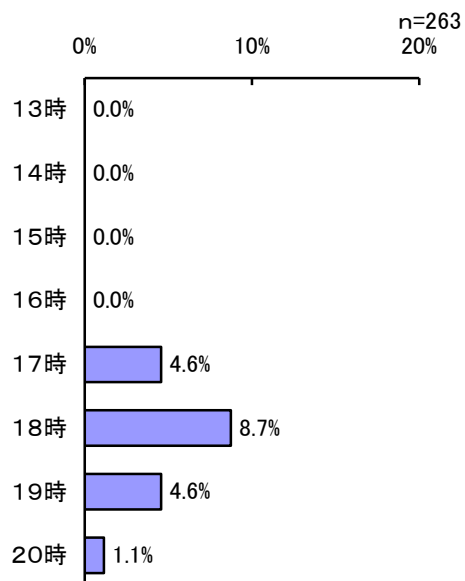
■ 放課後の過ごし方の日数

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	児童館	放課後児童クラブ〔学童保育室〕	サポート・センター・ファミリー	その他
(n=263) (単位: %)							
1日	9.5	8.4	15.2	2.3	0.8	-	8.4
2日	10.6	4.2	25.5	1.9	2.3	-	6.8
3日	8.0	0.8	7.6	1.5	4.2	-	7.6
4日	5.7	0.4	1.5	-	1.1	-	2.7
5日	9.5	0.4	1.1	0.4	11.0	-	0.8

※回答者数が0人のところは「-」となっています。

5歳以上の宛名のお子さんが小学校に進学した際の高学年の間の放課後の過ごし方の日数を回答してもらったところ、「習い事」との回答は1日(15.2%)、2日(25.5%)が高く、一方で「放課後児童クラブ」は5日(11.0%)との回答が高くなっており、この主な傾向は低学年と同じです。

■ 放課後児童クラブの終了時刻

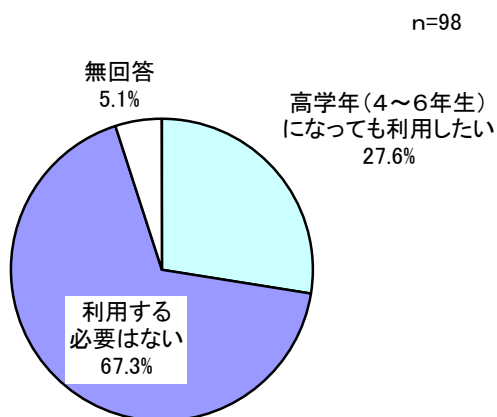


「放課後児童クラブ」と回答された方に終了時刻について尋ねたところ 18 時 (8.7%) との回答が高く、これも低学年と同じ傾向となっています。

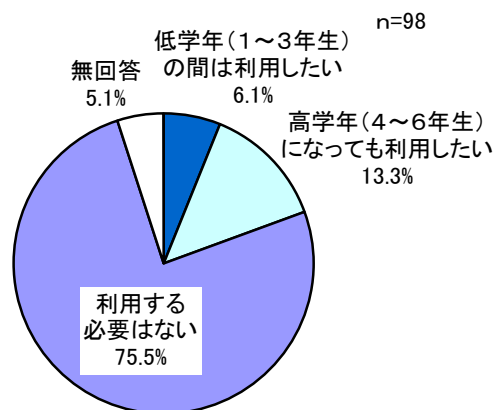
② 平日以外の「放課後児童クラブ」の利用意向

問 25 問 23 または問 24 で「5. 放課後児童クラブ（学童保育室）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ（学童保育室）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

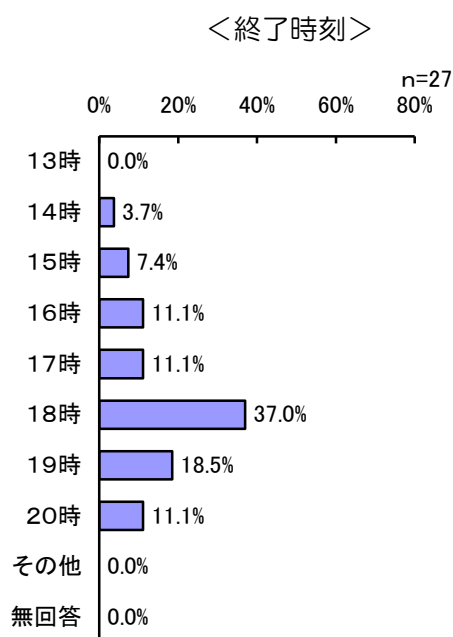
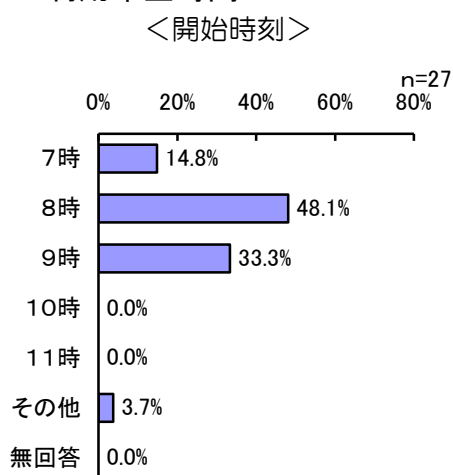


（2）日曜・祝日



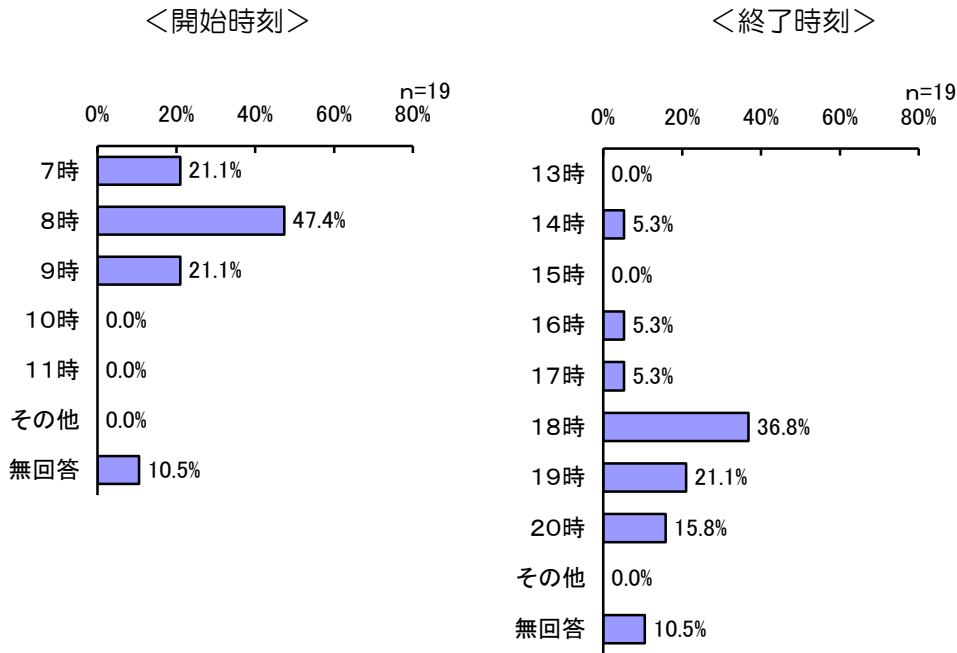
子どもが5歳以上で、小学校の低学年または高学年になった際「放課後児童クラブ」の利用を希望されている方に、土曜日、または日曜日・祝日に放課後児童クラブの利用希望があるかたずねたところ、土曜日について「高学年になっても利用したい」と回答した人は全体の27.6%です。また、日曜日・祝日について「低学年の間は利用したい」（6.1%）と「高学年になっても利用したい」（13.3%）を合わせた『利用意向がある』人は19.4%と、全体の2割弱となっています。

■土曜日の利用希望時間



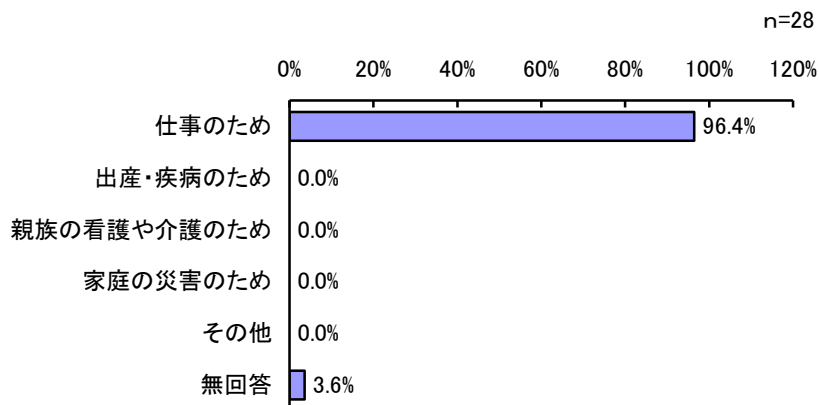
土曜日で「高学年になっても利用したい」と回答した人の利用希望時間については、回答者数は少ないものの、開始時間は「8時」が48.1%でもっとも高く、終了時刻は「18時」が37.0%でもっとも高くなっています。

■日曜日・祝日の利用希望時間



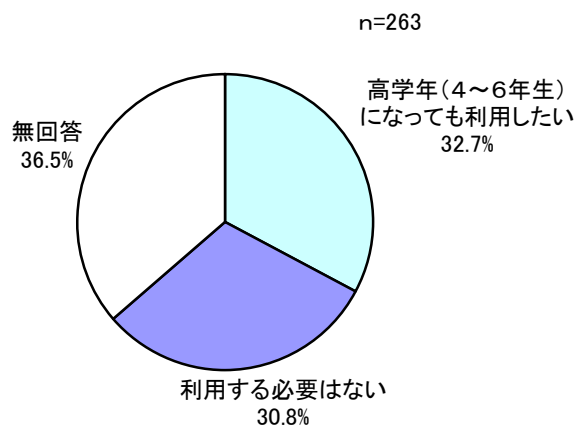
日曜日・祝日で「利用意向がある」と回答した人の利用希望時間については、回答者数は少ないものの、開始時間は「8時」が47.4%でもっとも高く、終了時刻は「18時」が36.8%でもっとも高くなっています。

問 25-1 問 25 (1) (2) で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。利用したい理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



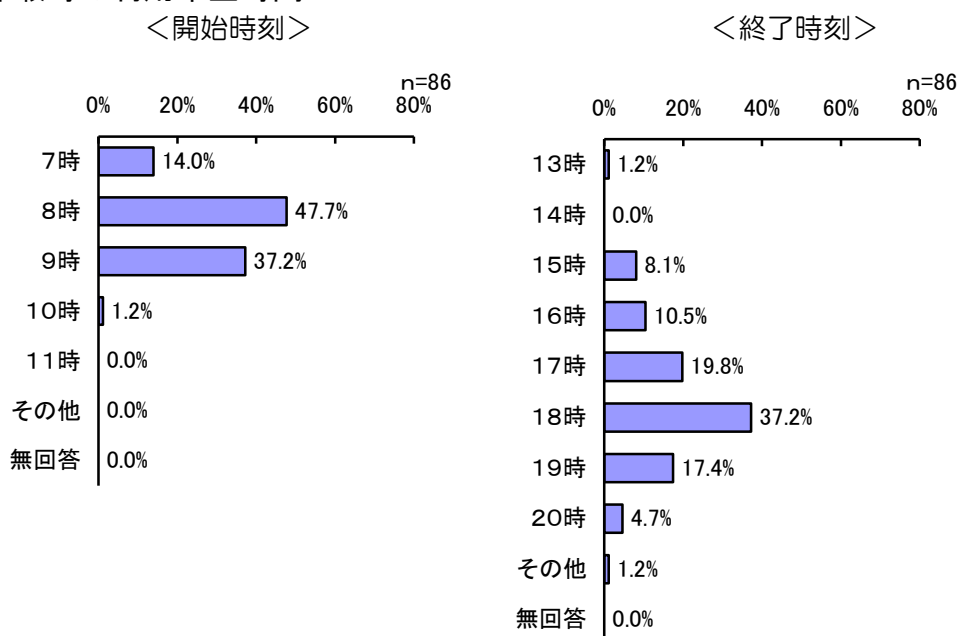
土曜日または日曜日・祝日に「利用意向がある」と回答した人に、利用したい理由についてたずねたところ、回答者数は少ないものの、「仕事のため」との回答が96.4%となっています。

問 26 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育室）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。



子どもが5歳以上の方に、長期休暇中の放課後児童クラブの利用意向についてたずねたところ、「高学年になっても利用したい」との回答は32.7%となっています。

■長期休暇時の利用希望時間

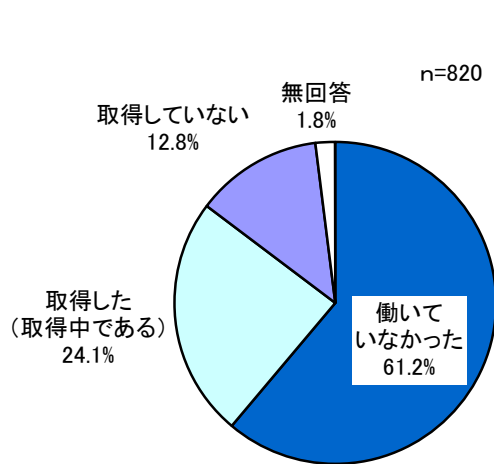


長期休暇時の放課後児童クラブについて「高学年になっても利用したい」と回答した人の利用希望時間については、開始時間は「8時」が47.7%でもっとも高く、終了時刻は「18時」が37.2%でもっとも高くなっています。

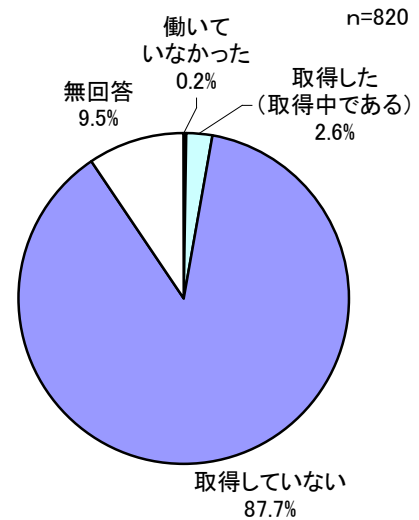
7. 育児休業

問 27 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。なお、「取得していない」に○をつけた場合は、取得していない理由として当てはまる番号を口内に数字をご記入ください。

<母親>

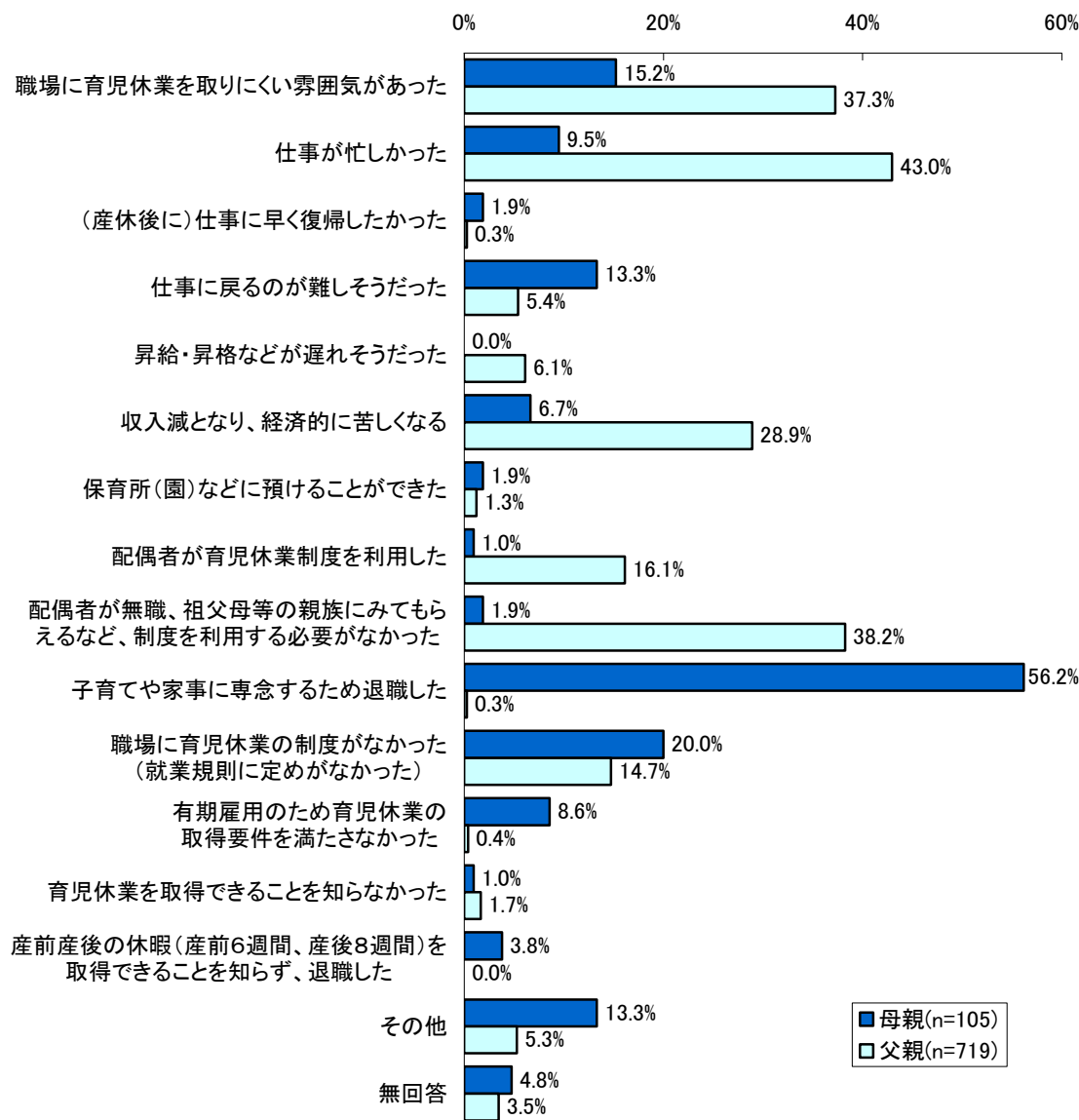


<父親>



子が生まれたときの育児休業について、母親で「取得した」人は全体の24.1%、父親で「取得した」人は全体の2.6%となっています。

■取得していない理由



育児休業について「取得していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、母親では「子育てや家事に専念するために退職した」との回答が56.2%と半数を超えてもっとも高く、次いで、「職場に育児休業の制度がなかった」(20.0%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(15.2%)などとなっています。

父親では「仕事が忙しかった」(43.0%)がもっとも高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(38.2%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(37.3%)などとなっています。

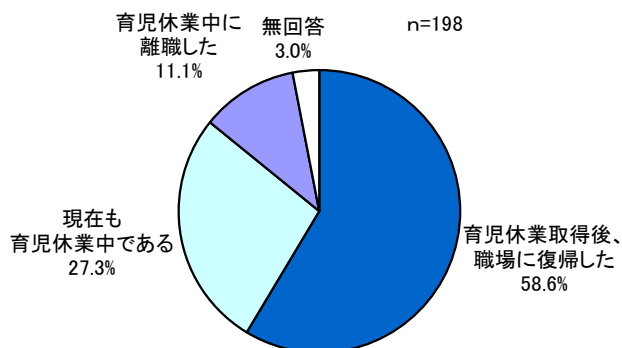
この設問を母親と父親で比較してみると、母親の方が高い項目については「子育てや家事に専念するために退職した」が55.9ポイントと大きく差がついているのをはじめ、「仕事に戻るのが難しそうだった」が7.9ポイント「職場に育児休業の制度がなかった」が5.3ポイントと、3項目で高くなっています。

父親の方が高い項目については、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が36.3ポイントと大きく差がついているのをはじめ、「仕事が忙しかった」が33.5ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が22.1ポイントなど、6項目で高くなっており、母親と父親で理由に大きな違いがあることが分かります。

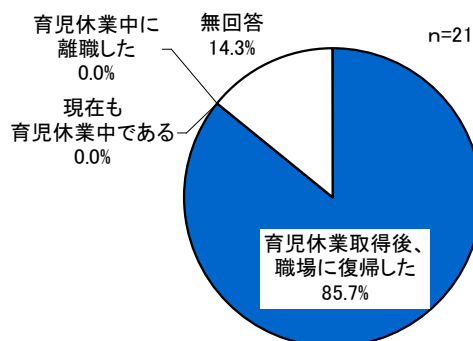
問27で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問27-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親



(2) 父親

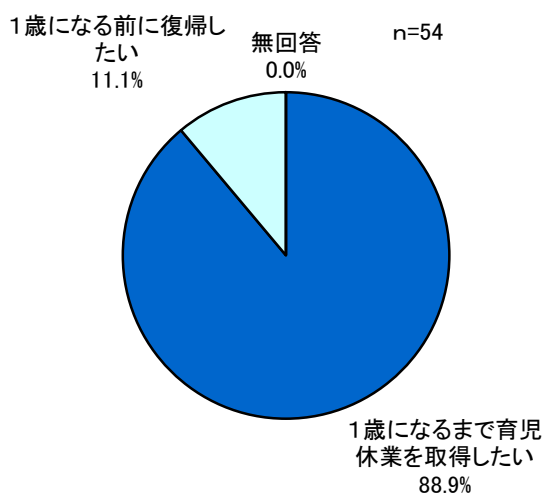


育児休業を「取得した」と回答した人に職場復帰についてたずねたところ、母親・父親ともに「育児休業後職場に復帰した」との回答がもっとも高くなっています。父親は回答者数が少なくなっていますが、「現在も育児休業中である」や、「育児休業中に離職した」との回答は見られませんでした。（※従って、次の問27-2（2）については、父親は回答者無しのため省略）

問27-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問27-2 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

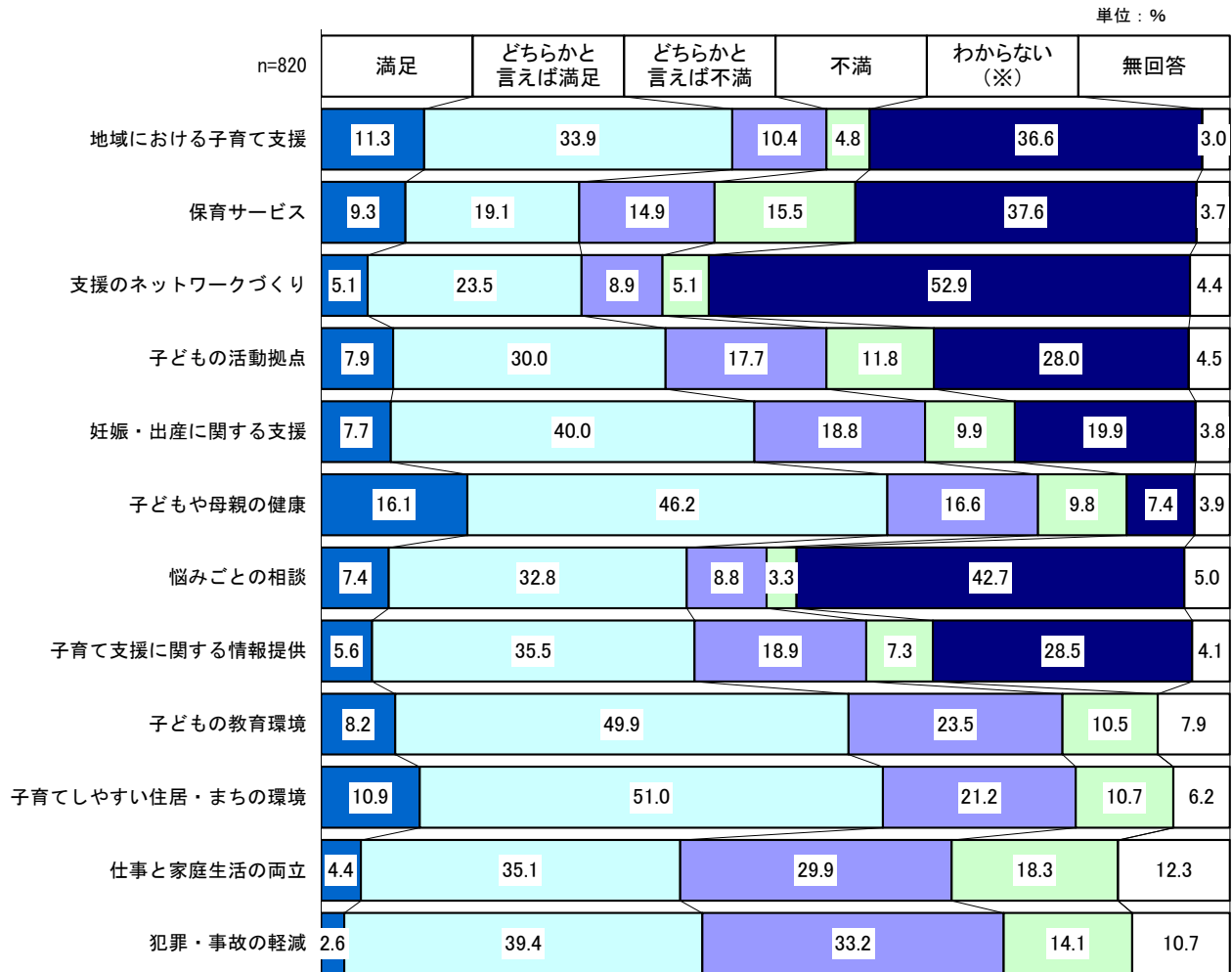


育児休業を「取得」し、かつ、「現在も休業中である」と回答した母親に利用できる事業があることを前提としての1歳前後での職場復帰についてたずねたところ、「1歳になるまで育児休業を取得したい」との回答が、88.9%となっています。

8. 子育て施策

①子育ての各分野への満足度

問 28 次の各項目における子育ての環境や支援に対してどのように感じているかがあります。該当するものを1つ選んで○をつけてください。



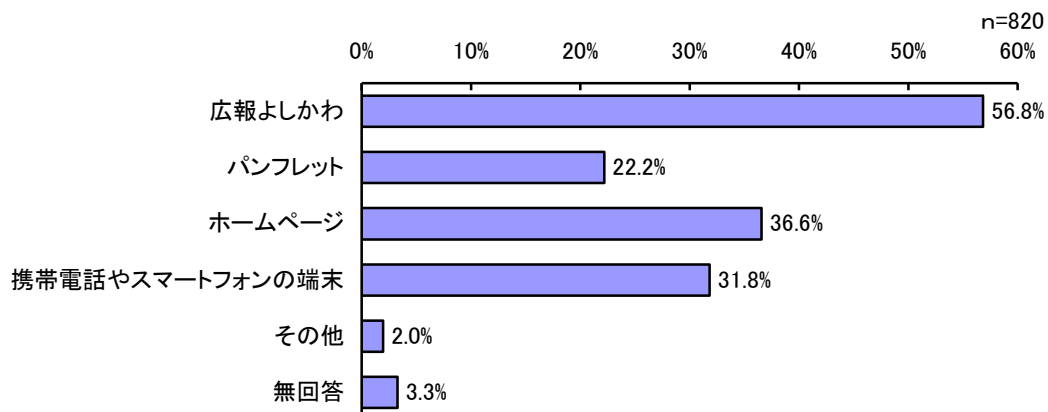
※「子どもの教育環境」、「子育てしやすい住居・まちの環境」「仕事と家庭生活の両立」、「犯罪・事故の軽減」の4項目については「分からない」の選択肢はありませんでした。

子育ての各分野に対しての満足度については、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた、「満足している」層については、「子どもや母親の健康」が62.3%でもっとも高くなっています。しかし、「満足している」層が半数を超えているのは、「子育てしやすい住居・まちの環境」(61.9%)、「子どもの教育環境」(58.1%)の3分野にとどまっています。

一方、「どちらかと言えば不満」と「不満」を合わせた「不満を感じている」層は、「犯罪・事故の軽減」が47.3%、「仕事と家庭の両立」が47.2%でこの2分野が5割に迫って高くなっています。「保育サービス」については、「不満」との回答が15.5%と、12分野で3番目の高さとなっています。

②情報提供のあり方

問29 市が行っている子育て支援の情報提供のあり方として何の充実を望みますか。



情報提供のあり方としては「広報よしかわ」との回答が56.8%と半数を超えてもっとも高くなっています。次いで「ホームページ」(36.6%)、「携帯電話やスマートフォンの端末」(31.8%)となっており、インターネットを利用した情報提供の充実も望まれていることが分かります。

第3章 調査結果（小学生児童）

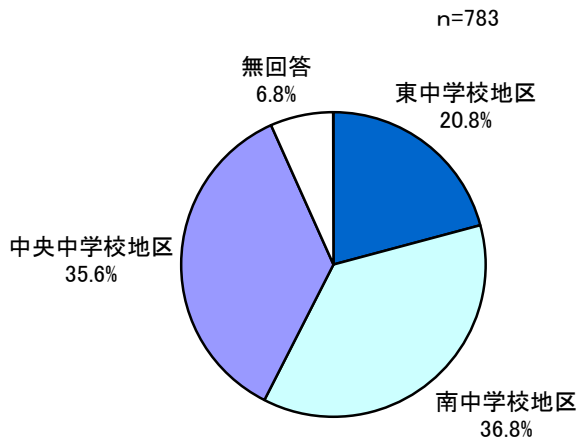
第3章 調査結果（小学生児童）

1. 地域と家庭の状況

回答者の地域や家庭の状況は次のとおりです。

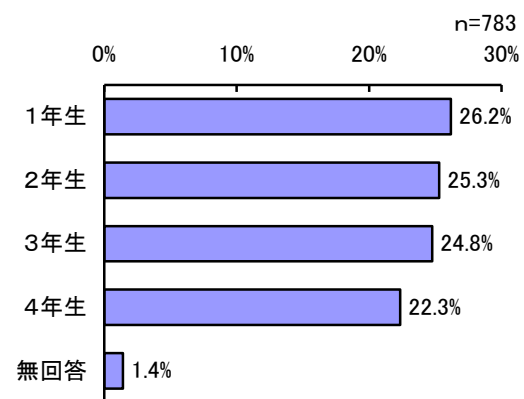
【地区】

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。



【年齢】

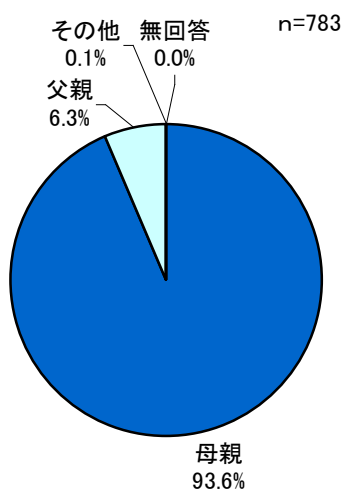
問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。



※本調査では記入された生年月月について、各年度（該当年4月～翌年3月）をひとつの学年としています。（例：平成18年4月～平成19年3月は1年生）

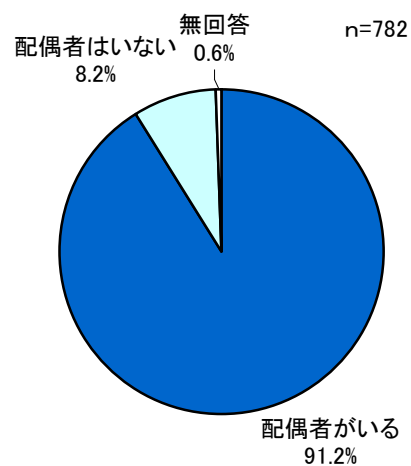
【記入者】

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



【配偶関係】

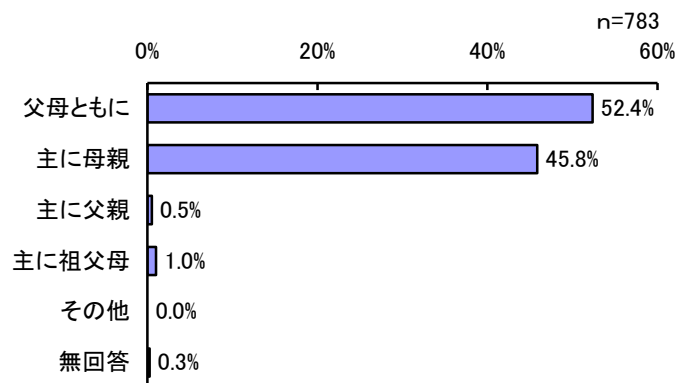
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。（問3で「3. その他」と回答した方は回答不要です）



2. 子どもの育ちをめぐる環境

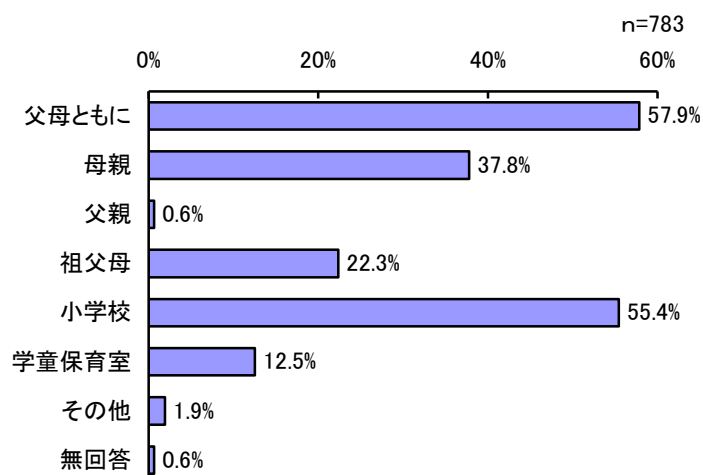
① 子育て

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。



子育てを主に行っているのは「父母ともに」が52.4%でもっとも高いものの、次いで「主に母親」が45.8%となっており、「主に母親」または「父母ともに」で、母親が関与しているケースがほぼ全数に近い回答となっているのに対し、「主に父親」または「父母ともに」で、父親が関与しているケースは5割程度にとどまっています。

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。



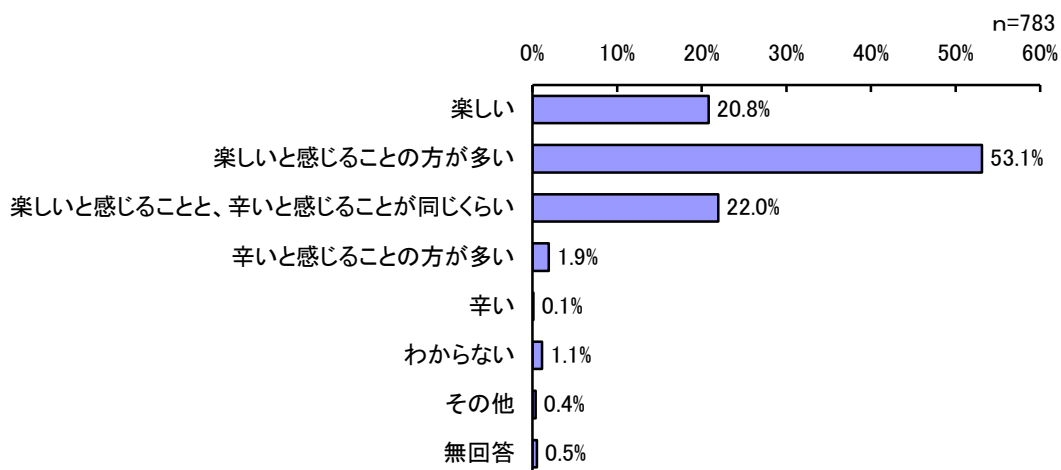
子育てに日常的に関わってる人については、「父母ともに」が57.9%でもっとも高く、次いで「小学校」(55.4%)、「母親」(37.8%)となっています。

◇地域別・年齢別に見た子育てに関わっている人

(単位: %)		父母ともに	母親	父親	祖父母	小学校	学童保育室	その他	無回答
合計	(n=783)	57.9	37.8	0.6	22.3	55.4	12.5	1.9	0.6
地域別	東中学校地区 (n=163)	62.6	35.6	1.2	28.8	52.8	13.5	4.3	0.0
	南中学校地区 (n=288)	53.5	41.7	0.0	19.4	56.9	12.2	1.0	1.0
	中央中学校地区 (n=279)	60.9	34.1	0.7	22.2	58.1	12.2	1.8	0.7

地区で見た子育てに関わっている人の傾向としては、南中学校地区では「母親」(41.7%)との回答が他2地区より高く、「父母ともに」(53.5%)が他2地区より低くなっています。東中学校地区では「祖父母」(28.8%)が高くなっています。

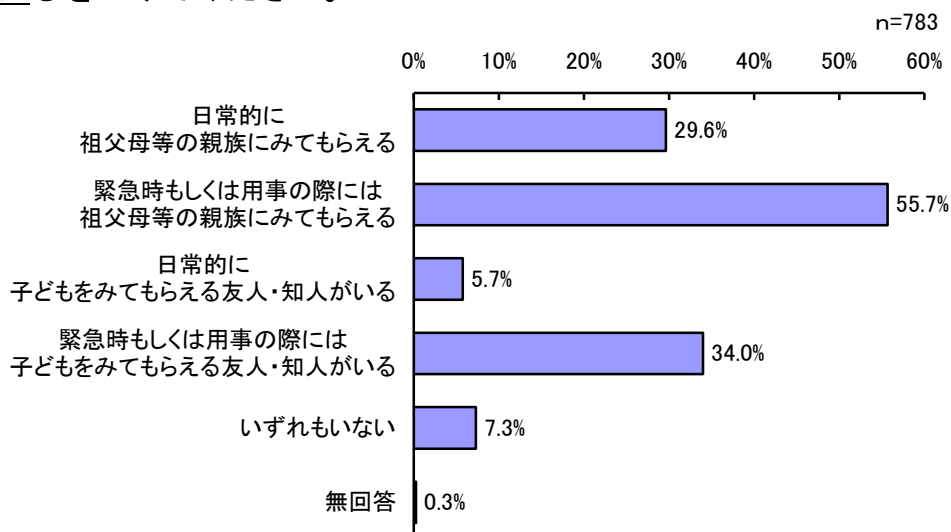
問7 宛名のお子さんの子育てに関して、もっとも近いと感じている番号1つに○をつけてください。



子育てをどう感じるかについては、「楽しいと感じるほうが多い」との回答が53.1%と半数を超えてもっとも高くなっています。また、「楽しい」(20.8%)、「楽しいと感じることの方が多い」を合わせた『楽しいと感じている』層は、73.9%で7割を超えています。

② 子の見守り

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



日頃子どもを見てもらえるか、については「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.7%でもっとも高くなっています。一方、「いずれもない」との回答は7.3%となっています。

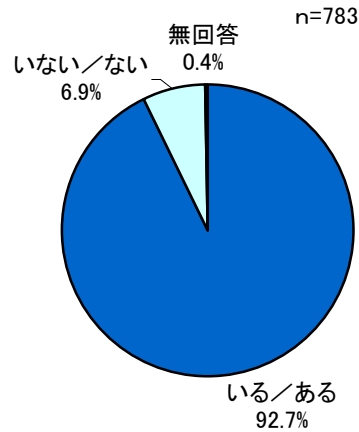
◇地域別に見た日頃子どもを見てもらえるか

(単位：%)		日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
合計	(n=783)	29.6	55.7	5.7	34.0	7.3	0.3
地域別	東中学校地区 (n=163)	34.4	51.5	6.7	32.5	8.0	0.6
	南中学校地区 (n=288)	26.7	59.7	5.2	32.3	7.6	0.3
	中央中学校地区 (n=279)	30.5	53.4	6.5	39.4	6.5	0.0

地区で見た子育てに関わっている人の傾向としては、東中学校地区では「日常的に親族にみてもらえる」が34.4%と高くなっています。また、南中学校地区では「日常的に親族にみてもらえる」は26.7%で3地区でもっとも低いものの、「緊急時にみてもらえる親族等がいる」は59.7%で3地区でもっとも高くなっています。

③ 子育ての相談先

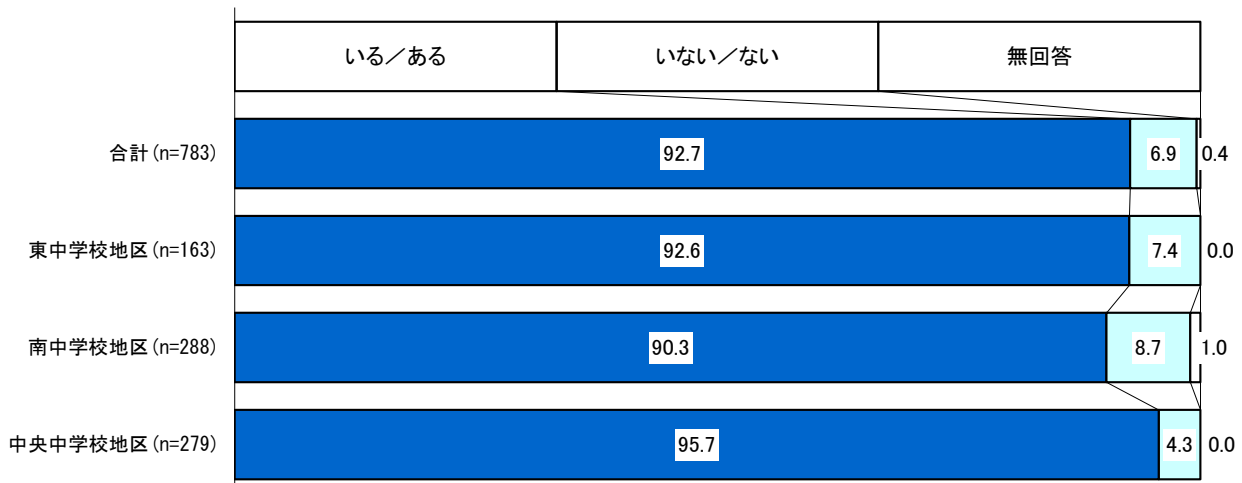
問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



気軽に相談できる人、については「いる/ある」が92.7%となっています。

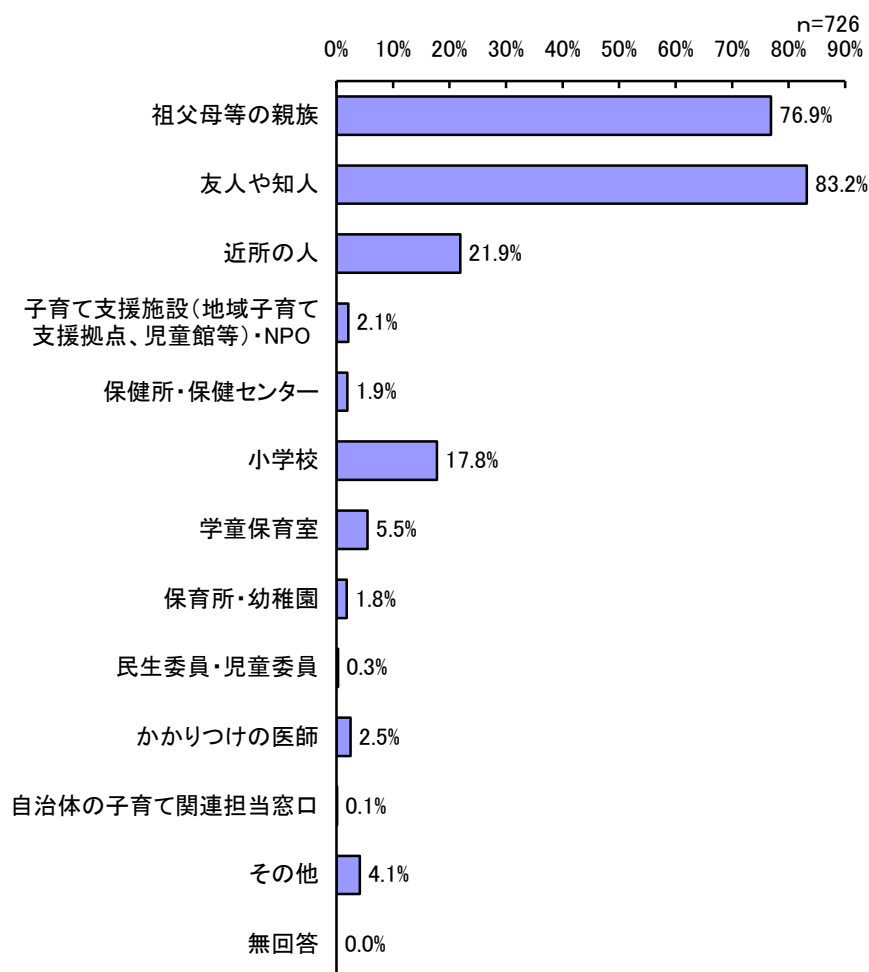
◇地域別に見た気軽に相談できる人の有無

単位：%



地区別で見ると「いる/ある」との回答はすべての地区で9割を超えています。

問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



気軽に相談できる人・場所が「いる／ある」と回答した人に、その相談先についてたずねたところ、「友人や知人」が83.2%でもっとも高く、次いで「祖父母等の親族」が76.9%と、この2項目が7割を超えて特に高くなっています。次いで、「近所の人」(21.9%)などとなっています。

◇地域別に見た相談先

		祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO	保健所・保健センター	小学校	学童保育室	保育所・幼稚園	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当窓口	その他
(単位：%)													
合計 (n=726)		76.9	83.2	21.9	2.1	1.9	17.8	5.5	1.8	0.3	2.5	0.1	4.1
地域別	東中学校地区 (n=151)	74.8	85.4	21.9	2.6	3.3	17.9	4.6	0.7	0.0	1.3	0.0	5.3
	南中学校地区 (n=260)	82.3	81.5	18.8	1.9	0.8	18.1	6.9	1.9	0.0	3.5	0.0	3.5
	中央中学校地区 (n=267)	74.2	84.3	25.1	2.2	2.6	17.6	4.9	2.2	0.7	2.6	0.4	3.7

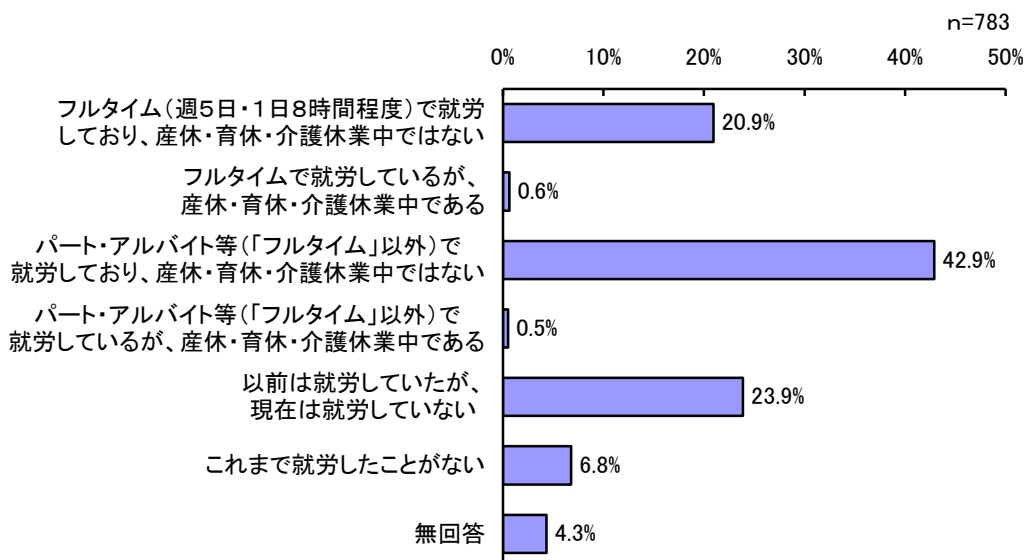
地区で見た相談先としては、南中学校地区では「祖父母等の親族」が82.3%と高くなっています。

3. 就労状況

① 就労状況

問 10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



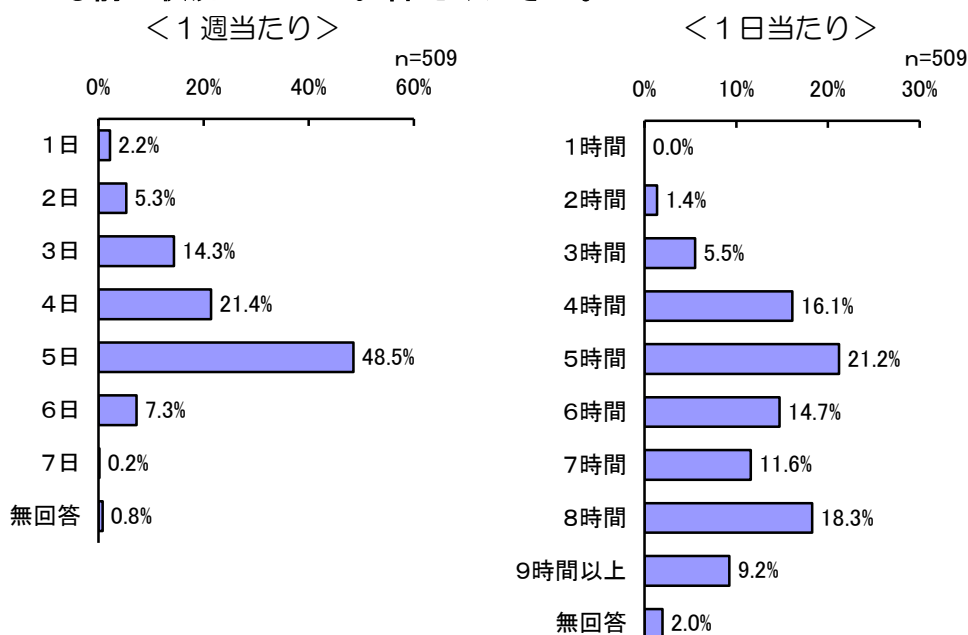
母親の就労状況としては、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が42.9%でもっとも高くなっています。

◇地域別に見た母親の就労

(単位：%)		フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
合計	(n=783)	20.9	0.6	42.9	0.5	23.9	6.8	4.3
地域別	東中学校地区 (n=163)	22.1	0.6	42.3	0.6	22.7	8.6	3.1
	南中学校地区 (n=288)	18.8	0.7	43.8	0.3	27.1	4.5	4.9
	中央中学校地区 (n=279)	19.0	0.7	44.1	0.7	22.6	8.2	4.7

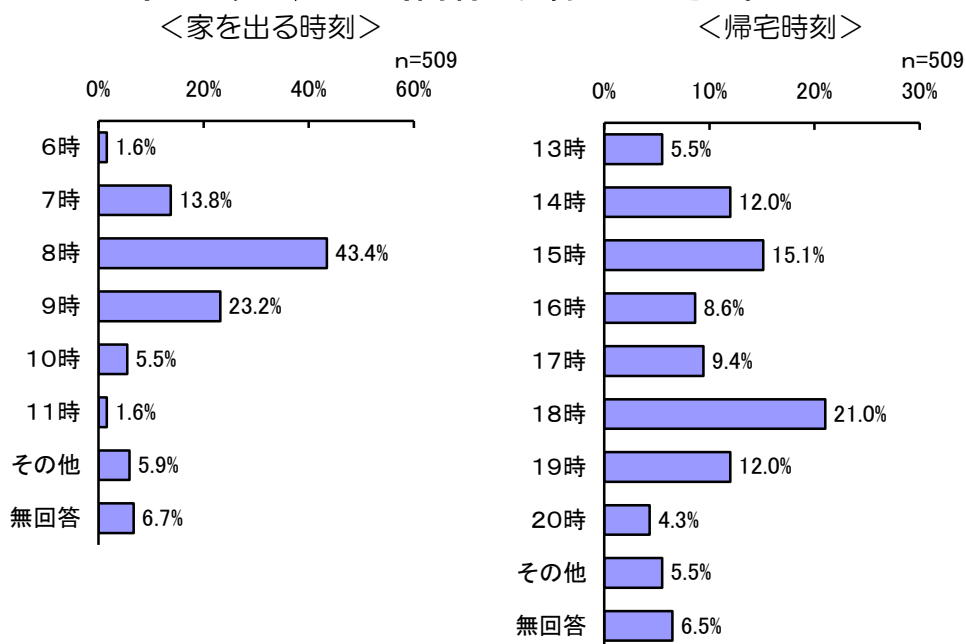
地区で見た母親の就労状況としては、目立った傾向は見られません。

(1) -1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



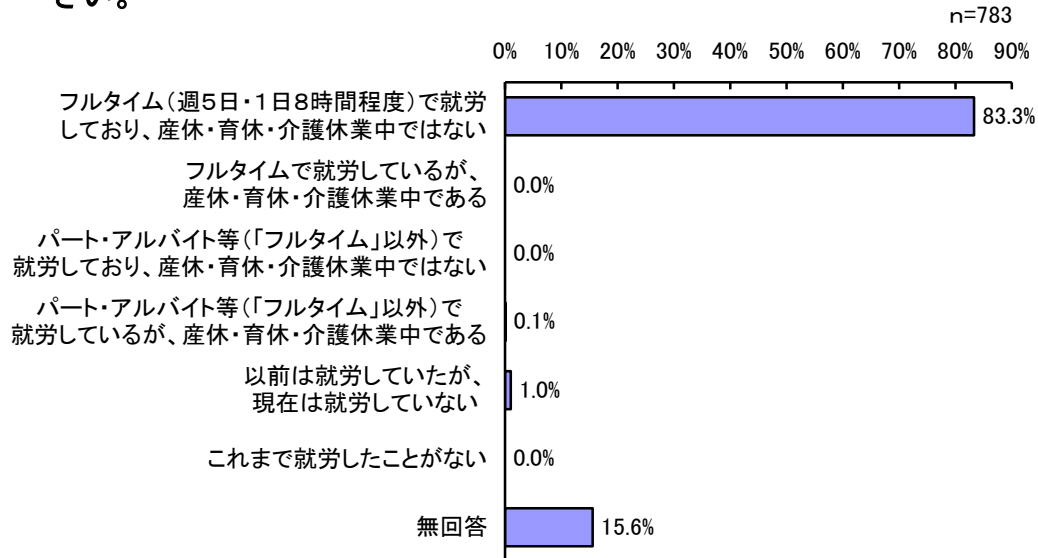
就労している母親の様子については、1週あたりでは「5日」との回答が48.5%でもっとも高く、1日あたりでは「5時間」が21.2%でもっとも高くなっています。

(1) -2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。



就労している母親の家を出る時刻については、「8時」が43.4%、帰宅時刻は「18時」が21.0%でもっとも高くなっています。

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1つに○をつけてください。



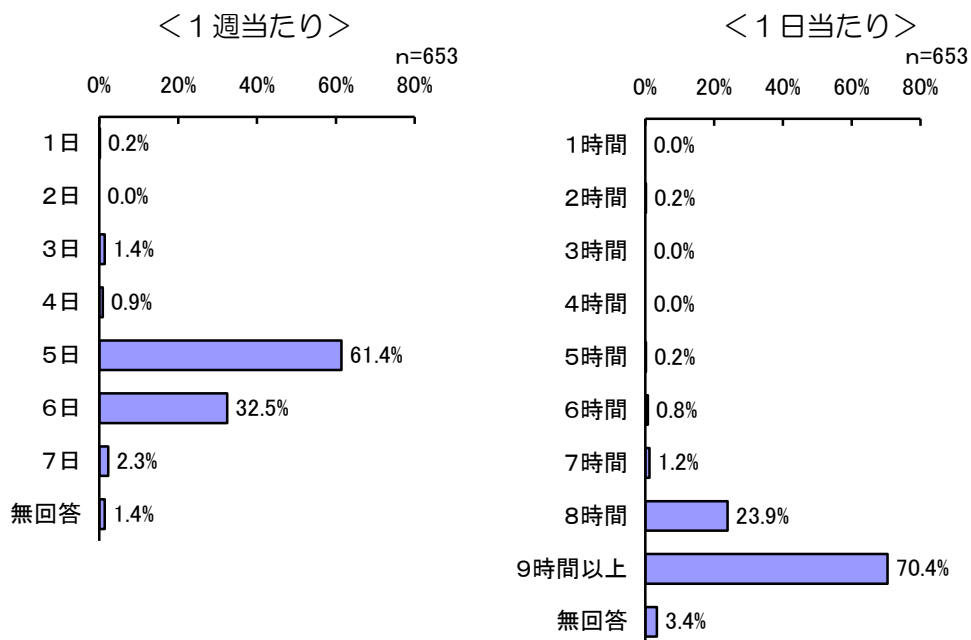
父親の就労状況としては、「フルタイムで就労しており、産休等ではない」が83.3%です。

◇地域別に見た父親の就労

(単位：%)		フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
合計	(n=783)	83.3	0.0	0.0	0.1	1.0	0.0	15.6
地域別	東中学校地区 (n=163)	85.9	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	12.9
	南中学校地区 (n=288)	81.6	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	17.4
	中央中学校地区 (n=279)	83.2	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	15.4

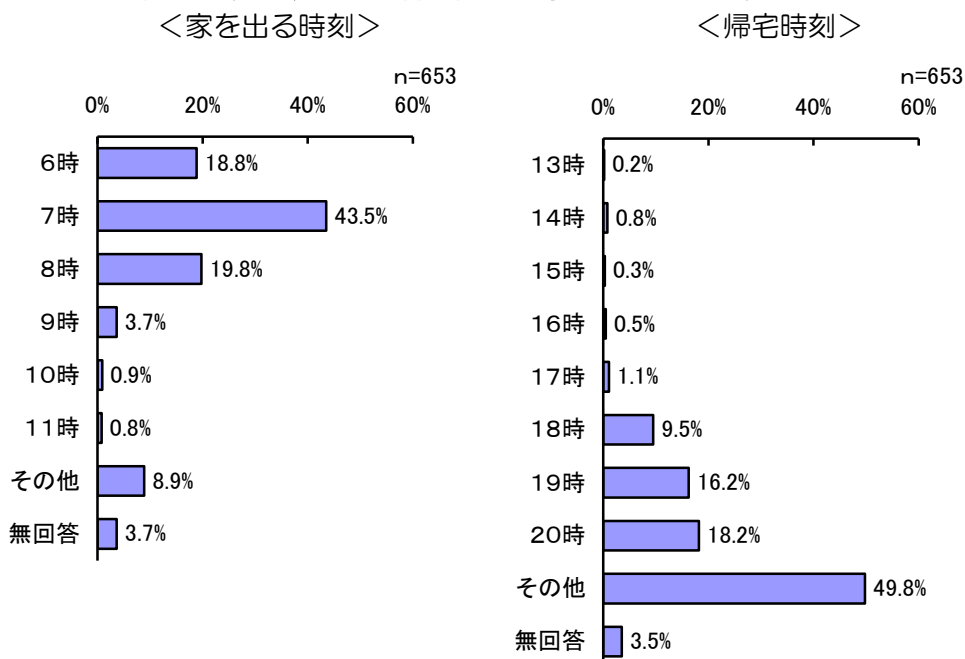
地区で見た父親の就労状況としては、目立った傾向は見られません。

(2) -1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している父親の様子については、1週あたりでは「5日」との回答が61.4%でもっとも高く、1日あたりでは「9時間以上」が70.4%でもっとも高くなっています。

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

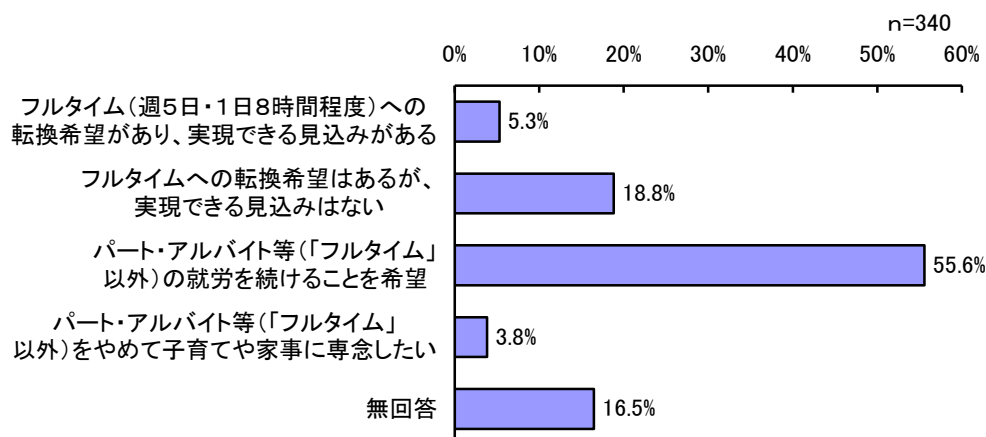


就労している父親の家を出る時刻については、「7時」が43.5%でもっとも高いものの、帰宅時刻は「その他」が49.8%でもっとも高くなっています。その他としては、21時から24時が多くなっています。

② 就労の転換意向

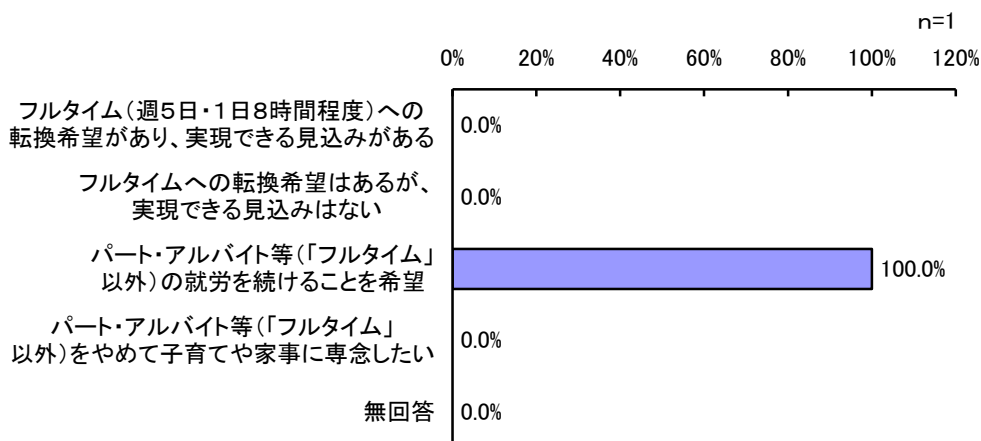
問11 問10の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親



パート、アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望としては、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」との回答が55.6%でもっとも高くなっています。

(2) 父親

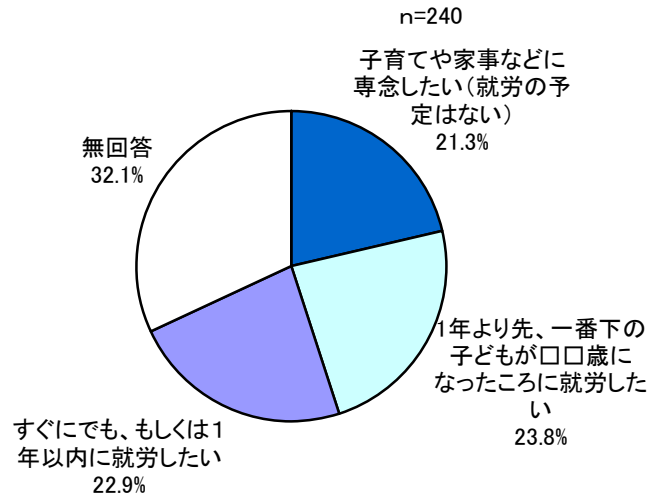


パート、アルバイト等で就労していると回答した父親は全体の1名で、そのフルタイムへの転換希望は、上記のような結果となっています。

問 12 問 10 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 13 へお進みください。

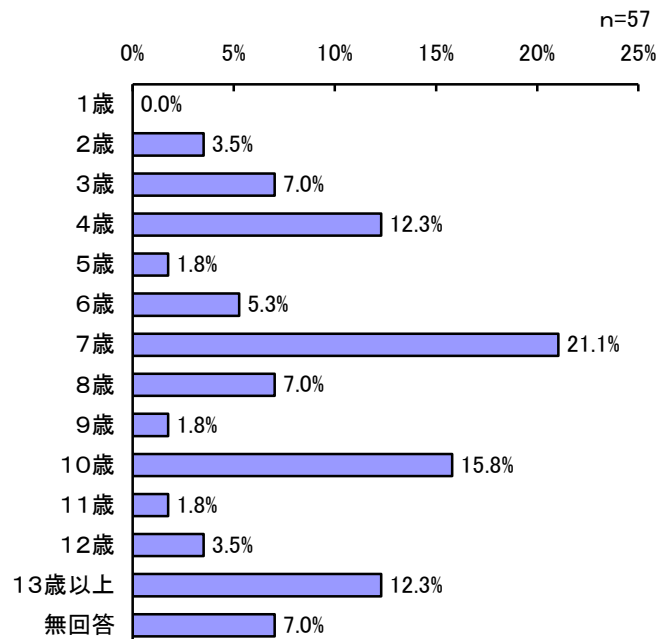
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親



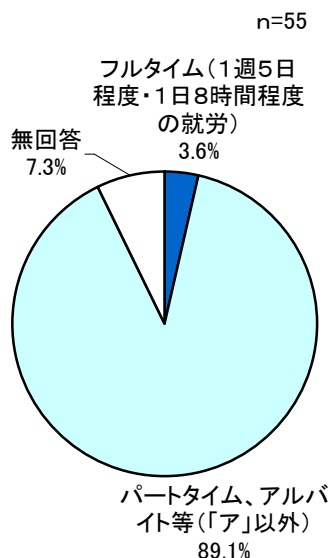
現在、休業等以外で就労していない母親の就労意向については、「1年より先、一番下子どもが□□歳になったころに就労したい」との回答が23.8%でもっとも高くなっているものの、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(22.9%)、「子育てや家事などに専念したい」(21.3%)も僅差となっています。

■ 『1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい』の年齢



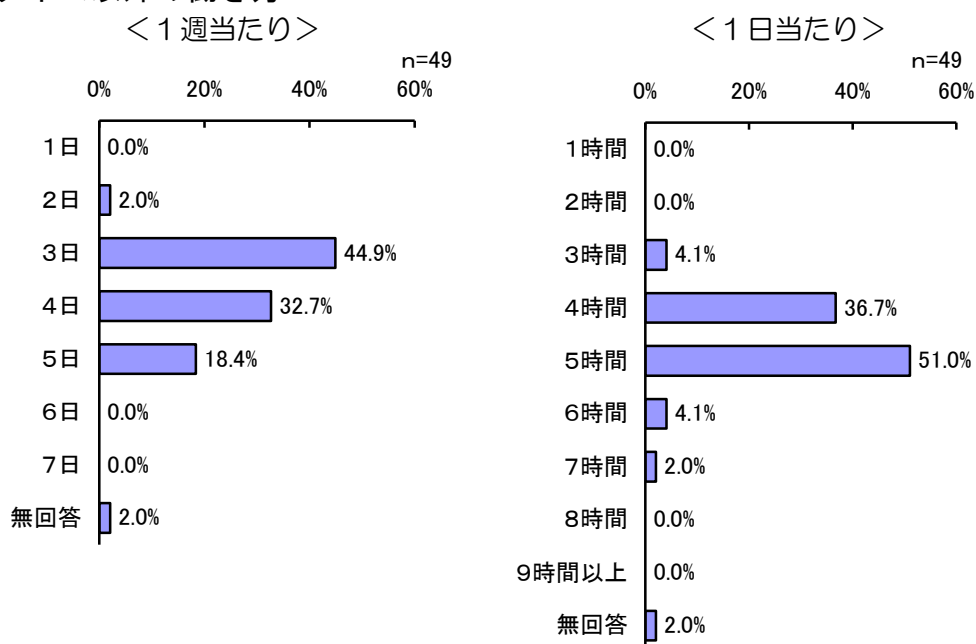
『1年より先、一番下子どもが□□歳になったころに就労したい』と回答した人にその年齢を記入してもらったところ、「7歳」の21.1%がもっとも高く、次いで、「10歳」の15.8%となっています。

■ 希望する就労形態



『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』と回答した人に就労形態をたずねたところ、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」が89.1%でもっとも高くなっています。

■ フルタイム以外の働き方



希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」を選んだ人に働き方をたずねたところ、1週当たりでは「3日」が44.9%、1日当たりでは「5時間」が51.0%でもっとも高くなっています。

(2) 父親

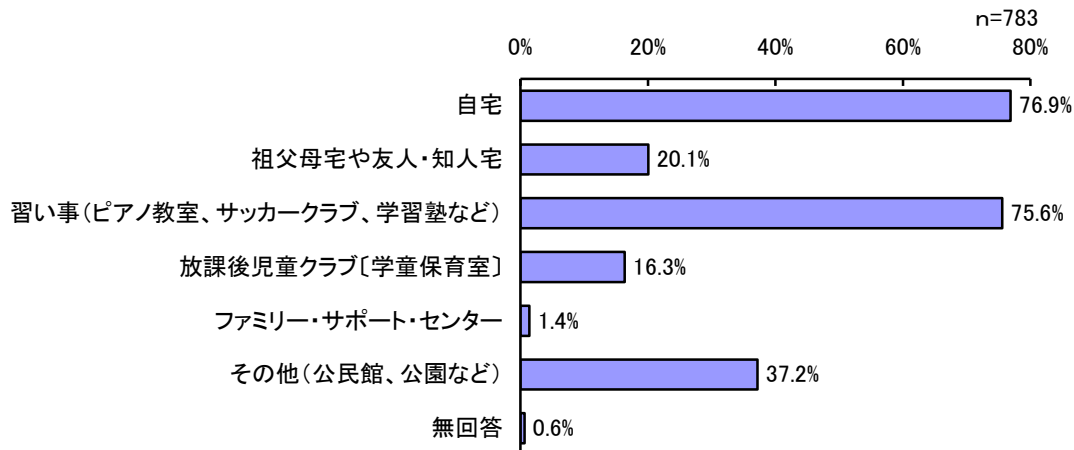
	割合 (%)
n=1	
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0.0
1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	100.0
無回答	0.0
全体	100.0

現在、休業等以外で就労していない父親の就労意向については、回答者数1名が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答しています。(※以下、回答者無しのため省略)

4. 放課後の過ごし方

① 放課後の過ごし方

問 13 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。



小学校高学年の間、放課後をどのように過ごさせたいかについてたずねたところ、「自宅」が76.9%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が75.6%でこの2項目が特に高くなっています。次いで「その他（公民館、公園など）」(37.2%)となっています。

◇地域別に見た高学年の放課後の過ごし方

		自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	放課後児童クラブ	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
(単位：%)								
合計 (n=783)		76.9	20.1	75.6	16.3	1.4	37.2	0.6
地域別	東中学校地区 (n=163)	79.8	24.5	74.2	14.7	1.2	26.4	0.0
	南中学校地区 (n=288)	72.9	19.1	78.1	18.1	2.4	42.0	0.3
	中央中学校地区 (n=279)	79.9	17.9	74.2	15.4	0.7	36.9	1.4

高学年の間、放課後をどのように過ごさせたいかについて地域別に見たところ、南中学校地区では「自宅」(72.9%)との回答が他の2地区より低く、一方で「その他」(42.0%)が他の2地区より高くなっています。

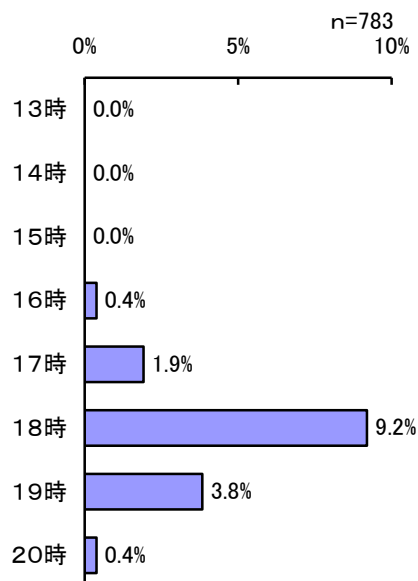
■ 放課後の過ごし方の日数

(n=783) (単位：%)	自宅	祖父母宅や 友人・知人宅	習い事	放課後児童クラブ 〔学童保育室〕	ファミリー・ サポート・センター	その他
1日	14.9	10.2	20.3	0.9	0.4	8.3
2日	17.4	6.5	32.7	2.4	0.5	15.5
3日	17.5	0.9	16.5	4.1	-	7.5
4日	6.3	0.8	4.0	2.9	-	3.1
5日	19.5	1.3	1.9	6.0	0.1	2.6

※回答者数が0人のところは「-」となっています。

高学年の間の平日放課後の過ごし方の日数を回答してもらったところ、「習い事」については1日～3日に回答が集中しています。

■ 放課後児童クラブの終了時刻

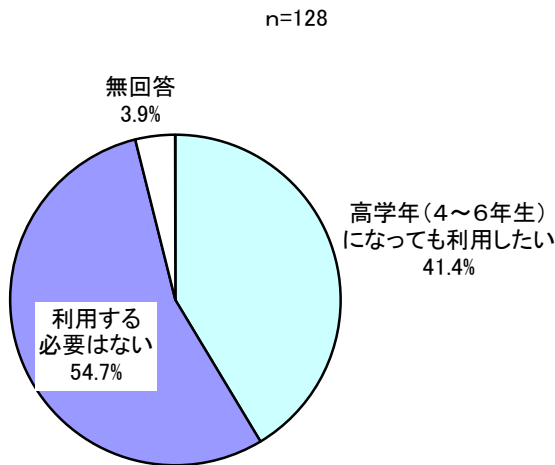


「放課後児童クラブ」の終了時刻については18時（9.2%）との回答が高くなっています。

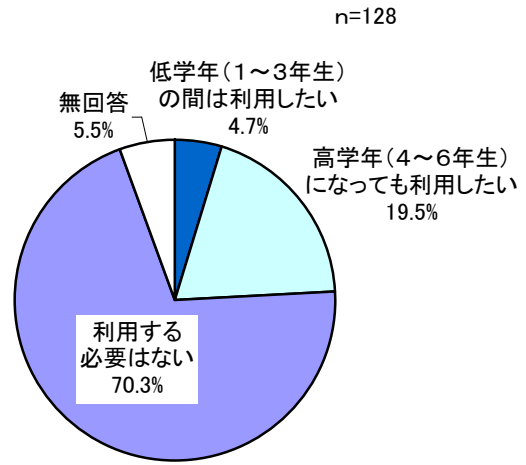
② 放課後児童クラブの利用

問 14 問 13 で「4. 放課後児童クラブ（学童保育室）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ（学童保育室）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

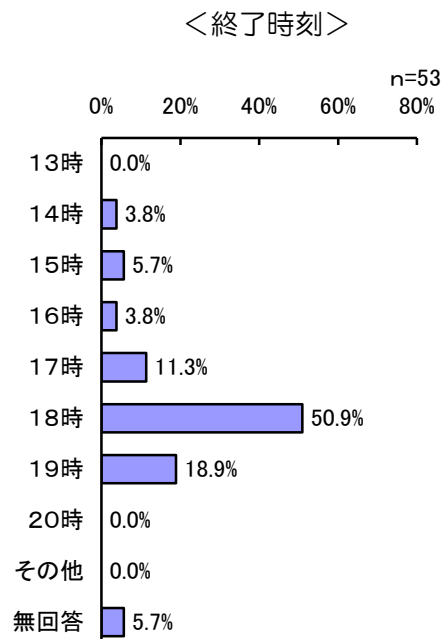
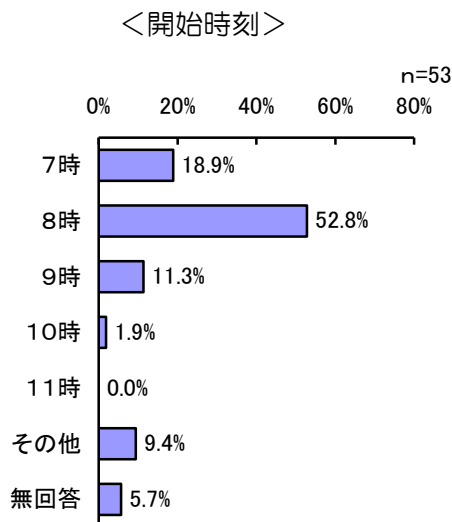


（2）日曜日・祝日



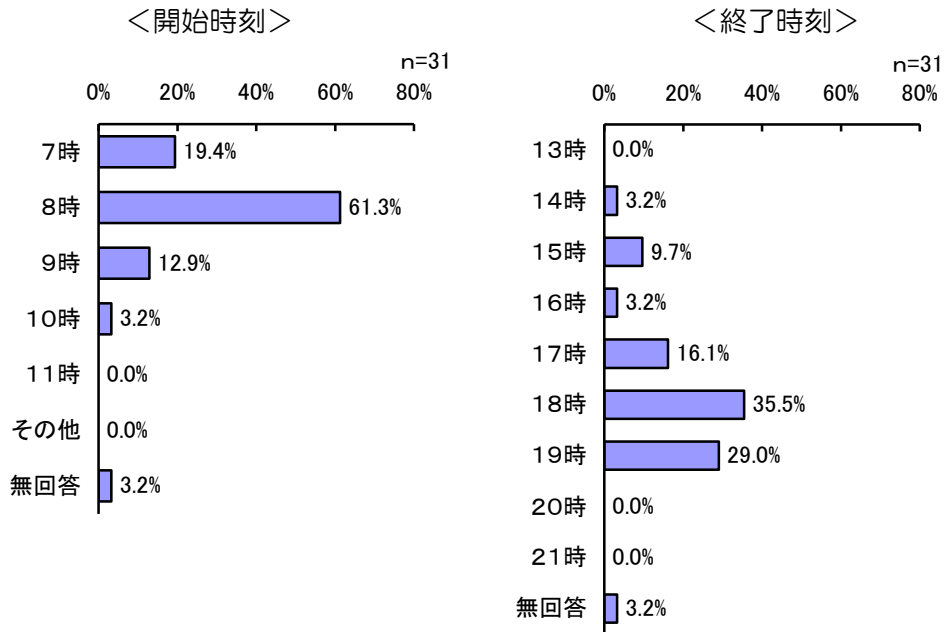
平日の放課後に「放課後児童クラブ」の利用を希望されている方に、土曜日、または日曜日・祝日に放課後児童クラブの利用希望があるかたずねたところ、土曜日について「高学年になっても利用したい」と回答した人は全体の41.4%です。また、日曜日・祝日について「低学年の間は利用したい」（4.7%）と「高学年になっても利用したい」（19.5%）を合わせた『利用意向がある』人は24.2%と、全体の約4分の1となっています。

■土曜日の利用希望時間



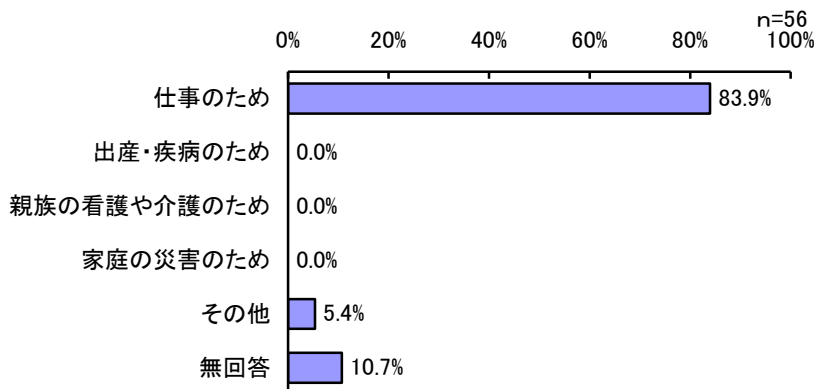
土曜日で「高学年になっても利用したい」と回答した人の利用希望時間については、開始時間は「8時」が52.8%でもっとも高く、終了時刻は「18時」が50.9%でもっとも高くなっています。開始時間の「その他」としては、15時からや17時からなど、夕方からの利用意向となっています。

■日曜日・祝日の利用希望時



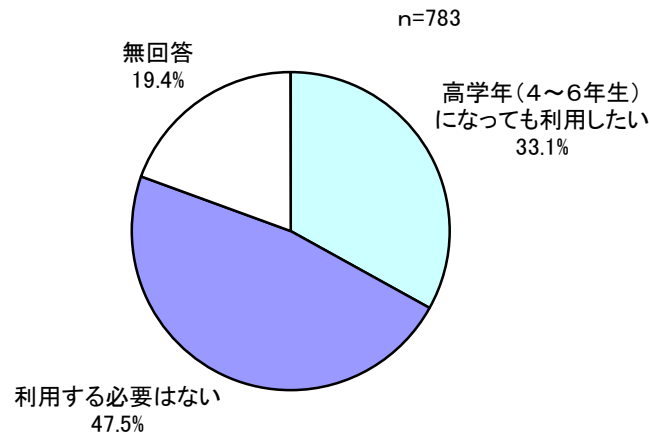
日曜日・祝日で「利用意向がある」と回答した人の利用希望時間については、回答者数は少ないものの、開始時間は「8時」が61.3%でもっとも高く、終了時刻は「18時」が35.5%でもっとも高くなっています。

問 14-1 問 14（1）（2）で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。利用したい理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



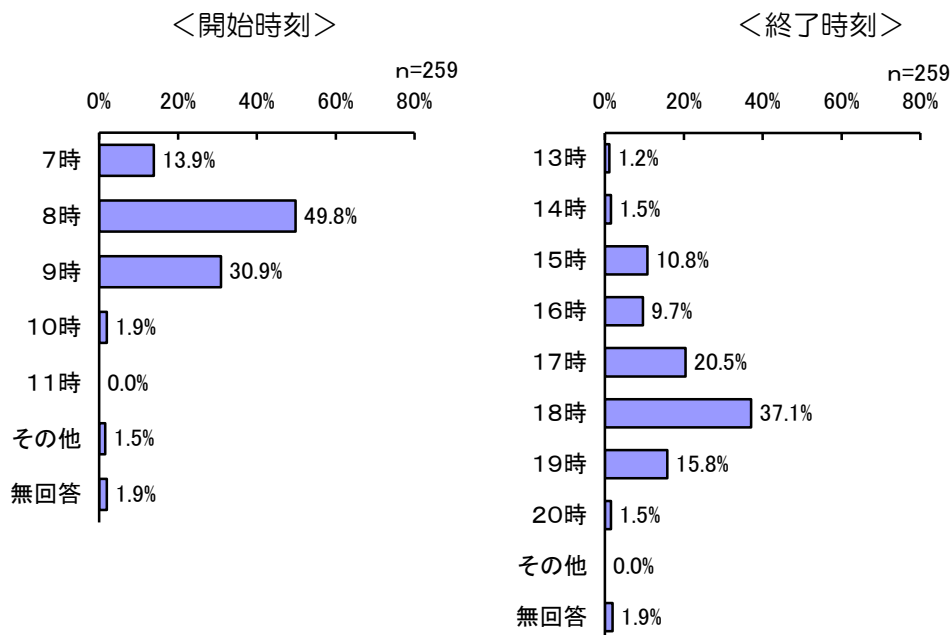
土曜日または日曜日・祝日に「利用意向がある」と回答した人に、利用したい理由についてたずねたところ、「仕事のため」との回答が83.9%となっています。

問15 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育室）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。



長期休暇中の放課後児童クラブの利用意向についてたずねたところ、「高学年になっても利用したい」との回答は33.1%となっています。

■長期休暇時の利用希望時間

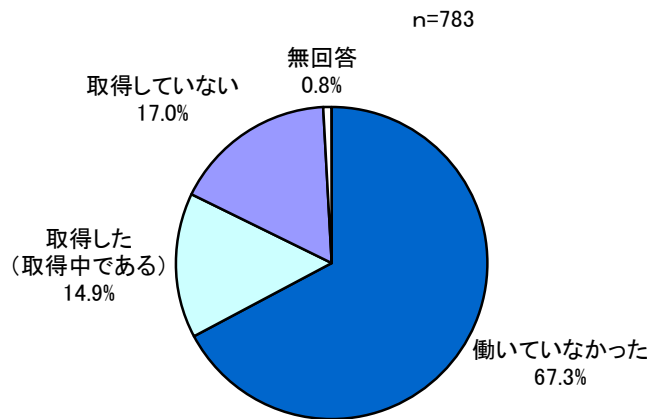


長期休暇時の放課後児童クラブについて「高学年になっても利用したい」と回答した人の利用希望時間については、開始時間は「8時」が49.8%でもっとも高く、終了時刻は「18時」が37.1%でもっとも高くなっています。

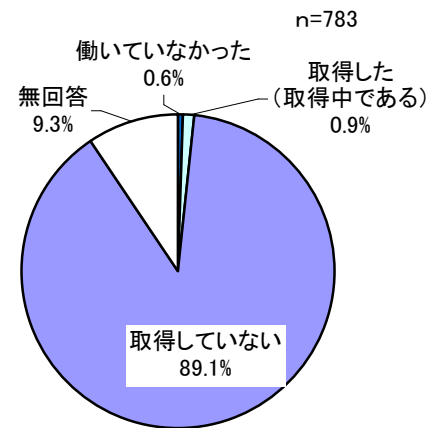
5. 育児休業

問16 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、「取得していない」に○をつけた場合は、取得していない理由として当てはまる番号を口内に数字をご記入ください。

<母親>

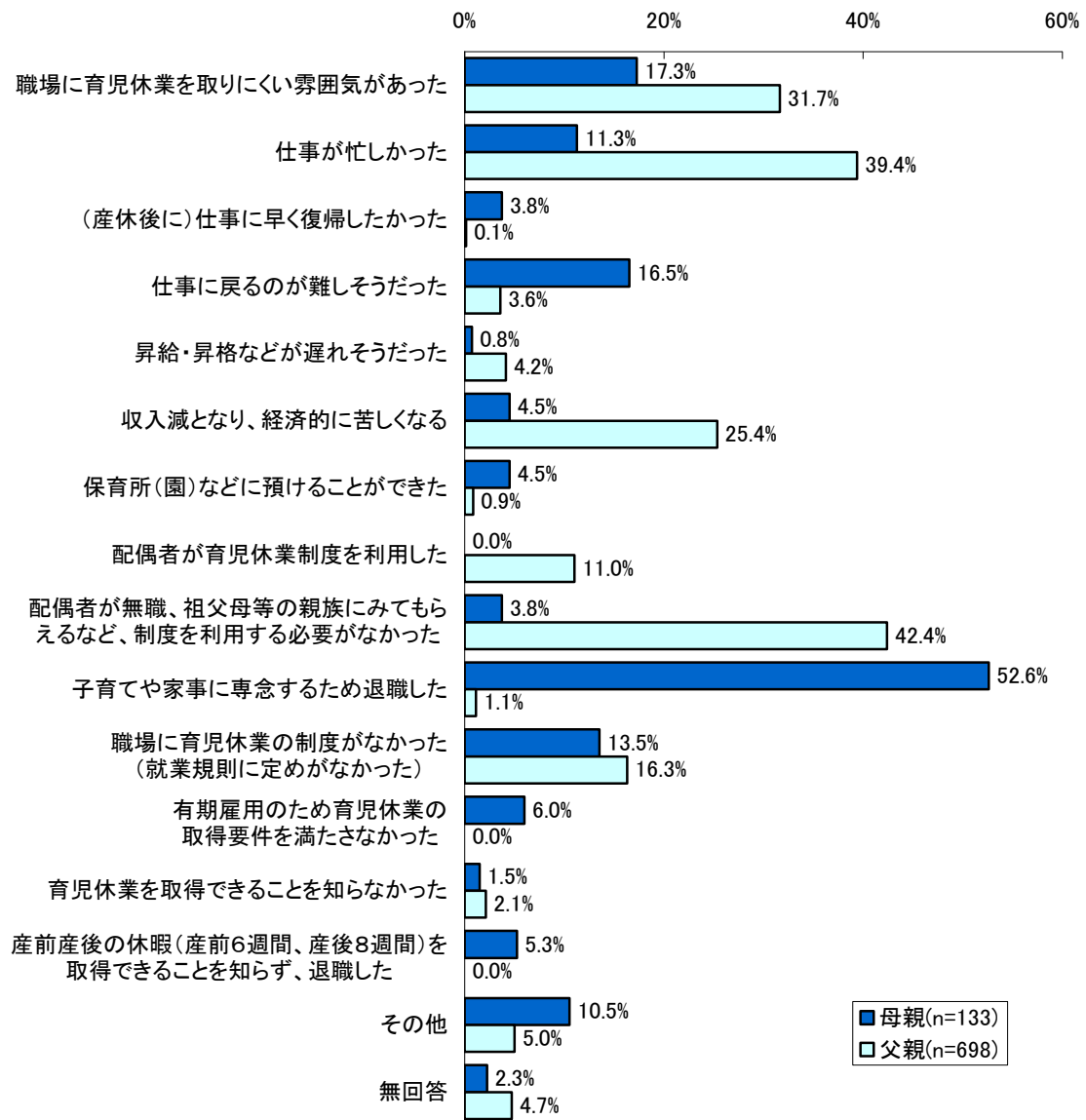


<父親>



子が生まれたときの育児休業について、母親で「取得した」人は全体の14.9%、父親で「取得した」人は全体の0.9%となっています。

■取得していない理由



育児休業について「取得していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、母親では「子育てや家事に専念するために退職した」との回答が52.6%と半数を超えてもっとも高く、次いで、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(17.3%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(16.5%)などとなっています。

父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(42.4%)がもっとも高く、次いで「仕事が忙しかった」(39.4%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(31.7%)などとなっています。

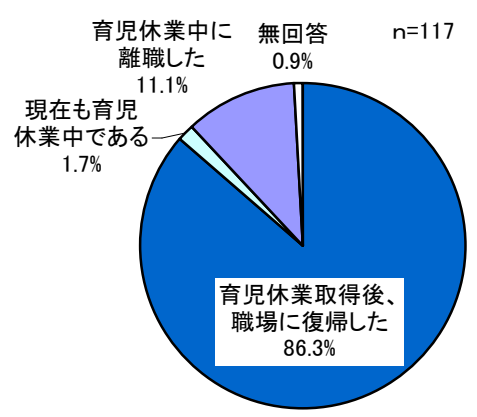
この設問を母親と父親で比較してみると、母親の方が高い項目については「子育てや家事に専念するために退職した」が51.5ポイント、「仕事に戻るのが難しそうだった」が12.9ポイントそれぞれ高くなっています。

父親の方が高い項目については、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が38.6ポイントと大きく差がついているのをはじめ、「仕事が忙しかった」が28.1ポイント、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が20.9ポイントなど、5項目で高くなっており、就学前児童調査と同様母親と父親で理由に大きな違いがあることが分かります。

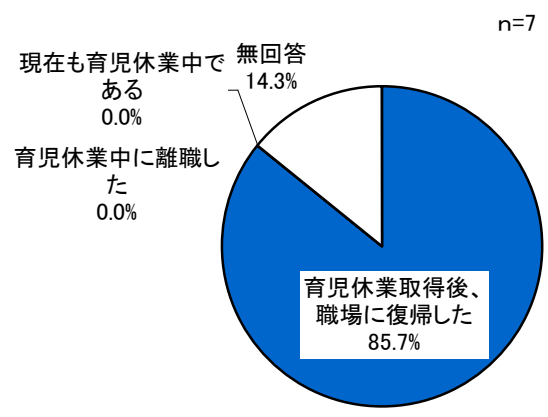
問16で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問16-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親



(2) 父親

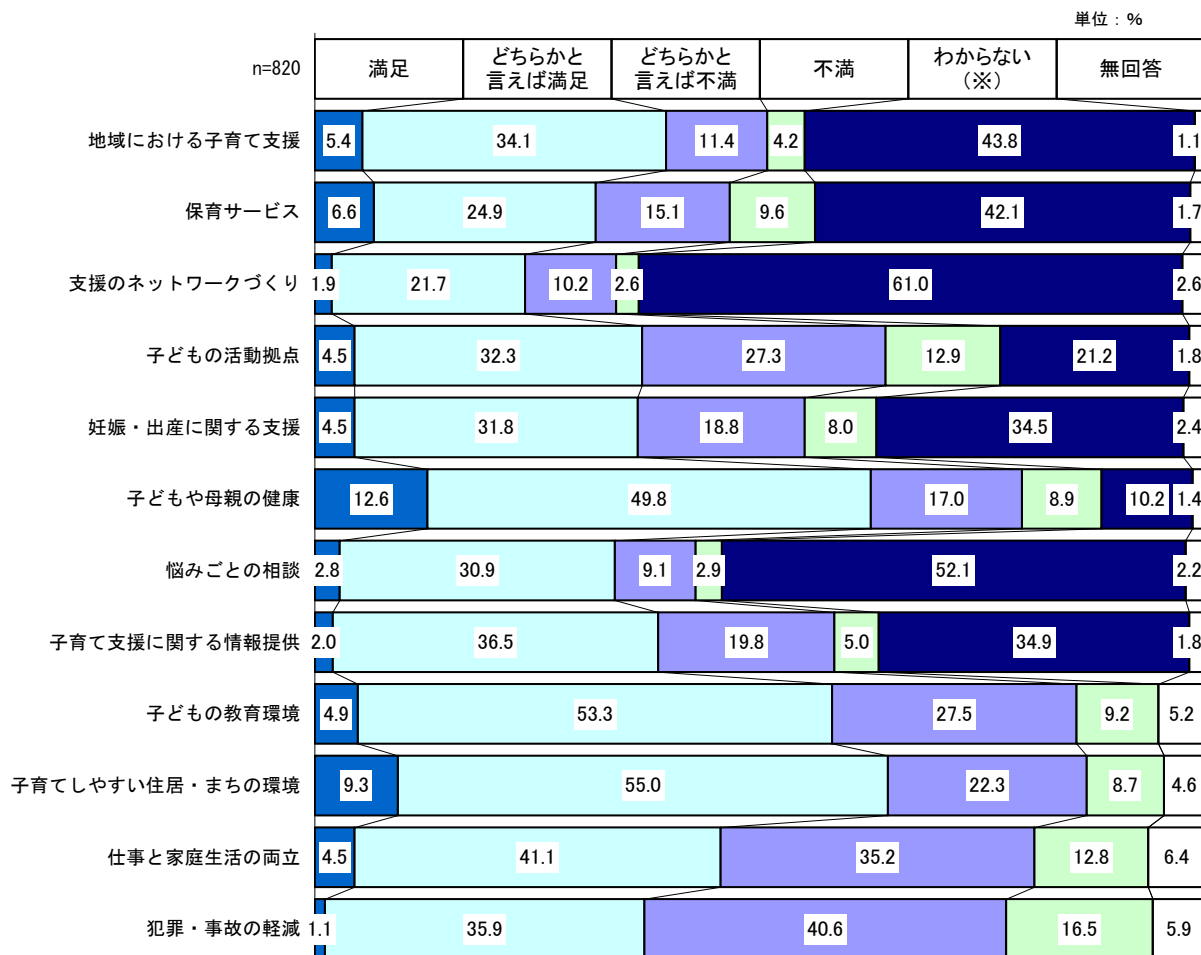


育児休業を「取得した」と回答した人に職場復帰についてたずねたところ、母親・父親ともに「育児休業後職場に復帰した」との回答が8割を超えてもっとも高くなっています。父親は回答者数が少なくなっていますが、「現在も育児休業中である」や、「育児休業中に離職した」との回答は見られませんでした。

6. 子育て施策

①子育ての各分野への満足度

問 17 次の各項目における子育ての環境や支援に対してどのように感じているかがあります。該当するものを1つ選んで○をつけてください。



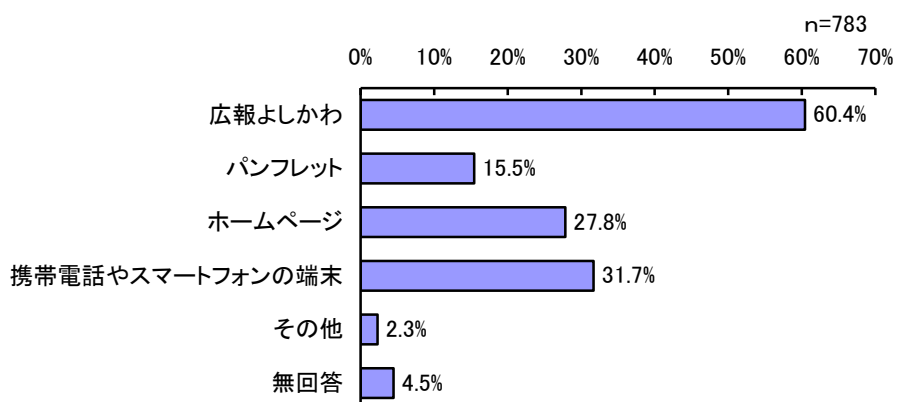
※「子どもの教育環境」、「子育てしやすい住居・まちの環境」「仕事と家庭生活の両立」、「犯罪・事故の軽減」の4項目については「分からない」の選択肢はありませんでした。

子育ての各分野に対しての満足度については、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた、「満足している」層については、「子育てしやすい住居・まちの環境」が64.3%でもっとも高くなっています。しかし、「満足している」層が半数を超えているのは、「子どもや母親の健康」(62.4%)、「子どもの教育環境」(58.2%)の3分野にとどまっています。

一方、「どちらかと言えば不満」と「不満」を合わせた「不満を感じている」層は、「犯罪・事故の軽減」が57.1%で半数を超えてもっとも高く、次いで「仕事と家庭の両立」が48.0%、「子どもの活動拠点」が40.2%などとなっています。

②情報提供のあり方

問18 市が行っている子育て支援の情報提供のあり方として何の充実を望みますか。



情報提供のあり方としては「広報よしかわ」との回答が60.4%と半数を超えてもっとも高くなっています。次いで「携帯電話やスマートフォンの端末」(31.7%)、「ホームページ」(27.8%)となっており、就学前児童と同様に、インターネットを利用した情報提供の充実も望まれていることが分かります。